

津 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

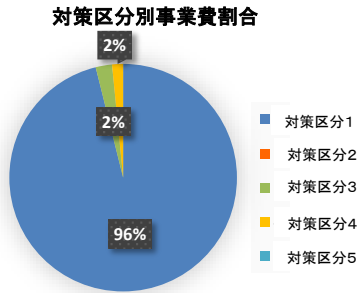
1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	津市	三重県
人口（人）	267,884	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.5%	11.4%
森林面積(ha)	41,532.42	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	40,791.91	348,212.01
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.1	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	津市林地残材搬出促進事業	27,705,800	27,705,800	27,705,800					
2	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	257,180	257,180			257,180			
3	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	169,544	169,544			169,544			
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	242,000	242,000			242,000			
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	449,900	449,900				449,900		
計			28,824,424	28,824,424	27,705,800	0	668,724	449,900	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	54.87	30,405,100	30,405,100	特定水源地域の森林の調整伐
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採131本	10,338,266	5,169,133	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	- 本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。 - 上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々にターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。
事業実施により期待される効果	- 林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 - 直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。 - 木育ができる環境整備を行い、木に触れあっていたことで、木のぬくもりや質感を感じ、木づかいに興味関心を持ていただくことが期待できる。
情報発信への取組	- 事業実施箇所については、県民税のぼり旗により啓発を行った。 - 県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 - 森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まるごと林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。 - アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 - 市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	38,863	38,863
2	② 意向調査	35,332	35,332
3	③ 私有林整備	59,696	59,696
4	③ 私有林整備	6,652	6,652
5	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	1,500	1,500
6	⑩ 専門員の雇用	5,023	5,023
7			
8			
9			
10			
	合計	147,066	147,066

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	27,705,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			27,705,800	0	0

1. 事業の目的

間伐等で発生する林地残材等が豪雨時に河川を閉塞させる流木の発生原因となることを防ぐため、採算の合いにくい林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することにより林地残材の減少を図り、河川等へ流出を防ぐことで流木を出さない災害に強い森林づくりを進める。

また、搬出された林地残材については、津市バイオマス産業都市構想に位置付けられている木質バイオマス事業へ有効活用し、再生可能エネルギーの推進を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

間伐施業地から山土場まで、及び、山土場からチップ工場までの搬出経費の一部を支援する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者13者

【実施箇所及び箇所数】

中勢森林組合 津市白山町藤地内ほか

大河内林産 津市美杉町奥津地内

woodjob(株) 津市美杉町上多気地内ほか

【事業量】

林地残材搬出量	4,556.90 t	中勢森林組合	4,313.90 t
		大河内林産	203.00 t
		woodjob(株)	40.00 t

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

林地残材の減少を図ることにより、河川等に林地残材が流出する危険性が減少し、また、認定事業者や森林所有者の山をきれいにしようとする意識の向上が期待できる。併せて、放置された間伐材等の林地残材の有効利用が図られるとともに、再生可能エネルギーの利用が促進される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

流木を出さない災害に強い森林づくりが目的であるため、事業者には可能な限り、河川や沢に近い箇所を重点的に搬出するよう、口頭にてお願いしている。

【新たな対策・視点及び改善点】

より一層多くの業者が本事業に取り組むよう、ホームページやチラシを作成し、事業の周知に努める。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事 業 費	27,705,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			27,705,800	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	その他	定額補助	間伐施業地→山土場上限5,120円/t 山土場→チップ工場上限960円/t	津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者13者

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

間伐材を適正に仕分け及び証明等を行うことができる、木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者を補助対象者としている。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	森林所有者及び下流域の住民
期待する波及効果	林地残材を搬出して整理することにより巡視等が行いやすくなり、森林管理の意欲向上に繋がることが期待できる。このことにより、将来的に森林の有する多面的機能の発揮を促すことができる。

【公的関与の必要性】

林内に残される林地残材を放置することにより想定される林野災害を防止するためには、事業負担の軽減を図る必要があり、地域住民の不安解消という観点においても非常に重要な取り組みである。

また、津市バイオマス都市構想におけるバイオマスエネルギー原料として有効活用している。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	県民税の活用及び事業内容について掲載
のぼり設置	実施中	林地残材を搬出している現場に設置した。
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

津市バイオマス産業都市構想に合致する取り組みである。

森林所有者や事業者から、本事業を行ったことで山がきれいになった、災害を防ぐ為に続けていく必要がある、との意見をいただいている。

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市
事業名	津市林地残材搬出促進事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
林地残材搬出	間伐施業地→チップ工場	t	4,313.89	6,080	26,228,400	中勢森林組合
	間伐施業地→チップ工場	t	203.00	6,080	1,234,200	大河内林産
	間伐施業地→チップ工場	t	40.00	6,080	243,200	woodjob株式会社
		合計			27,705,800	

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

事業名	津市林地残材搬出促進事業
-----	--------------

7の（1）. 写真



写真1
林地残材除去後の森林



写真2
林地残材除去後の森林



写真3
林地残材集積状況



写真4
林地残材の積込状況（山土場）



写真5
林地残材の積込状況（山土場）



写真6
林地残材の搬入状況（チップ工場）

みえ森と緑の県民税

ポスト

いいね！ 0

印刷用ページを表示する

登録日：2025年4月22日

近年の木材価格の低迷などにより採算性の悪化、森林所有者の経営意欲の減退を招き、手入れがされない人工林が増加し、森林の有する多面的機能が十分に発揮されない恐れがあります。一方で、近年は集中豪雨が多発している状況になっています。

そのため、土砂や流木の発生を抑制する災害に強い森林と、そのような森林づくりを県民全体で支える施策として、平成26年4月より「みえ森と緑の県民税」が導入されました。

みえ森と緑の県民税は2つの基本方針に沿って5つの対策を展開しています。

基本方針1 災害に強い森林づくり

防災・減災の観点から整備の急がれる森林について、土砂災害防止機能等をお高めるために必要な対策を講じ、災害に強い森林を実現します。

(1) 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

土砂や流木によって人家や公共施設などに被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために、必要な対策を進めます。

(2) 暮らしに身近な森林づくり

生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしに関わりの深い森林について必要な対策を進めます。

基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり

住民による森林づくり活動への参加の機会や木と触れ合う機会の提供を進めるとともに、都市空間や生活空間に緑や木材を積極的に取り入れるなど、県民全体で森林を支える社会づくりを進めます。

(3) 森を育む人づくり

災害に強い森林づくりを将来に引き継ぎ、また森林や緑を大切に思い・育む人づくりのため、森林環境教育や黙育に携わる人材の育成や、脅威行く活動を進めます。

(4) 森と人をつなぐ学びの場づくり

未就学児や児童、生徒をはじめ、様々な県民に森林や木材について学び・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。

(5) 地域に身近な水や緑の環境づくり

地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備など、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深める対策を進めます。

詳しくは、[三重県ホームページ](#)（外部リンク）をご覧ください。

市町交付金事業

市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開しています。

令和6年度の取り組み

土砂や流木による被害を出さない森林づくり

流域防災機能強化対策事業

土壌浸食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促すため間伐を実施しました。





林地残材搬出促進事業

間伐等で発生する林地残材等について、再生可能エネルギーである木質バイオマスエネルギー利用を図るため林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することで、森林所有者・林業事業者への意識啓発、取組拡大、利用量の増加を図りました。また、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを行いました。



暮らしに身近な森林づくり

災害からライフラインを守る事前伐採事業

ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行ったことで、台風等で発生する倒木による配電線の断線に伴う停電に対して、未然に防止策を講じました。



森を育む人づくり

夏休み森と緑の親子塾開催事業

小学生の親子を対象に木工体験や丸太切り体験、皮むき体験を行い、木に触れ合う機会を提供しました。





パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業

森と木の体験広場

丸太切り体験とコースターづくり、マイ箸づくりや木製遊具の設置など、お子さんを中心に直接木の香りや肌ざわりを体感していただきました。



まるごと林業体験

高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学、木工体験等により、参加者は林業について体験し、あわせて森林整備について理解していただきました。



美里水源の森「林業体験」事業（美里総合支所地域振興課）

平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして、自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に林業体験（きのこ作り体験、巣箱作り）を実施しました。



森と人をつなぐ学びの場づくり

子育て支援センターにおける木育環境整備事業

芸濃子育て支援センターに木製遊具や木製棚を導入し、0歳から就園前の子どもと保護者が木のぬくもりや質感を学べる場を整備しました。



令和7年度の計画

土砂や流木による被害を出さない森林づくり

- ・流域防災機能強化対策事業
- ・林地残材搬出促進事業

暮らしに身近な森林づくり

・災害からライフラインを守る事前伐採事業

森を育む人づくり

・森林環境教育事業(夏休み森と緑の親子塾)
・パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
・美里水源の森 林業体験

森と人をつなぐ学びの場づくり

・子育て支援センターにおける木育環境整備事業
・保育施設における木育環境整備事業

このページに対するアンケートにお答えください

このページは見つけやすかったですか？

☐ 見つけやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ 見つけにくかった

このページの内容はわかりやすかったですか？

☐ わかりやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ わかりにくかった

このページの内容は参考になりましたか？

☐ 参考になった ☐ どちらとも言えない ☐ 参考にならなかった

アンケートを送信

このページに関するお問い合わせ先

農林水産部 林業振興室
電話番号:059-262-7025
ファクス:059-264-1000

[お問い合わせフォーム](#)

[前のページに戻る](#)

[ページの先頭へ](#)

[著作権・免責事項](#)

[個人情報の取り扱い](#)

[アクセシビリティ](#)

[このホームページの使い方](#)

● 津市役所

〒514-8611 三重県津市西丸之内23番1号
(法人番号 7000020242012)

[各部・課の問い合わせ先はこちら](#) [庁舎へのアクセスはこちら](#)

開庁時間: 月曜日から金曜日の8時30分から17時15分まで
(ただし祝・休日、12月29日から1月3日を除く)

よくある質問

相談窓口

市政へのご意見・ご質問

リンク

総合支所

地域名をクリックすると、総合支所のページに移動します。



All Rights Reserved. Copyright © 2015 Tsu City. [各ページの記事、画像等の無断転載を禁じます]

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	夏休み森と緑の親子塾開催事業				
事 業 費	257,180 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			257,180		

1. 事業の目的	
市内在住・在学の小学生と保護者を対象に、森林や木材について学び、ふれあう場を提供して、木のぬくもりや良さを知ってもらおう。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 木工体験（プランター・本立て等）、林業体験（丸太切り体験・丸太皮むき体験） 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 委託事業であり、林業事業体 【実施個所及び箇所数】 場所：津市木材処理加工施設（津市美杉町上多気地内） 【事業量】 年1回	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】 参加者が森林環境教育を通じて、森林・林業に興味を持ち理解を深めることで、将来的に森林を支える一員として寄与することが期待される。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 木工体験、林業体験と実際に木について体験してもらうだけでなく、緑のサイクルや林業について知ってもらうため、県民税のパネルやリーフレットを使用して小学生向けに座学を行っている。 【新たな対策・視点及び改善点】 アンケートの回答を参考に、来年度の事業に取り入れることができるのか検討し、内容や進行過程を改善していく。	

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	夏休み森と緑の親子塾開催事業				
事 業 費	257,180 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			257,180		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

市内在住・在学の小学生と保護者を対象に、森林や木材について学び、ふれあう場を提供して、木のぬくもりや良さを知ってもらおう。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者及びその友人家族
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果

【公的関与の必要性】

普段から林業の現場で働く業者に委託することで、木に触れる機会だけでなく、現場で働く職人の話を聞くことができるため、より森林に興味をもってもらえる機会となる。また、参加した親子が本事業についての話をすることで、来年度のこの事業の参加率向上に繋がり、森林・林業に興味を持ってもらえる重要な事業である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

特になし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	実施箇所に設置する。
広報誌掲載	実施前	「広報つ」に県民税の活用及び募集案内を掲載する。
HP掲載	実施前・後	県民税の活用事業、募集案内、実施報告を掲載する。
アンケート実施	実施後	参加者アンケートを実施する。
パネル展示	実施前・中	サポートセンターからパネルを借り、会場に展示する。
啓発物品配布	実施中	クリアファイル、リーフレット、副読本を配布する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

主な経費内訳

- 297 -

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	夏休み森と緑の親子塾開催事業
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1

令和6年度親子塾 集合写真



写真2

木工体験



写真3

県民税パネルを使用した座学



写真4

丸太の皮むき体験



写真5

丸太切り体験



写真6

完成した木工作品



夏休み森と緑の親子塾のご案内



【開催日時】 令和6年7月28日（日）午前10時～午後3時頃
午前9時30分から受付開始

【場所】 津市美杉町上多気267番地付近（道の駅「美杉」となり）
津市木材処理加工施設

【スケジュール】

◇ 9:30 受付

◇ 10:00 開会

◇ 10:10 木工細工

（木工品については、受付の際に先着順で選んでいただきます）

◇ 12:00 昼休み

◇ 13:00 座学（森林についてのお話）

◇ 13:15 林業体験（丸太切り、皮むき体験）

◇ 15:00 閉会

【持ち物】

- ☐ 昼食、飲み物、タオル、帽子
- ☐ レジャーシート 着替え等
- ☐ 保険証のコピー、虫よけスプレー

【注意事項】

- 服装は作業しやすく汚れても良いもの、靴は運動靴等足の甲や指先をカバーできるものをお願いします（**危険防止のためサンダル履等はNG**）。
- 熱中症予防のため、こまめな水分補給と休憩をとってください。
- 当日は椅子がありませんので、レジャーシートや折りたたみ椅子をご持参いただきますよう、お願いいたします。
- 実施内容は、諸事情により変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

津市役所 農林水産部 林業振興室
住所 津市白山町川口892
電話 059-262-7025

この催しは
**みえ森と緑の県民税
市町交付金**
を活用しています



7月27日（土）～28日（日）の緊急連絡先 080-1577-4645

（案内地図が裏面にあります）



【会場までの案内】

住所：津市美杉町上多気267番地 道の駅「美杉」のとなり



広報

特集
P2

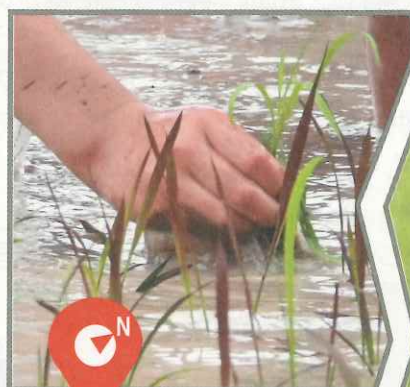
令和7年度から運用開始
障がい福祉サービス事業所を民営化

News
P6

来て！見て！チャレンジ！
夏休み子ども体験講座

News
P13

7月15日～8月15日は平和を考える月間
戦争の悲惨さと平和の尊さを考えよう



至 榊原小学校

温泉病院前

28

亀山白山線



榊原田んぼアート会場



ここから全景を
見渡せます！



地図はこちら

亀山白山線 28

至 県立いなほ園

表紙 榊原を盛りあげたい皆さんで田植え！6色の稲で彩る田んぼアート「シロモチくんと榊原」の見頃は7月ごろです。(6月2日 榊原町)

広告掲載欄



伝えます。相続の知恵、遺言状。

相続・交通事故・離婚・借金・労働は **初回相談30分無料**

..... 三重弁護士会所属 弁護士
石坂 俊雄 村田 正人 福井 正明 伊藤 誠基 森 一恵

創立50年

三重合同法律事務所 ☎ **059-226-0451**

〒514-0033 津市丸之内33-26 (津地方裁判所前)

ホームページは、「三重合同法律事務所」で検索。

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。

広報津

No 442

7/1

令和6年(2024年)

イベント

津市民文化祭美術部門映像展

文化振興課

☎229-3250 FAX 229-3344

文化団体会員や高校生が制作した映像作品の上映を行います。

とき 7月19日(金)～21日(日)13時～16時30分(21日は16時まで)

ところ 津リージョンプラザ2階第1会議室

友好都市上富良野町の写真パネル展

市民交流課

☎229-3102 FAX 227-8070

北海道上富良野町との友好都市提携(平成9年7月30日)を記念し、四季折々の美しく魅力的な写真を紹介します。

とき 7月26日(金)～8月8日(木)

ところ 市本庁舎1階ロビー



募集

美杉・安濃総合支所 木造住宅の耐震相談会

建築指導課

☎229-3187 FAX 229-3336

木造住宅の耐震診断や耐震補強工事における補助制度、補強方

法、費用などについて、相談会を開催します。ブロック塀の撤去改修補助制度についてもご相談ください。

とき ①7月10日(水)10時～13時 ②7月24日(水)10時～13時

ところ ①市美杉庁舎1階ロビー ②市安濃庁舎1階ホール

申し込み 電話で建築指導課へ

三重短期大学 オープンキャンパス

三重短期大学大学総務課

☎232-2341 FAX 232-9647

ミニ講義や、実験・実習、キャンパスツアー、個別相談会などを実施します。申し込み方法など詳しくは同短期大学ホームページをご覧ください。

とき 7月13日(土)～15日(月・祝)13時～16時

ところ 同短期大学41番教室

内容

- 13日…生活科学科
- 14日…法経科第1部・第2部
- 15日…食物栄養学科

夏休み森と緑の親子塾

林業振興室

☎262-7025 FAX 264-1000

とき 7月28日(日)10時～15時

ところ 津市木材処理加工施設(道の駅美杉に隣接)

内容 林業体験、木工教室など

対象 市内に在住・在学の小学生と保護者

定員 抽選20組(1組3人まで)

持ち物 昼食、飲み物、タオル、帽子、レジャーシート、健康保険証

申し込み はがき、またはファクス、Eメールで、住所、参加者全員の氏名、学校名・学年、電話番号を、林業振興室(〒515-2603 白山町川口892、☎262-7025@city.tsu.lg.jp)へ

締め切り 7月10日(水)必着



※この事業は、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用しています。

一志児童館地域交流会

一志児童館

☎・FAX 293-0936

いきいきサロン「フレンド」と、夏の小物づくりを通して交流しませんか。

とき 7月30日(火)10時30分～

ところ 一志児童館

対象 市内に在住の高校生以下(就学前の子どもは保護者同伴)

定員 10人

申し込み 電話で一志児童館へ

申込期間 7月16日(火)～29日(月)

UIJターン就職奨励金をご活用ください

UIJターン就職に奨励金を交付しています。就職活動中の家族や県外に住むお知り合いへ、ぜひお伝えください。詳しくは市ホームページをご覧ください。



内容	支給金額
ふるさと就職活動応援奨励金 県外に住む津市出身者が、津市に本社・本店を有する企業*への就職活動(津市内で行われる説明会・筆記試験・面接試験)にかかる費用の一部を交付	3,000円～3万円 (居住地により異なる) ※同一年度内1回限り
ふるさと就職新生活応援奨励金 津市に本社・本店を有する企業*に就職が決定(内定)し、津市へ転入した人が新生活を始める際にかかる費用の一部を交付	5万円

※医療法人・学校法人・社会福祉法人を含む。官公庁などへの就職活動は対象外

問い合わせ 商業振興労政課 ☎229-3114 FAX 229-3335

令和6年度 夏休み森と緑の親子塾アンケート回答集約

回収 34名/48名

Q1「木工細工」はどうでしたか？

よかった	31 人
ふつう	3 人
よくなかった	0 人
無回答	0 人

Q2(木工細工)何がよかった(よくなかった)ですか？

別紙のとおり

Q3「林業体験」はどうでしたか？

よかった	31 人
ふつう	3 人
よくなかった	0 人
無回答	0 人

Q4(林業体験)何がよかった(よくなかった)ですか？

別紙のとおり

Q5「森林の役割や林業」について、理解できましたか？

わかった	23 人
なんとなく	10 人
わからなかった	0 人
無回答	1 人

Q6木やそのはたらきについて、もっと知りたい、学びたいと思いますか？

おもう	21 人
なんとなく	10 人
おもわない	1 人
無回答	2 人

Q7.「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいと思いますか？

別紙のとおり

Q8. その他にご意見がありましたらお願いします。

別紙のとおり

夏休み森と緑の親子塾アンケート結果

2. 何がよかった(よくなかった)ですか？(木工細工)

番号	理 由
1	作り方の説明書(手順書)があるともっとよかった。
2	つくるのがたのしかった。
3	くぎうちがよかった。
4	物入れが小さくて、かわいくて、つかいやすそうだった。
5	
6	きる。
7	どう作ったら良いか、父親と考えながら作成できて、親子のコミュニケーションにもなってよかった。
8	できたときうれしかった。
9	子どもがだんだん上手にクギを打てるようになって、本人もだんだん真剣になって作って最後完成した時とても嬉しそうだったのが、親としても嬉しかったです。
10	達成感があってよかったです。小物入れのデザインも良く、実際に使いそうです。
11	くぎをうつところ
12	作る(クギを打つ順)順など、何から作っていけば良いかわかるものがある方が良いです。後からこつちを先に打った方が良いと言われたので、それなら最初から順番のわかるものを用意しておいてほしいと思った。
13	とんかちたたき
14	係りの人に声をかけやすい雰囲気良かったです。
15	母1人、子2人で参加しましたが、スタッフの方がいて下さり、無事2人とも完成することができました。作り方の説明書があると、もっとわかりやすいと思います。
16	くぎでうつところ
17	子供と一緒に作れたこと。
18	
19	おえかきができた事。
20	かわいいいけどむずかしい。
21	ちょうこく刀でけずりにくかった。子供はかわいいとよろこんでいました。
22	子どもが納得する作品をつくれるようにサポートしていただいたこと。
23	おしゃれな時計ができた。
24	できてよかった。
25	親切に教えて頂き、子供も楽しそうでした。
26	かんたんでむずかしかったところ。→きりが大変だった。
27	時計を作ったのですが、彫刻刀など学校でたまにしかつかわずにいるので今回、木をふれあい、木目など考えてほり方やもようなど工夫をし、焼いてもらうことで木のかおりなど五感で感じることもできたのでとてもよろこんでいました。
28	時計づくりで、かわいらしい時計を作る体験。
29	釘を打つのが楽しかった。
30	実際に役立つものが組立てれて持ち帰れたこと。
31	普段触らない木や木工道具にふれてよかった。思い出になった！
32	協力して1つの作品を一生懸命仕上げる点が良かった。
33	自分で作るというのがよかった。
34	くぎをうつところ。

夏休み森と緑の親子塾アンケート結果

4. 何がよかった(よくなかった)ですか？(林業体験)

番号	意見
1	丸太切りや皮むき体験は子供にとって人生初でとても良い経験ができました。(何度もやらせてもらって喜んでいました)
2	きるのがたのしかった。
3	丸太切りを早く切る方法がよかった。
4	くぎやきり、かなづちやのこぎりの体験がよかった。
5	
6	
7	丸太の切るのも皮むきも、なかなかできないのを、根気よくやらせて頂いたのが本当によかったです。
8	むいたときもちかった。
9	周りの方が励ましてくれて、ひとりで丸太切りをやりとげる事ができました。
10	皮むきが気持ちよさそうだった。
11	まるたぎり
12	
13	ほとんどない
14	
15	木の皮がこんなにきれいにむけるの知らなかった！ノコギリ体験は時間がかかるので、待ち時間対策が必要。
16	きをきる
17	
18	
19	クワゴンようにめっちゃもらえた。
20	かわむきが楽しかった。
21	のこぎりは使ったことがあったが、皮むきは初めてで楽しそうでした。
22	今回3度目の参加になりましたが、子供が成長していくのがわかって嬉しく思いました。
23	かわむきにこだわってよかった。(1周むくこと)
24	丸太切り、皮はぎ、珍しい体験ができた事。
25	子供も楽しそうでした。難しいことをやりきる力がつきました。
26	木を切るところ。
27	丸太切り体験で初めてノコギリを持って、なかなか切り落とすことができない木のかたさ、ノコギリのあつかいのむずかしさを学べた。皮むき体験はコツがつかめず、ミノうまく持つこともできなかったが、つるんとむけると気持ちよかったです。
28	皮むき体験でかたいところをむけたのと、丸太切り体験
29	切った木がもらえたことがよかった。
30	
31	
32	日頃できない体験(道具の使い方など)が良かった。
33	あんまりできないことが出来たところ。
34	

夏休み森と緑の親子塾アンケート結果

7.「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいと思いますか？

番号	意見
1	森林の中に実際に入って、間伐や現場を見たりするのも良いと思います。
2	
3	家を造っている所を見たい！
4	山の中で木が切りたい。丸太でいかだがつくりたい。
5	
6	
7	実際の山の中の手入れなどが、知りたいと思いました。
8	
9	皮むきボランティアとかあったらやってみたいです。
10	職人さんの話を直接聞けると面白いかも。
11	なにがなんの木でできているか。
12	
13	そんなにない。
14	
15	森林浴ウォーキング(ガイド付き)。
16	木を物にかえる加工をみてみたい。
17	今回の体験を続けてもらいたいと思います。
18	森林の中を歩きたい。
19	
20	どんな木の特徴があるのかを学習したい。
21	電ノコを使ってみたい。木を切り倒してみたい。
22	実際に木を切る現場の見学や体験をしてみたいです。
23	もっと木工のものを造りたい。
24	とけいをつくりたい
25	植林や剪定をみてみたい。
26	自由研究
27	植林体験や実際に木を木材に加工している工場なども見学してみたいです。工作もできた今回楽しかったです。
28	木工体験 もう少しこまかく
29	木を種類ごとにさわる体験。
30	
31	
32	参加者全員で1つの大きなアートを作りたい。
33	林業の山を歩いて、探けんする
34	

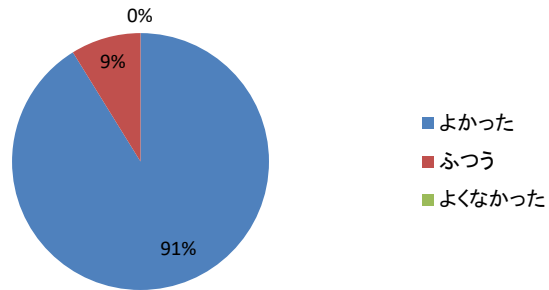
夏休み森と緑の親子塾アンケート結果

8. その他に意見

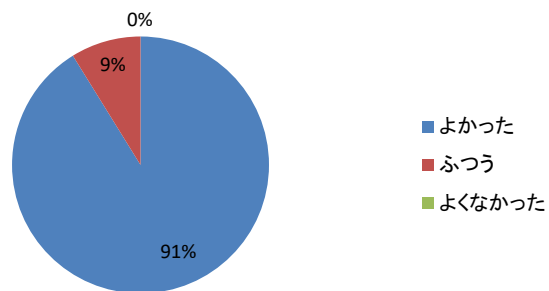
番号	意見
1	暑い中お疲れ様でした！木協さんたちも皆やさしく、一日楽しめました！！
2	
3	半年前、美杉に木を植えるために来ました。また、美杉に期待です。
4	
5	
6	
7	本当に充実した一日でした。ありがとうございました！
8	
9	
10	楽しい体験でした。あちがとうございました。
11	
12	見本をテーブルに持っていかないでと初めのスタッフには言われたが、しばらくして他のテーブルの人のところに見本がずっと置かれていて不公平と思いました。スタッフ統一した対応をしてください。(見本を見たいときそのテーブルの人わざわざことわりを言わなくてはいけなかった)車も近くに持っていきたく言ったとき、1人のスタッフが「いっぱいなので」と言われて道の駅に停めました、後から来る車が駐車スペースでないところに停めても、何も言わないので、結局どこに停めてもよかったんじゃないと思いました。
13	
14	次回も参加したいです。
15	ありがとうございました！スタッフの皆さんとの雑談も楽しかったです^^
16	
17	
18	
19	楽しかった。
20	
21	暑いので、座学は冷房の部屋でお願いします。
22	今年6年生で、最後の参加になりました。毎年、夏休みの思い出ができて親子共に楽しいイベントでした。どうもありがとうございました。
23	
24	つぎもきたいです。
25	とても楽しかった。
26	
27	木材を使った細かな細工作り(よせ木)など4Rによりそったことなどもおこなえるとうれしいです。司会をされている方が、説明してくださっている中、平気でくぎ打ちして音を出してうるさい方がいて、説明が聞き取りにくかったことだけ、残念です。
28	
29	実際に木材を伐採しているところを見たいと思った。
30	
31	子供たちのしくすごしました。ありがとうございました。
32	また来年も参加したいです。(中学生でも参加したいなあ)
33	おもしろかったからまたきたい。
34	

夏休み森と緑の親子塾アンケート結果

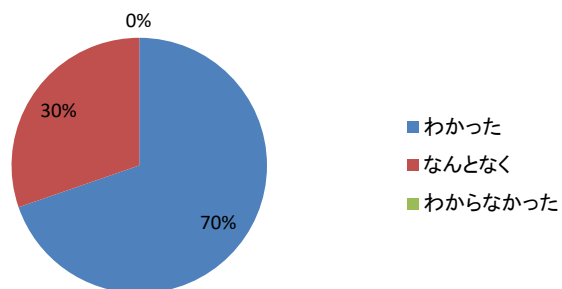
「木工細工」はどうでしたか？



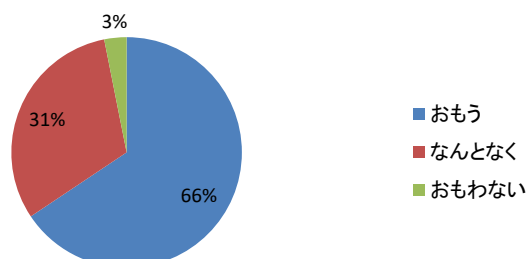
「林業体験」はどうでしたか？



「森林の役割や林業について 理解できましたか？」



木やそのはたらきについて、もっと 知りたい、学びたいと思います か？



■ 夏休み森と緑の親子塾を開催しました！

ポスト

いいね！ 0

印刷用ページを表示する

登録日：2024年8月9日

令和6年7月28日に津市美杉町上多気地内の津市木材処理加工施設で、令和6年度夏休み森と緑の親子塾を開催しました。次世代を担う子どもたちや保護者の皆さんが、直接木に触れる体験をすることにより、木が持つぬくもりや、森の良さを知ってもらい、森林への興味や関心を持っていただくことを目的としています。当日は、48人の皆さんにご参加頂きました！



木工細工

美杉町のスギ材を利用して、釘や彫刻刀などを使用しながら、マガジンラック、木製掛時計、本立てを作成しました。保護者と協力しながら、一生懸命に釘を打ち込んだり、彫刻刀で木を削ったりして、木を細工する楽しさや、材の肌触りや手応えを感じていただけました。





森林環境学習

森林の役割や林業について、パネルと冊子を利用しながら説明しました。



丸太切り体験、皮むき体験



丸太切り体験、皮むき体験を行いました。
 丸太切り体験は、大人が作業してもかなり労力を使う作業です。子供たちは、一生懸命に最後まで諦めずに作業をしていました。
 その瞬間や、丸太が切れた瞬間の喜ぶ姿が印象に残りました。
 猛暑の日でしたが、皆さんには親子で楽しみながら、林業について学んでいただきました。



夏休み森と緑の親子塾は「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用しています。



このページに対するアンケートにお答えください

このページは見つけやすかったですか？

☐ 見つけやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ 見つけにくかった

このページの内容はわかりやすかったですか？

☐ わかりやすかった ☐ どちらとも言えない ☐ わかりにくかった

このページの内容は参考になりましたか？

☐ 参考になった ☐ どちらとも言えない ☐ 参考にならなかった

[アンケートを送信](#)



お問い合わせ先

農産物ミューズ 興室
電話番号 025

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業				
事 業 費	169,544 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			169,544		

1. 事業の目的

「カーボンニュートラルの実現に向けた森林の維持管理・保全及び活用の推進に関するパートナーシップ協定」に基づき、森林が持つ二酸化炭素吸収源としての公益性を啓発し、カーボンニュートラルの実現に資することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

【森と木の体験広場（丸太切り体験、木製コースターづくり）】津松菱で8月24日、25日の2日間開催

【まるごと林業体験（間伐体験、木工体験）】美杉町内の森林で10月26日に開催

【津市農林水産まつりのブース（パネル展示）】11月2日に実施

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

協定締結者

【実施個所及び箇所数】

津市内

【事業量】

森と木の体験広場1回、まるごと林業体験1回、津市農林水産まつり1回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

CO2吸収力の増加に繋がる森林の公益的機能に対する理解や森林の持つ多様な役割と、木材利用の重要性を理解していただくことが期待できる。イベントを通して、森と緑の県民税の存在や活用方法についても周知することができ、森林整備の必要性や重要性について理解してもらう機会となったと考えられる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

大人から子供まで、林業に興味を持ってもらうようなブース作成を心がけた。間伐現場や高性能機械の見学等を工程に取り入れた。

【新たな対策・視点及び改善点】

津市だけのアイデアのみならず、パートナーシップ協定者のアイデアをふんだんに反映させることにより、参加者、来場者がより一層、森林や木材に興味を持つようなイベントにしていける。

令和 6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業				
事 業 費	169,544 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			169,544		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		協定締結者（1 者）

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

特になし

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者及びその友人家族
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果

【公的関与の必要性】

各イベントには、県民税の啓発物の配布やパネルを配置することで森と緑の県民税について知ってもらう機会となった。災害に強い森づくりや県民全体で森林を支える社会づくりを方針として、県民税を活用して行っていることを知ってもらう重要な機会となった。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

特になし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	実施箇所に設置する。
広報誌掲載	実施前	「広報つ」に県民税の活用及び募集案内を掲載する。
HP掲載	実施前・後	県民税の活用事業、募集案内、実施報告を掲載する。
アンケート実施	実施後	参加者アンケートを実施する。
啓発物品配布	実施中	クリアファイル、リーフレット、副読本を配布する。
チラシ配布	実施前	イベントの開催に係るチラシを配布する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

事業名	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
-----	------------------------

主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
森と木の体験広場（松菱イベント）	消耗品	式	1	12,694	12,694	軍手、衛生用品等
	イーゼル	個	5	3,210	16,050	県民税パネル展示用
	箸作り用角箸	セット	180	165	29,700	
	丸太切り用円柱	本	4	4,675	18,700	
まるごと林業体験	木工セット	セット	20	2,420	48,400	
農林水産まつり	木工セット	セット	40	1,100	44,000	
				合計	169,544	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業
-----	------------------------

7の(1). 写真



写真1

森と木の体験広場 会場



写真2

森と木の体験広場 開催中



写真3

森と木の体験広場 県民税パネル展示



写真4

まるごと林業体験 高性能機械見学



写真5

まるごと林業体験 木工体験



写真6

農林水産まつり 展示ブース

森と木の体験広場

～木の香りと肌触りを体感しよう～ in松菱

8月24日(土)・25日(日)

松菱 6階/催事場

午前10時～午後4時30分

◎主催:株式会社 津松菱 ◎共催:津市・中勢森林組合

入場無料



参加費無料

小学生以下限定



木製遊具
木のオモチャで遊ぼう

参加費無料

先着順



丸太切り体験と
コースター作り
●受付:午前10時30分～

参加費無料

各日先着40名様



マイ箸づくり体験
●受付:午前10時30分～

参加費無料

小学生以下限定



林業なりきり撮影会



参加費無料

みんなで学ぼう
森のお話し

●午前11時30分～12時
●午後2時30分～3時



森林・林業に関する
パネル展

他にも顔出しパネルなど
設置してお待ちしております!!

参加者
募集中

楽しく作ろう!!
木工教室

8月24日(土)・25日(日)

- 各日各回7名様
- ・午前10時の部
- ・午後1時の部
- ・午後3時の部

●参加費(材料費)(税込)1,100円

お申し込み・お問い合わせ

事前のご予約が必要です。

TEL059-228-1311 (代)

受付時間:午前10時～午後6時30分 <営業推進部まで>

※保護者の方が必ずご同伴ください。
※定員になり次第締め切りとなります。
※お電話いただいた時点で定員に達している場合がございます。
※スケジュール内容は変更になる場合がございます。

作りたい物を
選んでね!!



①丸脚花台



②小物台



③マガジンラック

この催しには一部「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用しています。

【お問い合わせ】
中勢森林組合 TEL.059-262-3020



MATSUBISHI

〒514-8580 津市東丸之内4-10
TEL.059-228-1311
営業時間:あさ10時～よる6時30分

広報

News
P 2公園空間活用実験「ふらっと大門・丸之内@お城前公園」
出店者・利活用者募集！News
P 4

第10回彼岸花映画祭in津

連載
P14

歴史散歩～津城かわら版⑧～

未来に残したい
美しき海岸線

表紙 香良洲小学校、香海中学校合同の海岸清掃活動。炎天下で汗をかきながら一生懸命ごみを拾いました。(6月14日 香良洲海岸)

税理士法人 心

相続・税務申告・税務顧問・税務調査・会社設立 他

相続税額 無料診断サービス

※費用には別外や変更もありますので詳しくはホームページをご覧ください ※主たる事務所は名古屋税理士会所属 ※本広告は今後6月期時点のものです

津駅

0.5分

近鉄四日市駅

1分

松阪駅

1分

名古屋駅

2分

松坂屋

名古屋店内
(乗車5分)

他の事務所 東京駅・池袋駅・横浜駅・千葉駅・柏駅・太田川駅・豊田市駅・岐阜駅・大板駅・京都駅 ほか

相続税は申告期限があるため
お早めにご相談ください！

相続税申告が必要かご不明な方もお気軽にご相談ください

相談料 0円 相続税 10万6,700円(税込)～
※遺産の構成・内容、申告時期、相続人の人数等により異なります。

総合受付 夜間・土日祝相談可(要予約)

平日 9時～21時 受付
土日祝 9時～18時

0120-240-338

https://www.kokoro.tax



広報津

No 445

8/16

令和6年(2024年)

まちの 情報ひろば

当事者間のトラブル等について、
市は一切関与しません

お知らせ

年次有給休暇を取得しやすい環境 づくりに取り組みましょう

働き方・休み方を改善するために、計画的な業務運営や休暇の分散化に資する「年次有給休暇の計画的付与制度」や、柔軟な働き方・休み方に資する「時間単位の年次有給休暇」の活用が効果的です。ぜひ導入をご検討ください。

☎三重労働局雇用環境・均等室(☎226-2318)

HP 年次有給休暇 取得促進 

外国文認証が必要な際は ご相談ください

外国文認証とは、外国語・日本語で作成され外国で使用される文書について、文書作成者が公証人の面前でサインし、公証人が証明する制度です。外国の行政機関等から公証人の認証を求められましたらご相談ください。

☎津合同公証役場(☎228-9373)



イベント

つうの会

不登校・ひきこもり親の会

☎8月22日(木)19時～21時 場
アスト津3階 内 不登校で悩んでいる保護者を中心とした集まり
※誰でも参加できます。 費200円
☎同会橋本(☎080-1987-4008)



悲しい数字

6月分
(2024年累計)

火災件数……………7件(59件)
うち住宅火災……………1件(17件)
救急出動数……………1,303件(8,603件)
交通事故数……………683件(4,257件)
死者数……………1人(2人)
負傷者数……………56人(346人)

市民の動き

7月1日現在

世帯数…129,224世帯
(前月比37世帯減)
人口…269,410人
(前月比233人減)
男性…131,171人
女性…138,239人

森と木の体験広場in松菱

～木の香りと肌触りを体感しよう～

☎8月24日(土)・

25日(日)10時～

16時30分 場松

菱6階催事場(東

丸之内) 内①丸

太切り体験 ②木製マイ箸作り体

験 ③林業なりきり撮影 ④木製遊

具体験など 対③④のみ小学生以

下 定先②のみ各日40人

☎中勢森林組合(☎262-3020)



マイカー無料点検コーナー

☎9月7日(土)10時～16時 場

イオンタウン津城山駐車場(久居

小野辺町) 対自家用乗用自動車、

軽乗用自動車 定先100台 ※参

加者に記念品進呈

☎津安芸自動車整備組合(☎225-6511)

2024年度久居地区

人権ネットワーク協議会

人権啓発映画上映会

☎9月8日(日)12時30分～16時

30分 場久居アルスプラザときの

風ホール 内13時～14時…みえ

出前トークを活用した講演「三重

県人権センターにおける啓発の取

組」、14時10分～16時30分…

映画「福田村事件」の上映 ※

PG-12作品 定先300人

☎久居地区人権ネットワーク協議

会事務局(☎255-8841)



募 集

第2回韓国料理の体験教室

簡単で本格的な韓国料理を作ってみませんか。今回は韓国冷麺とチヂミを作ります。



☎9月7日(土)11時～13時30分

場津リージョンプラザ2階栄養指

導室 定30人 費1,500円(三重

県日韓親善協会会員は1,000円)

申電話またはファクス、Eメール

で同協会事務局黒田(☎090-

3858-7126、FAX 224-8765、

m.nikkan.info@gmail.com)へ

☎同協会事務局(☎224-8765)

津市シルバー人材センター

入会説明会

☎①9月12日(木)10時～15時 ②

19日(木)13時30分～15時30分

場①同センター作業室(三重町津

興) ②久居総合福祉会館 対市内

に在住の60歳以上で臨時・短期・

簡易な仕事を探している人

申前日までに同センター(☎224-4123)へ

つ創業塾2024(全5回)

☎10月19日・26

日、11月2日・9

日・23日いずれも

土曜日10時～17時

※11月23日は13時～ 場津商工

会館5階会議室(丸之内) 内創業

の心構え、マーケティングの講義

など 対創業を希望する人、創業

後おおむね5年以内の人、第二創

業を考えている人 定30人 費

5,000円

※申し込み方法など、詳しくは津

商工会議所(☎228-9141)へお問

い合わせください。



放送大学10月入学生

放送大学はテレビ、インターネットで授業を行う通信制の大学です。心理や福祉、経済、歴史、文学など、300以上の受講科目があり、1科目から受講できます。

申9月10日(火)までに同大学本部へ

☎同大学三重学習センター(☎233-

1170) ※月曜日、祝日を除く

まるごと林業体験のご案内

開催日時 **令和6年10月26日（土）**
午前10時00分～午後3時00分

集合場所 **グリーンハウス美杉前駐車場（JR伊勢八知駅隣）**

搬出間伐現場の見学



○タイムスケジュール

- 9:30 受付開始（グリーンハウス美杉）
- 10:00 開会式
- 10:15 移動
- 10:45 高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学
- 12:15 昼食・休憩（各々でご持参ください。）
- 13:15 座学
- 13:30 木工体験
- 15:00 閉会式・解散

○持ち物

昼食 飲み物 タオル 作業可能な服装（長袖長ズボン） 着替え
安全靴等 雨具 手袋 健康保険証のコピー 虫よけスプレー など

○当日の注意事項

- ・服装は作業しやすい服装（長袖・長ズボン）をお願いします。
（汚れても良い服装をお願いします。）
- ・実施内容は、諸事情により変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください
- ・雨天状況をみて開催が困難であると判断した場合は、前日までにご連絡いたします。

○お問合せ先

津市 農林水産部 林業振興室

電話 059-262-7025

10月26日(土)の緊急連絡先 080-1577-4645

（裏面に案内地図）

この事業は
みえ森と緑の県民税
市町交付金
を活用しています



【グリーンハウス美杉までの案内】



広報



特集
P 2

妊娠期から子育て期の経済負担を軽減
津市のこども・子育て独自政策

News
P 5

木造住宅の耐震改修等の補助を拡充！
住まい耐震化のススメ

News
P 11

持続可能なより良い世界を目指して
SDGs ～視点を変えて理解を深めよう～

火柱に込めた
熱い思い

10月12日(土)・13日(日)開催の
津まつりで大迫力の美杉手筒花火
を見よう！

と き 10月13日(日)19時～
ところ お城公園会場



津まつり
ホームページ

表紙 第33回みすぎ夏まつり納涼花火大会の手筒花火。その迫力と美しさに大きな歓声が上がりました。(8月10日 美杉中学校グラウンド)

税理士法人 心

相続・税務申告・税務顧問・税務調査・会社設立 他

相続税額 無料診断サービス

※費用には別外や変更もありますので詳しくはホームページをご覧ください ※主たる事務所は名古屋税理士会所属 ※本広告は令和6年7月時点のものです

津駅 0.5分	近鉄四日市駅 1分	松阪駅 1分	名古屋駅 2分	松坂屋 名古屋店内 (栄駅5分)
------------	--------------	-----------	------------	------------------------

他の事務所 東京駅・池袋駅・横浜駅・千葉駅・柏駅・木田川駅・豊田駅・岐阜駅・大阪駅・京都駅 ほか

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。

相続税は申告期限があるため
お早めにご相談ください！

相続税申告が必要かご不明な方もお気軽にご相談ください

相談料 0円 相続税 10万6,700円(税込)～
※遺産の総額・内容、申告時期、相続人の人数等により異なります。

総合受付 夜間・土日祝相談可(要予約) 平日 9時～21時 受付
土日祝 9時～18時 受付

0120-240-338 <https://www.kokoro.tax>



広報津

No 448

10/1

令和6年(2024年)

久居総合支所 木造住宅の耐震相談会

建築指導課

☎229-3187 ☎229-3336

木造住宅の耐震診断・耐震補強工事における補助制度・補強方法・費用などについて、相談会を開催します。ブロック塀等の撤去改修補助制度についてもご相談ください。

と き 10月9日(水)10時～13時

ところ 市久居庁舎2階市民ギャラリー(南)

申し込み 電話で建築指導課へ

まるとと林業体験

林業振興室

☎262-7025 ☎264-1000

と き 10月26日(土)10時～15時

集合場所 グリーンハウス美杉
(JR伊勢八知駅隣)

内容 美杉地域内の森林での高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学、木工体験

対象 市内に在住・在勤・在学の中・高生以上 ※高校生以下は

保護者同伴

定員 抽選20人程度

持ち物 昼食、飲み物、軍手、健康保険証 ※動きやすい服装

申し込み はがき、またはファクス、Eメールで、住所、参加者全員の氏名・年齢、電話番号を林業振興室(〒515-2603 白山町川口892、☎262-7025@city.tsu.lg.jp)へ

締め切り 10月11日(金)必着



空き家に関する無料相談会

環境保全課

☎229-3398 ☎229-3354

全国的に空き家は増加傾向にあり、適切に管理されていない空き

家が社会問題になっています。

空き家を所有する人や、将来所有する可能性のある人を対象に、不動産の売買・管理、相続・贈与などの名義変更、贈与税・所得税、成年後見、土地の境界確定、建物のリフォーム・耐震、資産活用、建物解体など、空き家に関するさまざまな相談に各分野の専門家がお答えします。

と き 11月16日(土)10時～16時

ところ 中央公民館ホール(津センターパレス2階)

※市営フェニックス通り駐車場利用者には、帰りに無料駐車券を配布

申し込み 環境保全課、各総合支所地域振興課にある申込用紙を直接窓口またはファクス、Eメールで提出するか、電話で環境保全課(☎229-3140@city.tsu.lg.jp)へ

締め切り 10月11日(金)必着

森林セラピーイベント 参加者募集

森林セラピーとは、森林の癒やし効果を生かして人間が本来持っている心と体の元気を取り戻そうとするものです。秋の美杉地域で五感を研ぎ澄ましなが、心も体もリフレッシュしてみませんか。

申し込み 申し込みフォームから、または電話で美杉総合支所地域振興課へ



申し込み
フォーム

イベント名	内容	と き	ところ	定員(先着)	費用	申込期間
みすぎ低山 ほっこりセラピー	早朝の空気を感じながら低山をゆっくり登り、癒やされてみませんか。	11月5日(火) 7時～11時 30分	高束山 コース	12人 ※最少開催 人数10人	2,500円 (保険料を含む)	10月15日(火) ～23日(水)
こけ 苔の緑の上に紅葉…。 美しい色彩、秋の大洞 へ行きましょう	木々の色づく道を歩き、神秘的な場所に足を踏み入れると、苔むす石畳が続きます。	11月8日(金) 9時30分～ 15時	大洞山 石畳 コース	10人 ※最少開催 人数8人	4,000円 (昼食代、保険 料を含む)	10月21日(月) ～30日(水)



問い合わせ 美杉総合支所地域振興課 ☎272-8082 FAX272-1119

令和6年度 まるごと林業体験アンケート結果
回収 9/9

1.「高性能林業機械の現場見学」はいかがでしたか？

よかった 9人

3.「木工体験」はいかがでしたか？

よかった 9人

5.「森林や林業」について、もっと知りたいと思いますか？

おもう	8人
なんとなく	1人

令和6年度 まるごと林業体験アンケート結果

高性能林業機械の現場見学

何がよかった(よくなかった)ですか？

番号	理 由
1	普段なかなか聞けない林業の話がたくさん聞けてよかったです。 雑談できるゆるい雰囲気がいいですね
2	ハーベストを直に見られたこと(技術も)
3	目の前でハーベスト等の機械が動いているのを見学できた事
4	ハーベスタの動きを直接見ることができた
5	
6	実際に、山で作業しているのが見られてよかった
7	現地に入れた、行けたこと。森林を育ててたりの運用のことを聞いたこと
8	ハイテクで楽しかったです。
9	質問にすべて答えていただいたので、よくわかりました。

木工体験

何がよかった(よくなかった)ですか？

番号	理 由
1	木の感触
2	集中できた、コースターも作りたいです
3	サポートをしてもらいながら、完成させられた事
4	ボックス作りでの釘打ちの難しさ
5	
6	職員が一生懸命なところ
7	すごく立派なものことができました
8	木の香りに癒されました
9	箱を作ったあとに、箸を削ることまでできて、楽しかったです

令和6年度 まるごと林業体験アンケート結果

「森林・林業」についてをテーマにとして、どんな体験や学習をしたいですか？

番号	理 由
1	林業を支えるために、日常的にできること
2	チェンソー体験、のこぎりの使い方(ナタも)
3	丸一日制村体験
4	森の保水力、木工体験
5	
6	測量やそれに基づいてデータ化なども体験したい
7	生活や企業の取組の中で、森林活用に繋がることがわかるとありがたいです。今日は教えて頂けて良かったと思います。
8	木材の端材で湯船で香りを楽しむものをしたい
9	運材方法の、それぞれの利点や欠点など

その他、ご意見

番号	理 由
1	せっかくなので、名松線で来たかったです。
2	時刻表と合わせて、スタート時間が決まったらよかった。
3	
4	行政として、小中学校で国産材、地元材を利用した工作等の機会を増やしてみてもどうか
5	
6	半日でよかったのではと思う。私は木工体験の時間はいらないので半日で終わってほしかった。
7	
8	
9	

■ まるごと林業体験を開催しました！

ポスト

いいね！ 0

印刷用ページを表示する

登録日：2025年4月18日

令和6年10月26日に津市美杉町下多気地内の森林でまるごと林業体験を開催しました。
まるごと林業体験は、木の伐採、集材、利用などの林業体験をすることにより、参加者の皆さんが森林や林業について理解を深めたり、興味を持っていただいたりすることを目的としています。
当日は9人に参加していただきました。



高性能林業機械の現場見学

高性能林業機械を使用した搬出間伐の現場見学をしました。
はじめに、間伐の意義や高性能林業機械の説明を受け、その後、実際にハーベスタによる造材をしているところを見学いただきました。
現代の林業では主流となっている高性能林業機械は、日常的には見ることのない珍しい機械なので、参加者の皆さん、非常に興味を持って頂きました。
高性能機械の見学





木工体験

津市産材の杉を使用した木工作品づくりと箸づくりを体験していただきました。カッターや紙やすりを使用して形を整えていきます。木によって模様が違うため、みなさん個性ある作品を作成しました。

木工作品づくり



マイ箸づくり



その他



まるみえ
え森と緑の県民税市町交付金事業」を活用しています。

DF/2MB)

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	美里水源の森「林業体験」事業				
事 業 費	242,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			242,000		

1. 事業の目的

美里水源の森の水源涵養林等を活かしながら、自然や環境保全を学べる場として市内の小学生を対象に、野外体験や林業体験を通して自然や森林・林業の魅力を感じてもらい、森林に対する理解を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に、林業体験（シイタケ菌打ち、巣箱作り体験）を実施。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

特定非営利活動法人 美里水源の森を育む会

【実施個所及び箇所数】

美里水源の森「林業体験」：1回 「きのこづくり体験」及び「巣箱作り」3月23日開催

【事業量】

美里水源の森「林業体験」：1回 市内在学の幼稚園・小学生と保護者3組7名

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

きのこづくり体験：シイタケの菌打ち体験を通じて、森のはたらきや、森と人との関わり、林業や産業への理解を深めることができた。

巣箱作り体験：巣箱作り体験を通じて、木材に触れ木材と生活の関わりについて考えることができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市内の小学校すべてに案内を行い、幅広く参加者を募集している。

【新たな対策・視点及び改善点】

美里水源の森の自然環境に触れることができるような森林環境教育を今後も実施する。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	美里水源の森「林業体験」事業				
事 業 費	242,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			242,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	10/10以内		特定非営利活動法人 美里水源の森を育む会

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

令和元年度から協議会が水源の森の活用を進めてきており、協議会が法人格を取得し主催者となって行う森林環境教育事業を令和6年度からは委託事業として以前と同様に実施した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者の家族への波及効果が期待できる。）

【公的関与の必要性】

森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林を守り育てることの大切さを理解していただく上で、非常に重要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

体験学習の開催であり、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	市内の小学4、5年生の児童の保護者へチラシを配布し、イベント開催の周知を図る。
のぼり設置	実施中	のぼりを設置し、県民税事業を啓発する。
広報誌掲載	実施後	地域広報誌でイベントの内容について掲載した。
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

参加者からは、普段できない体験で楽しかった。また機会があれば、ぜひ参加したい。との声をいただいている。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
事業名	美里水源の森「林業体験」事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」 シイタケ菌打ち体験	講師謝金	式	1.00	50,000	50,000	林業体験指導
	資材費	式	1.00	150,000	150,000	原木、駒菌等
	諸経費	式	1.00		20,000	
		小計			220,000	
		消費税及び地方税相当額			22,000	10%（報償費を除く）
		合計			242,000	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1

きのこづくり体験



写真2

きのこづくり体験



写真3

巣箱作り体験



写真4

巣箱作り体験

写真5

写真6

写真5

写真6

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事 業 費	449,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			449,900		

1. 事業の目的

芸濃子育て支援センターに木製遊具や木製棚を導入し、みえ森林教育ステーション整備支援事業と連携して、0歳から就園前の子どもと保護者が木のぬくもりや質感を学べる場を創出することを図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

芸濃子育て支援センターに木製遊具や木製棚を導入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市

【実施個所及び箇所数】

芸濃子育て支援センター

【事業量】

木製遊具2台、木製棚1台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

芸濃子育て支援センターにおいて親子で木に触れ合っていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木に興味をもっていただくことが期待できる。また、みえ森林教育ステーション整備支援事業の認定を受けて、来場者の親子を対象に、木育活動が継続的に行われることが期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

みえ森林教育ステーションに認定されている桜橋子育て支援センターで5月に、芸濃子育て支援センターで10月に、安濃子育て支援センターにおいて11月にそれぞれ木育を目的として、みえ森づくりサポートセンターから大型遊具を借用し、1週間程度の木育週間を設け、親子で木に触れながら遊べるイベントを開催。より多くの方に利用いただくことができた。また、日々の運営の中で実施している手遊び、読み聞かせの時間に、木や森等をテーマとしたものを定期的の実施することで、本事業で導入した遊具等と合わせて、木に対して興味を持ってもらえるよう継続して取り組む。

【新たな対策・視点及び改善点】

市内で4か所目となるみえ森林教育ステーションをたるみ子育て支援センターに設置予定のため、みえ森林教育ステーションの認定を受けた各子育て支援センターで木育を実施する環境づくりを行い、より多くの未就園児と保護者を対象とした木育を進めていく。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではな い		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
当該木製遊具は、「津の木と遊び、津の木と育つ」をコンセプトに、学校法人高田学苑高田短期大学で、保育を学ぶ学生たちが保育園・幼稚園などで使う遊具として自由な発想でデザインした、乳幼児の木育に適切な物品であり、また木製幼児用机は、三重県が普及する「みえの木育製品カタログ」に掲載されているもので、親子でのままごと遊びに活用できる木育に適切な物品であり、使用する木材は共に三重県産材であるため。 【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	芸濃子育て支援センターを利用する親子（不特定） 参考：R6年4月～10月の利用者数（月平均）1328.2人			
期待する波及効果	子育て支援センターでの木育により個々の家庭への波及効果も期待できる。			
【公的関与の必要性】				
導入した物品については市のHPに掲載することで周知を図り、また日々の手遊びの時間や、毎月のイベントなどでも県民税を活用し導入された物品として紹介することで、利用率向上を目指している。 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 導入した物品には県民税のシールを貼り、森林教育ステーションに設置しており、転用や目的外使用は想定されない。また森林教育ステーションとしての活動として、年に1回の木育イベント、日々の手遊び等の時間に木や森等をテーマとしたものを定期的実施することとしている。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	木製品を導入後、HPで導入したことをPR		
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	木製品に県民税のシールや焼印を掲示		
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置する。		
その他	実施後	日々の手遊び時間やイベント開催時に木製品導入について県民税を活用した取組であることをアナウンスした。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
利用者の声：「陽当たりのいい木のコーナーで、木の柔らかさ、癒される木の匂いや手触りの良さを感じながら子どもと遊んでいると、心まで温かくなるような気がします。子どもより大人の方がわくわくします。」年齢問わず利用者に大人気のコーナーとなっており、キッチンやパーテーションが増えたため、ますます皆の憩いの場所となっている。				

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市
------	-------------------	-----	----

事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業
-----	-----------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
芸濃子育て支援センター	パーティション型木製遊具	ユニット	1.00	221,000	221,000	地域材使用
芸濃子育て支援センター	木製棚	基	1.00	103,000	103,000	地域材使用
芸濃子育て支援センター	木製ままごとキッチン	基	1.00	85,000	85,000	地域材使用
				小計	409,000	
				消費税	40,900	10%
		合計			449,900	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	----	---------	----

事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業
-----	-----------------------

7の(1). 写真



写真1

森林教育ステーションに導入されたパーティション型遊具



写真2

森林教育ステーションに導入された木製ままごとキッチン



写真3

森林教育ステーションに導入された木製棚



写真4

木製品に貼り付けた県民税のシール



写真5

みえ森づくりサポートセンターから借用したもりボールプールでの木育ウィーク



写真6

「動くどんぐりころころ」のパネルシアター

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	----	---------	----

事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業
-----	-----------------------

7の(2). その他資料

- ・ 津市HPにて県民税を活用した木製本棚・遊具の導入について掲載（以下の2つのページにて）

子育て支援センターにでかけてみませんか

PC向け： <https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1465279288997/index.html>

子育て支援センターからのお知らせページ（数か月間のみ）

PC向け： <https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1620705477695/index.html>

【掲載例】

げいのう わんぱく(芸濃子育て支援センター)に、木製遊具を設置しました！

げいのう わんぱくに設置されている森林教育ステーションに、「みえ森と緑の県民税」を活用し、「森と人をつなぐ学びの場づくり」の一環として、木製のパーテーション型遊具、木製ままごとキッチン、木製棚を導入しました。



今回設置されたパーテーション型の遊具は、「津の木と遊び、津の木と育つ。」をコンセプトに、高田短期大学で保育を学ぶ学生たちが保育園・幼稚園などで使う遊具として自由な発想でデザインし、「津の木」を使ったものです。

また、ままごとキッチンはおやこでおままごとが楽しめるよう、小さなお子さんが立ったままであそぶのに最適な高さとなっています。

ぜひお子さんと一緒に、木のぬくもりや質感を楽しみに来てください！



◎お問い合わせ◎ 芸濃子育て支援センター 電話：059-265-5537

松 阪 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

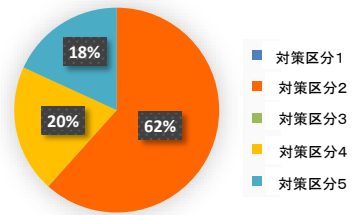
市町名	松阪市	三重県
人口（人）	153,612	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.7%	11.4%
森林面積(ha)	42,728.65	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	41,267.79	348,212.01
森林率(%)	69%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	12	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	15,367,000	15,268,000		15,268,000				
2	3	松阪の木魅力発信活動事業	40,000	13,000			13,000			
3	4	森林環境学習事業	2,992,000	2,992,000				2,992,000		
4	4	保育園木育推進事業	2,884,970	2,000,000				2,000,000		
5	5	都市公園整備事業	8,924,300	4,500,000					4,500,000	
計			30,208,270	24,773,000	0	15,268,000	13,000	4,992,000	4,500,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.57ha	4,999,500	4,999,500	森林整備
災害からライフラインを守る事前伐採事業	2.45ha	20,121,700	10,000,000	予備調査・事前伐採・立木補償

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく5つの事業を実施した。 1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 2. 森林環境学習事業…松阪市内小学校を対象に森林環境教育を実施。 3. 松阪の木魅力発信活動事業…松阪地域の林業、木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が開催する、学校等における木育や森林教育イベントの活動補助等を実施。 4. 保育園木育推進事業…市内の保育園の備品を木質化し、森林や木材について学び、幼少期より木との関係を深める。 5. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産材を使用した東屋を設置し、利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に、森林、緑、水辺の自然と親しむ環境整備を実施。
事業実施により期待される効果	里山の森林安全安心対策事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。
情報発信への取組	森林整備・都市公園整備遂行にあたり、県民税のPRチラシ及び啓発品配布や松阪市HPにより積極的な啓発を行っている。 森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上において、情報を発信し、また、事業実施後にSNS（インスタグラム）において情報発信した。 松阪の木魅力発信活動事業については、事業実施後にSNS（インスタグラム）において情報発信した。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑦ その他（森林整備）	121,740	98,496
2	④ 公有林整備（財産区有林含む）	14,269	14,269
3	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	33,097	33,097
4	⑥ 林道・林専道の整備等	6,598	6,598
	合計	175,704	152,460

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事 業 費	15,367,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			15,268,000		99,000

1. 事業の目的

集落や公共施設周辺の森林で、森林の持つ公益的機能が発揮されない状態にある森林を対象に、森林所有者や地域の自治会等と連携し、集落の安全と安心を確保することを目的に森林整備を行う。

2. 事業実績概要

【事業内容】

該当地域において、関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施箇所及び箇所数】

森林整備箇所18箇所

【事業量】

間伐1箇所（5.35ha）、支障木伐採17箇所（338本）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

集落周辺の森林が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保される。又、地域の自主防災組織や自治会長と連携することにより、地域の里山の在り方を見直す良いきっかけとなり、継続的な取組が可能となる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林所有者の自助努力の底上げを促すべく、アンケート調査等を行うなどPDCAサイクルの構築に繋がっている。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業実施前、実施時にチラシを配布、ポスター掲示により、みえ森と緑の県民税市町交付金事業のPRと森林、林業の啓発を行う。事業実施後は関係者へのアンケート調査を実施し、事業のフィードバックを行う。またHP等を活用し幅広く情報発信を行う。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事 業 費	15,367,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			15,268,000		99,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林所有者、認定林業事業体及び市の3者において、長期にわたる森林の機能向上を図るべく「災害に強い森林づくり協定」を締結しているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	受益戸数78戸、市道・国県道・公共施設等の受益約23件
期待する波及効果	地域の里山の在り方を見直すきっかけとなる

【公的関与の必要性】

地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者との協定により、適切な維持管理と転用等制限を担保している。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設置	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
ポスター掲示	実施前・中・後	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
チラシ等配布	実施前	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
アンケート実施	実施後	

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

平成26年度から継続実施。平成26年度～令和6年度の実績146箇所

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	-----------------	-----	-----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
測量調査		式	1	455,000	455,000	
間伐		式	1	3,552,000	3,552,000	1箇所（5.35ha）
支障木伐採		式	1	9,963,000	9,963,000	17箇所(338本)
小計					13,970,000	
消費税及び地方税相当額					1,397,000	
		合計			15,367,000	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1

支障木伐採(着手前)松阪市膳野川北町地内
公共施設付近で倒木の恐れがあり、危険であった



写真2

支障木伐採(完成)松阪市膳野川北町地内
事業実施により危険が解消された



写真3

支障木伐採(完成)松阪市膳野川北町地内
事業実施により危険が解消された



写真4

支障木伐採(施工状況)松阪市膳野川北町地内



写真5

みえ森と緑の県民税市町交付金事業PR用工事看板設置状況



写真6

みえ森と緑の県民税市町交付金事業PR用標柱設置状況

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

7の(2). その他資料

・ アンケート（自治会、山林所有者対象）

🌲 アンケートご協力をお願い 🌲

「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるために、平成26年4月から三重県が導入した税金です。

松阪市では、この税を活用して、里山の森林安全安心対策事業を実施しました。

今後の事業実施の参考にするため、この事業の感想と、森林に対する想いを聞かせてください。

里山の森林安全安心対策事業の感想を聞かせてください。

- ① この事業を実施していることを知っていた
- ・知っていた ①事業実施時に知った ・知らなかった
- ② この事業にこの税を使っていることを知っていた
- ・知っていた ①事業実施時に知った ・知らなかった
- ③ 台風等の自然災害での被害の心配が軽減された
- そう思う ⇄ そう思わない
- ④ 3 2 1

森林に対する想いを聞かせてください。

- ① 安全、快適に暮らすためには、森林の手入れが大切だと思う
- そう思う ⇄ そう思わない
- 4 ③ 2 1
- ② 木を使うことは、森林の手入れにつながると思う
- そう思う ⇄ そう思わない
- 4 ③ 2 1
- ③ これからは身近な森林（里山）や竹林の手入れをしようと思う（手入れに参加しようと思う）
- そう思う ⇄ そう思わない
- 4 3 ② 1
- ④ 災害に強い森林づくりのために、これからは幅広い用途で木材利用をしようと思う。
- そう思う ⇄ そう思わない
- 4 ③ 2 1
- ⑤ みえ森と緑の県民税について、ご意見があればご記入ください



自然災害により被害が軽減されたので
税を継続してほしい。

ご協力ありがとうございました。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	松阪の木魅力発信活動事業				
事 業 費	40,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			13,000		27,000

1. 事業の目的

松阪地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が氏郷まつりに出店し、参加している子どもを対象に木製ベンチ・県産材桧のボール体験・輪投げ等使用して木に触れられる環境をつくり、木に親しむ木育を実施する。

また、スケートボード大会において松阪の木を使用した木製賞状を作製し、表彰状として渡すことにより、関係者に木の温もりや、木の魅力を知ってもらう。

この二つの事業から森林からの恩恵、木の良さを学ぶと共に地域の林業・木材産業を身近に感じていただくきっかけの場を提供することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

◎氏郷まつり出前授業(参加している子どもを対象に木製ベンチ・県産材桧のボール体験・輪投げ等使用して木に触れられる環境をつくり、木に親しむ木育を実施する。)

▽日時 令和6年11月3日(日) ▽場所 松阪駅前周辺

◎市長杯スケートボードコンテスト(参加者に木製賞状を作製・授与)

▽日時 令和6年11月17日(日) ▽場所 松阪市総合運動公園

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪地区青和会

【実施個所及び箇所数】

松阪駅前周辺、松阪市総合運動公園スケートパーク

【事業量】

出前授業、木製賞状1枚寄贈

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

木と林業・木材産業に携わる人とふれあうことで、森林からの恩恵、木の良さを学ぶと共に地域の林業・木材産業を身近に感じていただくきっかけの場を提供できた。

木製賞状などを作製し、寄贈することにより、木製品の肌触りや外観を通して木の温もりや良さを知っていただき、木の魅力を感じてもらい木育を推進する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

幅広い年齢層に木の魅力等を伝えるため、幼児、小学生・中学生・高校生を対象に実施した。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業の経費を最小限に抑えるため、ミエトイ・キャラバンの「もりぼーる」を活用させていただいた。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	松阪の木魅力発信活動事業				
事 業 費	40,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			13,000		27,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	その他		③1/3以内

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当該地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体であり、森林・林業に関する専門的な知識や技術を有しているため

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	対象者約1,000名
期待する波及効果	参加者の家族や友人への波及効果が期待できる。

【公的関与の必要性】

林業・木材産業団体、市内学校等と協働、推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施時にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR
その他	実施後	Instagramの掲載により、当該交付金活用事業であることをPR
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	木製賞状（裏面）にロゴマークのシールを貼り付けし、当該交付金活用事業であることをPR
HP掲載	実施後	松阪市HPに掲載し、当該交付金活用事業であることをPR
啓発物品配布	実施中	啓発物品を配布し、当該交付金活用事業であることをPR

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
------	-------------	-----	-----

事業名	松阪の木魅力発信活動事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
資材及び加工費	木製賞状	式	1	20,000	20,000	スケートボード コンテスト時
運搬車両リース料	資材運搬用ユニック2 t 及びウィング車4 t	式	1	20,000	20,000	氏郷まつり出店時
				事業費	40,000	
				補助額	13,000	(1/3以内)
		合計				

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信活動事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

氏郷まつり出前授業(出店状況)



写真2

氏郷まつり出前授業(のぼり設置状況)



写真3

氏郷まつり出前授業(松のボールプール実施状況)



写真4

氏郷まつり出前授業(木製輪投実施状況)



写真5

スケートボードコンテスト木製賞状寄贈

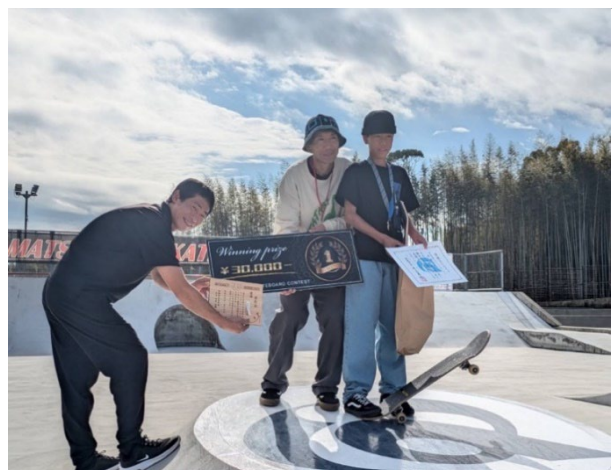


写真6

スケートボードコンテスト木製賞状寄贈

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
事業名	松阪の木魅力発信活動事業				
7の(2). その他資料					



氏郷まつり出前授業インスタグラム掲載状況



スケートボードコンテスト木製賞状寄贈インスタグラム掲載状況

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	森林環境学習事業				
事 業 費	2,992,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,992,000		

1. 事業の目的

市内小学校の児童を対象に体験型の学習を通して、地域の環境保全等につながることや森林及び木材について学び、森林環境教育を実施する。

また、松阪地域の木材を使用して小学校の内装の一部を木質化し、その空間を体感してもらう機会とし、木育の推進を行う。

2. 事業実績概要

【事業内容】

管内小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施する。また、その小学校で松阪産の木材を使用し、教室等の木質化を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

市内小学校2校（松阪市立天白小学校、松阪市立米ノ庄小学校）

【事業量】

森林環境学習及び、小学校の木質化：2校

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。また、理解や興味を持ったところで、木質化された教室等で学ぶことにより、さらに木材とのふれあいも進むなどの相乗効果が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林環境学習、製材工場・バイオマス工場等見学、木工教室等複合的なアプローチで事業を実施することにより、効率的な木育及び森林教育に繋がる。

【新たな対策・視点及び改善点】

平成26年度から継続実施で平成26年度～令和6年度の実績は21校であるが、事業開始から10年が経過するも、いまだ市内の約半数の学校で事業実施に至っておらず、次世代の担い手育成に繋がる学習・体験ができていない学校が存在する現状であるため、今後も当県民税の周知及びPRを行いたい。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森林環境学習事業				
事 業 費	2,992,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,992,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林・林業に携わる関係者による組織であり、森林・林業に精通し、又、恒常的に小学生を対象とした森林に纏わる学習イベントを開催するなど、適切な教育を実施することができるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	天白小学校5年生(児童73名)、米ノ庄小学校4年生(児童数34名)
期待する波及効果	学習終了後も校舎を木質化することにより学校全体への波及効果が見込める。

【公的関与の必要性】

市内小学校と協働し、当市における環境側面のカリキュラムとの相乗効果をはかりながら、森林環境を推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

木質化を行った構造物については、実施した施設にて適正な管理を行うこととしている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
TV（行政チャンネル等）	実施後	報道機関への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知
のぼり設置	実施中	学習実施時にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR
啓発物品配布	実施前	森林のはたらきをテーマとした絵本を作製し、市内小学校・保育園・幼稚園に配布
アンケート実施	実施後	対象児童全員に実施。
その他	実施後	インスタグラムの掲載により、当該交付金活用事業であることをPR

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

環境学習実施後のアンケートでは「森のはたらきの大切さが分かった」「丸太切りが楽しかった」など、高評価を得た。さらに、「ウッドピアにまた行ってみたい」という林業・木材への関心の向上も見られた。平成26年度から継続実施で平成26年度～令和6年度の実績は21校。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
------	-------------------	-----	-----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
環境学習人件費	講師等	人・日	12		192,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作（材料費）、丸太切り（原木）等	式	1		425,000	
環境学習直接経費	移動用大型バス	台	2		300,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作指導員謝礼	人	10		100,000	指導員5人（2校実施分）
環境学習直接経費	活動報告書	部	10		10,000	
木質化施工費	木質化施工費	式	1		650,000	和室、図書室前の木質化40㎡程度 （2校実施分）
木質化施工費	杉坂、下地材、金物等	式	1		650,000	
木質化施工費	塗装	式	1		170,000	
木質化施工費	清掃等	式	1		94,000	
諸経費	交通費、通信費	式	1		129,000	
消費税					272,000	
		合計			2,992,000	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

森林環境教育実施状況（天白小学校）



写真2

森林環境教育実施状況（天白小学校）



写真3

森林環境教育実施状況（木工工作体験 米ノ庄小学校）



写真4

森林環境教育実施状況（ノコギリ体験 米ノ庄小学校）



写真5

図書室前廊下木質化前（天白小学校）



写真6

図書室前廊下木質化状況（天白小学校）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境学習事業				

7の(2). その他資料



森林環境学習（米ノ庄小学校）夕刊三重掲載状況

森林環境学習Instagram掲載状況
（天白小学校）

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	保育園木育推進事業				
事 業 費	2,884,970 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		884,970

1. 事業の目的

市内の公立保育園・こども園の備品を木質化し、木材とふれあう場を提供し、森林環境学習用絵本の読み聞かせにより、森林と木材について学ぶ。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内の公立保育園・こども園の備品を市産材で木質化する。また、森林環境学習の一環として、みえ森と緑の県民税市町交付金事業にて作製した、児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聞かせ等を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施箇所及び箇所数】

公立こども園1園(木製椅子100脚

木製机10台)

【事業量】

松阪市立三雲北こども園への木育推進のための木製備品導入一式(木製椅子100脚

木製机10台)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児たちが市産材で木質化された備品に触れることで、木材とのふれあいが進み、更に森林環境学習用絵本の読み聞かせを行うことにより、森林と木材への理解の相乗効果が得られる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木製備品を導入するだけでなく、空間整備と併せて森林環境学習用絵本の読み聞かせを行うことで、幼少期からの木育を推進する。

【新たな対策・視点及び改善点】

森林環境学習用絵本の読み聞かせによる木育推進のほか、保育園だよりなど等に森のはたらきや交付金事業活用について記載する。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	保育園木育推進事業				
事 業 費	2,884,970 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		884,970

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	定額補助		②一般競争入札により決定 ③物品購入

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札を実施する事により公平性の担保と経費削減に繋がることから

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	保育園・こども園21園（園児数約1,650名）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる

【公的関与の必要性】

市の管理施設であるため、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前	園関係者や保護者に対して、園だより掲載により、当該交付金事業の活用をPR
ロゴマーク掲示（シール・プレート等）	実施後	木製備品にシールを貼り付け、当該事業活用の取組であることを周知
HP掲載	実施後	松阪市HPに掲載し、当該交付金活用事業であることをPR

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

平成26年度から継続実施で平成26年度～令和6年度の実績は23園で木製机418台・木製椅子1,723脚。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
------	-------------------	-----	-----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
	スタッキングテーブル0歳児用	台	2	79,970	159,940	地域材使用
	スタッキングテーブル4歳児用	台	4	79,970	319,880	地域材使用
	スタッキングテーブル5歳児用	台	4	79,970	319,880	地域材使用
	スタッキングチェア3歳児用	脚	50	18,230	911,500	地域材使用
	スタッキングチェア4歳児用	脚	50	18,230	911,500	地域材使用
					2,622,700	
				消費税(10%)	262,270	
				合計	2,884,970	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

7の(1). 写真

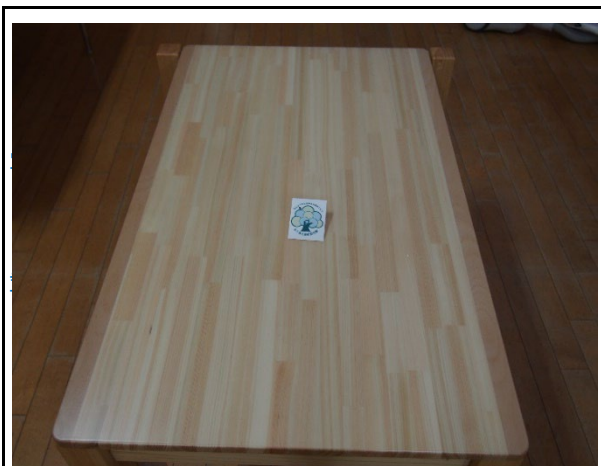


写真1
木製机納品状況



写真2
木製椅子納品状況



写真3
県民税を活用し、松阪市にて作製した木育用絵本の読み聴かせ状況



写真4
掲示板で「みえ森と緑の県民税」の周知と森林の大切さや必要性を説明



写真5

写真5



写真6

写真6

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	都市公園整備事業				
事 業 費	8,924,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,500,000		4,424,300

1. 事業の目的

公共空間である公園において、市民が公園内の緑や木・付近の森林を眺めながら休憩のできる東屋を市産材で建設し、森林や緑を親しみ楽しめる環境づくりを行う。

2. 事業実績概要

【事業内容】

都市公園に木製の東屋を市産材で建築

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

松阪市総合運動公園：東屋 1 棟

【事業量】

東屋 1 棟

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

松阪市総合運動公園は、芝生広場・多目的グラウンド・多目的広場・スケートパーク・キャンプパークとたくさんの施設があり、各種大会やイベントが開催され、多くの市民に利用されている。公園内に市産材を使用した東屋を建設することにより、市民が公園内の緑や木・付近の森林を眺めながら休憩することができ、併せて木の持つ温かみを伝えることにより、森林づくりの理解が深まることが見込まれる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

スポーツ大会や運動、遠足の目的地など多用途で活用されており、建築に併せてロゴプレートを設置し森林・林業について幅広く啓発が可能。

【新たな対策・視点及び改善点】

多くの県民、市民が利用する公園に新たに木製東屋を設置することで、夏場の熱中症対策にもつながり、来園者が、ゆっくり休憩しながら周辺の緑に触れられる機会の創出に繋がる。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	都市公園整備事業				
事 業 費	8,924,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,500,000		4,424,300

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
競争入札により、専門的な技術を有する事業者を選定。これにより、公平性の担保と経費の削減にも繋がる。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	公園利用者約50,000名			
期待する波及効果	利用者の家族や友人への波及効果も期待できる。			
【公的関与の必要性】				
市が管理する公園の整備であり、公的関与は必要である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
ロゴマーク掲示 (シール・プレート)	実施後	建築後、木製プレートにロゴマークを印刷したものを設置し、当該交付金活用事業であることをPR		
のぼり設置	実施中	東屋施工中にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR		
HP掲載	実施後	松阪市HPに掲載し、当該交付金活用事業であることをPR		
チラシ等配布	実施中・後	みえ森と緑の県民税チラシを配布し、当該交付金活用事業であることをPR		
啓発物品配布	実施中・後	みえ森と緑の県民税啓発物品を配布し、当該交付金活用事業であることをPR		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
平成26年度からの継続事業。平成26年度～令和6年度の実績29箇所。				

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市
------	--------------------	-----	-----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
東屋建築工	東屋設置工	式	1	3,785,290	3,785,290	
	附帯工事	式	1	320,990	320,990	
	諸経費	式	1	4,006,720	4,006,720	
		小計			8,113,000	
		消費税及び地方税相当額			811,300	10%
		合計			8,924,300	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

松阪市総合運動公園 東屋 遠写



写真2

松阪市総合運動公園 東屋 横

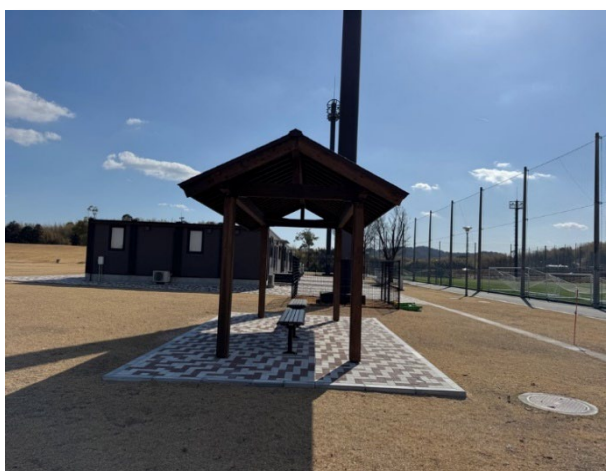


写真3

松阪市総合運動公園 東屋 縦



写真4

松阪市総合運動公園 東屋 ログプレート



写真5

写真5



写真6

写真6

多 気 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

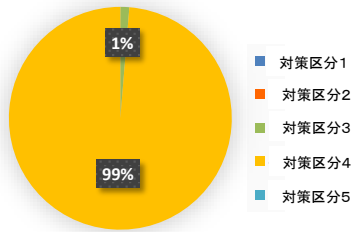
市町名	多気町	三重県
人口（人）	13,344	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.6%	11.4%
森林面積(ha)	5,847.03	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	5,847.03	348,212.01
森林率(%)	57%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	24.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	3	木とふれあう教育支援事業	100,760	100,000			100,000		
2	4	木とふれあう環境づくり事業	7,700,000	7,634,000				7,634,000	
計			7,800,760	7,734,000	0	0	100,000	7,634,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	14.2ha	3,148,200	3,000,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採調査）	0.685ha	18,761,600	9,225,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採施工）	0.554ha			

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57%を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化に伴い維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃、里山では竹林の増加といった問題がある。そのため、県民税を利用し、地域住民に木に触れる機械を提供し、森林の役割について理解を促すことを目的に事業を実施する。
事業実施により期待される効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心が高まり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設「ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場）」に木製施設を配置したことにより、利用する多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことで、木材への親近感を深め「県民全体で森林を支える社会づくり」に貢献できる。
情報発信への取組	多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送ることができるということを広報誌等で情報発信した。 また、小学校への木製備品の導入配置については、児童だけでなく保護者様への周知のため学校通信等で周知を行った。 保育園の木製備品（書架）の導入については、森林に関して推奨されている絵本を紹介いただき、読み聞かせを行ったことで、森林への親しみを深めるとともに、その様子を保護者様への通信へ掲載いただくことで、情報発信を行った。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	③ 私有林整備	9,452	9,452
2	③ 私有林整備	6,430	6,430
3	⑥ 林道・林専道の整備等	1,200	1,200
4	⑩ 専門員の雇用	921	921
5	⑩ 専門員の雇用	61	61
6	⑦ その他（森林整備）	297	297
7	⑭ 木質バイオマス利用推進	1,208	1,208
	合計	19,569	19,569

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	木とふれあう教育支援事業				
事 業 費	100,760 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			100,000		760

1. 事業の目的

町内に居住する若年層の町民にとって、森林との関わりは年々希薄になってきており、森林の有する公益的機能やその享受についても把握していないことが懸念される。「県民全体で森林を支える社会づくり」の為に、その第1歩として身近にある緑や木を大切に思う意識づけをする必要がある。

そこで、小学生に身近な樹木を使い森林のことを学び、木工製作等を体験させることで、森林の役割や機能を知り、木の温もりや良さに気づき、木と親しむ機会を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

小学生に対して木に触れてもらう機会を提供するため、森林に関する講義を実施し、併せて木工教室も実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

多気町

【実施個所及び箇所数】

津田小学校

【事業量】

木工授業：箸づくり体験

森林教育授業：森林の循環と災害

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

子供たちに森林・環境の大切さや役割を学んでもらい、自ら県産材に触れて木工工作等を体験することで、県産材を身近に感じ、「ものを作る喜び」を知ってもらうことができる。体験を通して自然の大切さを学び、自然に対する理解を深め、より森林に関心を持つきっかけとなる。

子供たちが保護者の方へ体験したことを話すことで、子供から大人へと森林への関心にも繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木工授業では、森について身近に感じてもらうため、木材から自分だけの作品を作ることによって楽しさや、木材を見る、触れる、香る、木の話を書くなど五感を感じながら木と親しむ体験を行うよう工夫した。また、作品づくりや過程を保護者の方へ伝えることで、保護者への森林に対する関心も繋がった。

森林教育授業では、木工授業で使用した木材について、森の間伐、主伐、地拵えといった循環を説明し、木材と自分たちの生活に深いつながりがあることを伝えた。

また、森林整備による森の美しさと災害時の森林の変貌を説明することで、魅力と危険の両方について理解を深めることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

自ら県産材の木材を利用し、作品を制作することで森林に関心を持つことが期待でき、木製品品の導入とも連携した、書籍や授業等で木材に触れて、見て、香る、森林の美しさと危険の話を書くなど五感を感じながら親しむ体験を設けることができたため、引き続き続けていきたい。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
1	木とふれあう教育支援事業						
事 業 費	100,760 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			100,000		760		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		津田小学校
【委託先及び補助対象者等の選定理由】 みえ森づくりサポートセンターの紹介 【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	小学生（22人）			
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。			
【公的関与の必要性】 木工工作等を体験することで森林教育活動が継続的に行われる。 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 なし				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき2月号」において、事業内容を掲載した。		
学校だより等掲載	実施後	津田小学校12月の学級通信において木工授業の様子を掲載いただいた。		
その他	実施後	夕刊三重の取材を依頼し、12月20日に掲載いただいた。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町
事業名	木とふれあう教育支援事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
津田小学校（木工教室）						
指導費	講師（宮川森林組合）	人	2	10,200	20,400	木工授業
材料費	スギ・ヒノキ 蜜蝋	式	1	24,500	24,500	記念品製作
準備費	箸作り用治具・豆平鉋	式	1	21,120	21,120	記念品製作
準備費	打ち合わせ等	式	1	2,900	2,900	記念品製作
諸経費		式	1	13,080	13,080	記念品製作
津田小学校（森林教育授業）						
指導費	森林教育授業	人	1	8,000	8,000	森林教育
諸経費		式	1	1,600	1,600	森林教育
		小計			91,600	
		消費税及び地方税相当額			9,160	
		合計			100,760	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう教育支援事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

木工授業（津田小学校）



写真2

木工授業（津田小学校）



写真3

木工授業（津田小学校）



写真4

木工授業（津田小学校）



写真5

森林教育授業（津田小学校）



写真6

森林教育授業（津田小学校）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう教育支援事業
-----	--------------

7の（2）. その他資料

[「夕刊三重」掲載記事](#)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう教育支援事業
-----	--------------

7の(2). その他資料

「広報たき2月号」掲載記事

TOPICS OF TAKI TOWN

まちの話題

フルコンタクト空手で全国大会出場へ

12月12日、相可小学校4年生の森田昇輝さんが、今年2月に行われる第2回IBK ALL Japan CHALLENGE Cup選抜大会にフルコンタクト空手で出場するにあたり、多気町役場にて全国大会出場激励会が行われました。

森田さんは、昨年5月に滋賀県彦根市で行われた第6回滋賀びわこ湖杯空手道選手権大会の軽量級で優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。



12月17日、多気町国際交流協会が主催するクリスマスパーティーが4年振りに開催され、BANKYU文化会館で外国籍の方々やキヤマス市への留学を経験した中学生などおよそ60名が集いました。会場では、手作りソーセイジハウスやまちゃんちのオードブルが振舞われ、参加者は立食パーティーや、箸でクリスマスのオーナメントを運んでタイムを競うゲームに興じていました。また、多気出身の演奏家グループ「るりあんが、大正琴で、野に咲く花のように」や、シングルベルなど6曲を披露し、参加者は歌詞カードを見ながら一緒に口ずさんでいました。久しぶりに参加したというジョウナイ・グロリアさんは「新しい人もいてワクワクした。知っている人にもまた会えてとてもうれしい。」と笑顔でした。

みえ森と緑の県民税で木育教室を実施しました！

12月19日、宮川森林組合より「森のせんせい」をお呼びし、津田小学校で木材を使った体験教室が開催されました。児童たちは杉の絵を使って箸づくりや挑戦、木を使ったモノづくり体験に、楽しみながら一生懸命取り組みました。



12月17日、百歳を迎えられた小林年子さんを、1月10日には中西やあさんをお祝いに訪問しました。お二人ともご家族や施設の職員の方と一緒に、お祝い状や記念品、銀杯を笑顔でお受け取りになりました。

ごかつら池 どうぶつパークで「双子の仔ヤギ」一般公開が開始

ごかつら池どうぶつパークでは、リニューアル後初めて生まれた双子の仔ヤギが生後1か月を迎えたことで、12月25日から午後限定で一般公開を開始しました。高橋文彦園長によると、2頭はメスで元気いっぱいに育っており、初産を経験した母「あんこ」は仔ヤギたちの祖母「おかき」と協力して子育てをしているとのことでした。飼育担当の原田大輝さんは「わんぱくに走り回ったり、人にも慣れて興味を示すようになった。」と話していました。



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう教育支援事業
-----	--------------

7の(2). その他資料

「津田小学級通信（Progress No. 25(2024)）」に掲載され保護者や地域住民へ発信



令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
2	木とふれあう環境づくり事業						
事 業 費	7,700,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			7,634,000		66,000		

1. 事業の目的
町内に居住する若年層の町民にとって、森林との関わりは年々希薄になってきており、森林の有する公益的機能やその享受についても把握していないことが懸念される。「県民全体で森林を支える社会づくり」の為にも、その第1歩として身近にある緑や木を大切に思う意識づけをする必要がある。 そこで、未就学児や児童生徒をはじめ、様々な町民に森林や木材についてふれあう場を提供することで、森と町民との関係を深める対策を進める。
2. 事業実績概要
【事業内容】 野外公共施設（ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場））に木製パーゴラベンチを配置し、保育園には木製書架、小学校には木製机を導入した。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 多気町 【実施箇所及び箇所数】 野外公共施設：ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場） 保育園：相可保育園 小学校：津田小学校、相可小学校、佐奈小学校、外城田小学校、勢和小学校 【事業量】 ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場）：木製パーゴラベンチ 1 式 相可保育園：書架 1 台 津田小学校、相可小学校、佐奈小学校、外城田小学校、勢和小学校：机・椅子 計120セット
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
【事業実施により期待される効果】 遊具及び備品に木材を使用することで、利用者が木の温もりや良さに気づき、より森林に関心をもつきっかけとなる。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 木製備品を納品する際、木製備品が完成する過程を説明することで森林に関心を深める。 また、より森林を身近に感じてもらうように小学校等で木育授業も併せて実施し、森の循環について授業を行った。未就学児においては、書架の導入と同時に森林に関して推奨されている絵本を紹介いただき、読み聞かせを行ったことで、森林への親しみを深める工夫を行った。 【新たな対策・視点及び改善点】 木製備品の導入の際に、森林が自分たちの社会に対して、関係していくかを書籍や授業等で物に触れ、見て、聞くといった五感に触れながら伝えられたため、引き続き続けていきたい。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	木とふれあう環境づくり事業				
事 業 費	7,700,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,634,000		66,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県産材木材の取引があり、各施設の要望に応じることができる加工製品化を行っている松阪飯南森林組合に委託した。

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民、小学生（690人）、保育園児（192人）
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。

【公的関与の必要性】

導入した木製備品を利用することで森林教育活動が継続的に行われる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

各施設の管理者が定期的に点検を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることがわかるように、導入した備品に県民税のシールや刻印を実施
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき6月号」において、事業内容を掲載予定。
学校だより等掲載	実施後	小学校や保育園の子供たちだけでなく保護者への案内として、学校だよりの掲載、保護者へのお知らせの発信を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町
------	-------------------	-----	-----

事業名	木とふれあう環境づくり事業
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
花と動物ふれあい広場	木製パーゴラベンチ	基	1	2,970,000	2,970,000	
相可保育園	木製書架	台	1	110,000	110,000	
相可小学校	机・椅子	セット	59	38,500	2,271,500	
佐奈小学校	机・椅子	セット	16	38,500	616,000	
津田小学校	机・椅子	セット	9	38,500	346,500	
外城田小学校	机・椅子	セット	8	38,500	308,000	
勢和小学校	机・椅子	セット	28	38,500	1,078,000	
		合計			7,700,000	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう環境づくり事業
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1

木製パーゴラベンチ（花と動物ふれあい広場）



写真2

木製パーゴラベンチ（花と動物ふれあい広場）



写真3

木製書架（相可保育園）



写真4

木製書架（相可保育園）



写真5

机・椅子（小学校5校）



写真6

机・椅子（小学校5校）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう環境づくり
-----	-------------

7の（2）. その他資料

[保育園での保護者へのお知らせ](#)

お知らせ詳細

お知らせ詳細

2025/03/27 ～ 2025/04/30

県産材を使った絵本棚を整備しました！

多気町こども課からのお知らせです。
三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。この税を活用した事業の一部として、今回、多気町では相可保育園に県産材を使った木製絵本棚1台を整備しました。
こどもたちに木の温もりを身近に感じてもらい、森林について関心を持ってもらえる学びの場づくりに活用していきます。

添付



※添付は2025/04/30に掲載終了します。

©Nippon Software Knowledge Corp.

対策区分		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	--	-----	-----	---------	----

事業名	
-----	--

7の(2)．その他資料

R7．6月広報たき掲載予定

みえ森と緑の県民税交付金対策事業の取り組みについて

「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」とは、森林づくりを県民みんなの力で担っていく取り組みで、各市町が地域の実情に沿った森林整備等を行います。

多気町での令和6年度の取り組みについてご紹介します。

① 流域防災機能強化対策事業

山腹崩壊の発生源となる斜面上部、土壌侵食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図りました。（土屋）




作業前

作業後

② 木と触れ合う環境づくり事業

野外公共施設・保育園・小学校に県産材を使った備品を導入しました。





花と動物ふれあい広場への備品導入
（パーゴラベンチ）

保育園への備品導入
（木製書架）

小学校への備品導入
（机・椅子）

問い合わせ先 農林課 ☎(38)1117

明 和 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

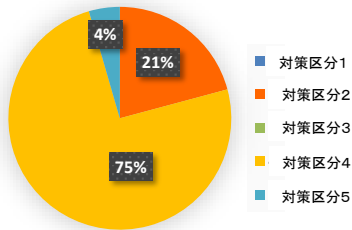
市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,155	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	12.7%	11.4%
森林面積(ha)	295.90	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	295.90	348,212.01
森林率(%)	7%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.2	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	松林整備事業	1,760,000	1,394,000		1,394,000			
2	4	学校木製備品購入事業	5,351,500	5,000,000				5,000,000	
3	5	木造施設等設置事業	368,500	300,000					300,000
計			7,480,000	6,694,000	0	1,394,000	0	5,000,000	300,000

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha（うち防風保安林は18.90ha）あります。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6％であり県平均（7.9％）よりかなり高い値です。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。 「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、また、地域住民及び観光客の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生のみでなく、多くの地域の方に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を創出する。
事業実施により期待される効果
防風林としての役割維持。学校生活において児童が利用する机・椅子に県産材を利用することで、木製製品の良さと温かさを実感してもらい、森林の大切さや役割を学んでもらう。
情報発信への取組
町ホームページやポスター等を通じて事業内容や森林保全に関する周知を行う。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	⑬ 木造公共建築物の整備等	12,955	12,955
2			
3			
4			
5			
	合計	12,955	12,955

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	松林整備事業				
事業費	1,760,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,394,000		366,000

1. 事業の目的					
町内沿岸部（川尻・大淀地内）にかけて広がる山林・保安林指定箇所において、松くい虫による松林の立ち枯れが発生している。当該地域には、キャンプ場や飲食店もあり多くの利用者が見込まれるため、交付金の活用により松林整備を行うことで、防風林としての役割と景観を保持し、地域住民や観光客の安心と憩いの場を創る。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 当該地域に植生している松林の保全のため、薬剤の地上散布と枯木の伐倒を実施する。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 明和町 【実施箇所及び箇所数】 明和町大淀地内 明和町川尻地内 【事業量】 地上散布：9.7ha（大淀地内2.7ha、川尻地内7.0ha） 伐倒本数：28本					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】 南海トラフ地震発生時に懸念されている津波の影響を緩和する防災林（防風林）としての役割を維持する。また、キャンプ場、観光地としての景観保持を行い、憩いの場を創る。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 適期実施による被害防止 【新たな対策・視点及び改善点】 伐倒による防風林機能として低下しないよう注視しながら取り組む。					

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
専門知識を有しており、適切な事業実施が見込めたため。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	施設利用者、周辺住民等（20,000人）			
期待する波及効果	施設利用者の増加が見込まれる。			
【公的関与の必要性】				
保安林のため、森林組合等専門知識を有する機関と連携しながら進めていく必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
保安林や地区保全森林であるため、転用の恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	取り組み内容についてHPに掲載		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町
------	-------------------	-----	-----

事業名	松林整備事業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
地上散布	薬剤散布	ha	9.70	990,000	990,000	
伐倒	伐倒、搬出、運搬等	式	1	770,000	770,000	
		合計			1,760,000	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松林整備事業
-----	--------

7の（1）. 写真



写真1
地上散布



写真2
地上散布



写真3
伐倒前



写真4
伐倒後

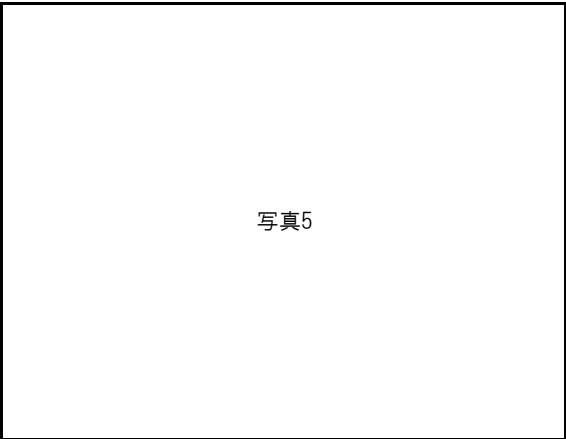


写真5

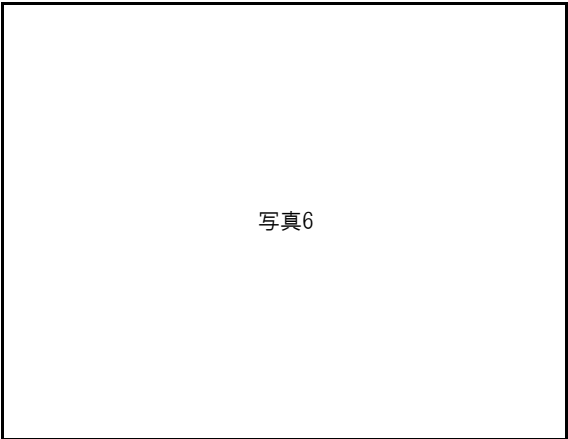


写真6

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	学校木製備品購入事業				
事 業 費	5,351,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,000,000		351,500

1. 事業の目的

・三重県産材の小学校備品（机・椅子）を購入し、普段の学校生活において使用する中で、児童に木の温もりを感じてもらい、森林への理解・関心と大切にする心を育む。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町内小学校の新入生へ、三重県産木材を使用した学校備品（机・椅子）を購入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施個所及び箇所数】

町内対象小学校 4校（大淀・上御糸・下御糸・明星）

【事業量】

木製机・椅子 139組

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

・学校生活において児童が利用する机・椅子に県産材を利用することで、木製製品の良さと温かさを実感してもらい、森林の大切さや役割を学んでもらう。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

・従来、小学校では5年生を対象に森林に関する授業があり、その中で副読本を活用するなど、森林の大切さについて児童の関心を高める取組を行っている。

【新たな対策・視点及び改善点】

・児童だけでなく保護者や教育現場で働く職員への周知を行い、森林に関する情報発信に努める。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	学校木製備品購入事業				
事 業 費	5,351,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,000,000		351,500

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

入札により決定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	児童、保護者、教育関係者(約400人)
期待する波及効果	学校に関わる方々に木の良さを感じてもらう。

【公的関与の必要性】

町立学校施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町管理備品であり、目的外使用や転用は行わない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	導入する机・椅子に焼印等でロゴマークを印字
HP掲載	実施後	取り組み内容についてHPに掲載
学校だより等掲載	実施後	保護者連絡用アプリにて通知

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町
------	-------------------	-----	-----

事業名	学校木製備品購入事業
-----	------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製備品	机・椅子	組	139	35,000	5,351,500	税込み
		合計			5,351,500	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	学校木製備品購入事業
-----	------------

7の(1). 写真

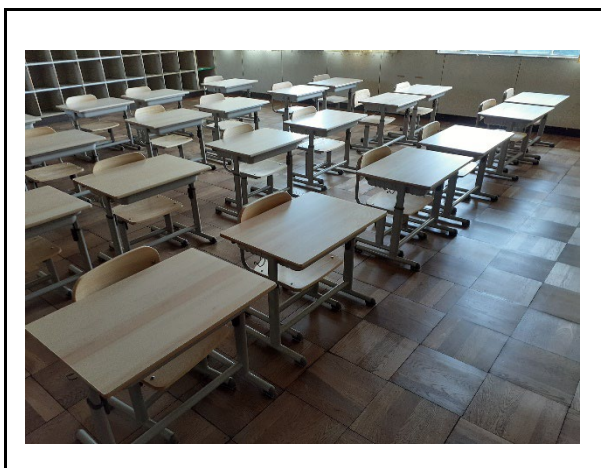


写真1
明星小学校

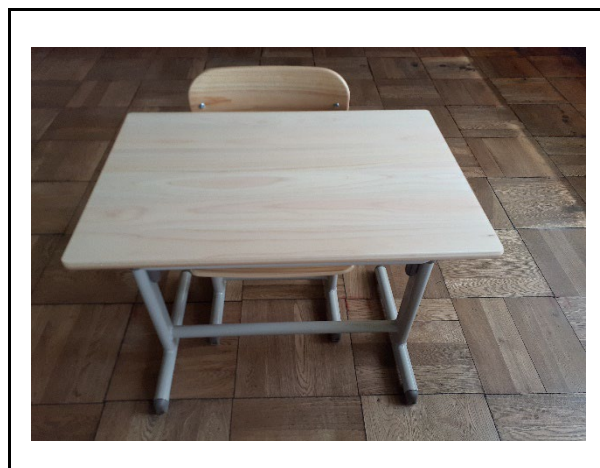


写真2
明星小学校



写真3
明星小学校



写真4
明星小学校



写真5



写真6

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	木造施設等設置事業				
事 業 費	368,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			300,000		68,500

1. 事業の目的

- ・町内公共施設に三重県産材を活用した木質構造物を整備することで、三重県産材の利用促進をはかるとともに、幅広い層の利用者が森林や緑と親しむ環境整備を行います。
- ・令和3年度に整備した東屋等も含めて活用していく中で、町民の森林や環境問題への意識向上と木育に繋げていく。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町南部の自然あふれる斎宮きららの森において、幅広い層の利用客増加が見込まれており、幼児を連れた利用者ニーズにも対応するため、三重県産材を活用した木製公園遊具を設置する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施箇所及び箇所数】

斎宮きららの森

【事業量】

公園遊具 1か所

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

施設整備による幅広い層の利用者の増加と継続利用が見込まれる。また、木材を用いることで森林づくりへの理解を深めてもらう。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

取組内容について町HPにて掲載。

【新たな対策・視点及び改善点】

施設利用者の要望を広く聞き取り、より多くの方に利用していただける施設としていく。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】 木製遊具については、特殊製品（デザイン、形状）でメーカーにより異なり、価格についても比較検討することが困難である。株式会社ウッドウォームズは、大淀小学校に納入した実績や、官公庁との契約実績もあり、カタログ単価でも安価である為。 【主な経費内訳】 （別紙のとおり）				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	公共施設利用者、周辺住民、周辺児童 等（2,000人見込み）			
期待する波及効果	施設整備による幅広い層の利用者の増加と継続利用が見込まれる。また、木材を用いることで森林づくりへの理解を深めてもらう。			
【公的関与の必要性】 町が管理する公共施設のため 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 町の管理地のため、転用の恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
標識・標柱等設置	実施後	完成施設に県民税活用の標識(看板)を設置する。		
施工看板に掲示	実施中	施工期間における周辺利用者への周知。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町
事業名	木造施設等設置事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
公共施設木質化構造物	木製公園遊具	式	1	368,500	368,500	
		合計			368,500	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木造施設等設置事業
-----	-----------

7の（1）. 写真



写真1
・ 完成写真



写真2
・ プレート設置写真

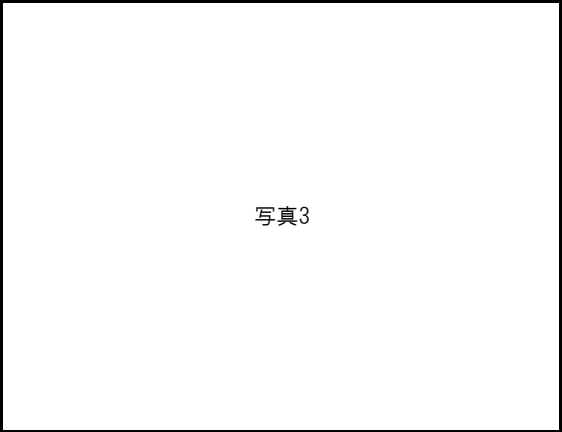


写真3

写真4

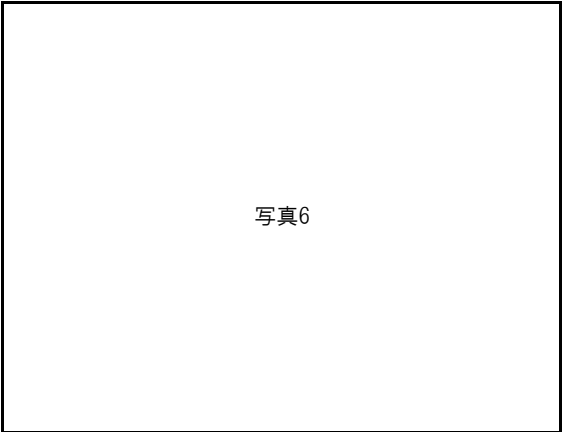
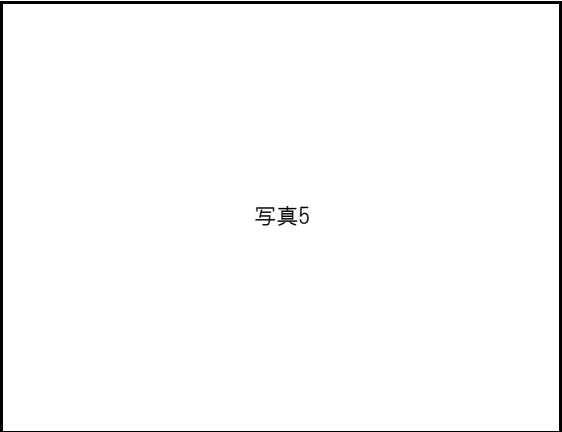


写真5

写真6

大 台 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

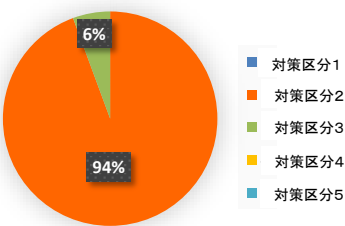
市町名	大台町	三重県
人口（人）	7,984	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	8.7%	11.4%
森林面積(ha)	33,739.64	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	27,920.82	348,212.01
森林率(%)	93%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	集落周辺等危険木伐採事業	12,763,300	12,080,000		12,080,000				
2	3	森林環境教育事業①	497,200	490,000			490,000			
3	3	森林環境教育事業②	234,300	230,000			230,000			
計			13,494,800	12,800,000	0	12,080,000	720,000	0	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	68.58ha	45,940,400	42,706,000	間伐（災害緩衝林及び環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.52ha	37,535,984	18,767,000	危険木伐採937本
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	・大台町は三重県最高峰の大台ヶ原山を有し、総面積の90％以上を森林が占める自然豊かな地域であり、豊かな生態系や生物多様性を守りながら持続可能な発展を目指している地域として、ユネスコエコパークに登録されています。日本有数の多雨地域で上流域は1,000m級の山々が囲む急峻な地形となっており、過去に集中豪雨で大規模な土砂災害が発生する苦い経験をしました。このような自然災害に備え「みえ森と緑の県民税」を活用した災害に強い森林づくりをし、地域住民の安全を確保し、自然と共生する地域社会を形成します。 ・森を育む人づくりとして、地元学生を対象に森林が持つ生物多様性と自然の循環について学習し自己啓発を促すことにより森林林業の担い手のきっかけづくりを推進し、地元児童に木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切にする心を育む人づくりを推進します。
事業実施により期待される効果	災害に強い森林づくりとして、集落周辺等危険木伐採事業を実施し、道路沿い等の危険木を伐採することで、通学路や生活道路といった地域住民の安全な生活環境を確保し、交通障害や停電被害の減少と孤立集落の発生を予防します。 森を育む人づくりとして森林環境教育を実施し、地域の特色であるユネスコエコパークの自然と共生する社会を、木と触れあい森林の大切さを学び循環する自然環境を大切にする心を育む人づくりをします。
情報発信への取組	全ての事業において、事業実施時にのぼり旗の設置、事業終了後は、広報誌、ホームページへ掲載し情報を発信しました。 森林環境教育においては、記者クラブへ情報発信を行い、MCV、夕刊三重、読売新聞で放送や記事が掲載されました。 森林環境教育に町長が参加し町長ブログに掲載を行いました。 どんとこい大台祭りの森林課ブースで県民税のパネル展示と緑の募金活動を実施しました。 レディオキューブによる、みえ森と緑の探検隊に出演し放送されました。

実施要領第10号様式（その1）（参考資料）
令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税(千円)
1	⑥ 林道・林専道の整備等	34,000	17,000
2	② 意向調査	682	682
3	③ 私有林整備	94,342	94,342
4	⑦ その他(森林整備)	4,236	4,236
5	⑦ その他(森林整備)	29,678	29,678
6	⑧ 担い手確保	300	300
7			
8			
9			
10			
	合計	163,238	146,238

【記載要領】
ア、事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
番 号	事 業 名				
1	集落周辺等危険木伐採事業				
事 業 費	12,763,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			12,080,000	0	683,300

1. 事業の目的

災害からライフラインを守る事前伐採事業では、対応が難しい集落周辺の危険木の事前伐採を行い、交通障害及び停電被害の減少及び孤立集落の発生を予防し、地域住民の安全を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

自治会と協議し、通学路や孤立集落が発生しやすいエリアを重点的にリスクの高いエリアを選定し危険木の事前伐採を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大台町

【実施箇所及び箇所数】

1号（大台町大井地内・栗谷地内①）

2号（大台栗谷地内②）

【事業量】

1号 調査・危険木伐採0.29ha、587本 2号 調査・危険伐採0.07ha、128本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

通学路といった集落周辺の危険木を事前に伐採することで、倒木による交通障害や停電被害の減少が見込まれ、また孤立集落の発生を予防することで、地域住民の安全と安心な生活を確保する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

通学路や孤立集落の発生が見込まれる箇所を、自治会と協議し危険箇所を選定し事業を実施しました。

【新たな対策・視点及び改善点】

災害からライフラインを守る事前伐採事業では優先度が低く、これまで伐採が進まなかった地域の危険箇所を自治会と共有することで事業効果の向上を狙いました。また、これまでは暗く不安な道路だったものが伐採を行った結果、日常の通行時の視認性が明るくなり安心感が持てるようになりました。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
------	-----------------	--	-----	-----	---------	--------

番 号	事 業 名				
1	集落周辺等危険木伐採事業				
事業費	12,763,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			12,080,000	0	683,300

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林整備・危険木伐採の技術を有する町内の認定事業体に指名競争入札で宮川森林組合を選定し委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	直下の集落（大井地区：45戸・栗谷地区：60戸）
期待する波及効果	風倒木による交通障害及び停電被害の減少。通学路の安全確保と孤立集落発生の予防。

【公的関与の必要性】

地域や個人では伐採が困難な道路や電線、住宅などが接近している危険木を伐採することで地域住民の安全と安心を確保するため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

所有者に事業の趣旨について十分説明を行い今後も適切な森林管理を行っていくように指導している。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中・後	施工箇所において、施行中・後にのぼり旗を設置
HP掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容と写真を掲載をHPに掲載
広報誌掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容と写真を広報誌に掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

台風で倒れてこないか心配していた木が伐採されスッキリした。台風時の危険性が減ったことと日常の通勤や通学で通る道路が明るくなり安心して通れるようになりました。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
事業名	集落周辺等危険木伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
1号箇所						
森林調査	境界確認	式	1	83,192	83,192	
	現地調査・計画作成	式	1	551,547	551,547	
	諸経費及び入札差金	式	1	216,261	216,261	
	消費税	式	1	85,100	85,100	936,100
1号箇所						
伐採業務	準備工	式	1	825,000	825,000	
	特殊伐採（587本）	式	1	3,497,550	3,497,550	
	枝状等処理4 t	車	16	15,000	240,000	
	交通誘導員	人	48	15,500	744,000	
	ケーブルカバー設置撤去	式	1	146,400	146,400	
	諸経費及び入札差金	式	1	1,793,450	1,842,050	
	消費税	式	1	729,500	729,500	8,024,500
2号箇所						
森林調査	境界確認	式	1	16,254	16,254	
	現地調査・計画作成	式	1	140,000	140,000	
	諸経費及び入札差金	式	1	50,746	50,746	
	消費税	式	1	20,700	20,700	227,700
2号箇所						
伐採業務	準備工	式	1	594,000	594,000	
	特殊伐採（128本）	式	1	1,286,500	1,286,500	
	枝状等処理10 t ア-ムロール	車	2	25,000	50,000	
	交通誘導員	人	24	15,500	372,000	
	ケーブルカバー設置撤去	式	1	100,000	100,000	
	諸経費及び入札差金	式	1	847,500	847,500	
	消費税	式	1	325,000	325,000	3,575,000
		合計			12,763,300	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
事業名	集落周辺等危険木伐採事業				

7の(1). 写真

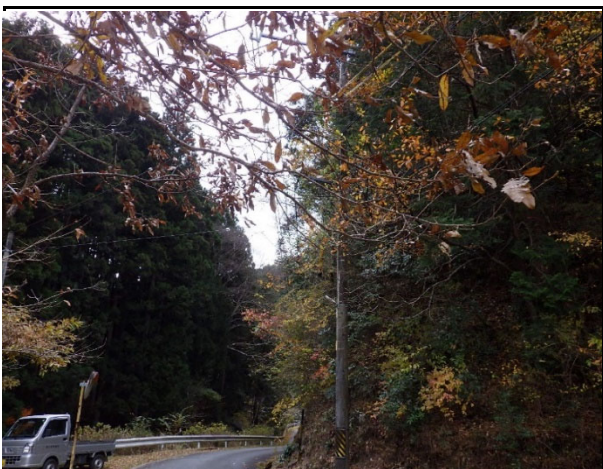


写真1

伐採前（栗谷地内1）



写真2

伐採後（栗谷地内1）



写真3

伐採前（大井地内）



写真4

伐採後（大井地内）



写真5

伐採前（栗谷地内2）



写真6

伐採後（栗谷地内2）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
事業名	集落周辺等危険木伐採事業				

7の(1). 写真



写真1

伐採作業の状況

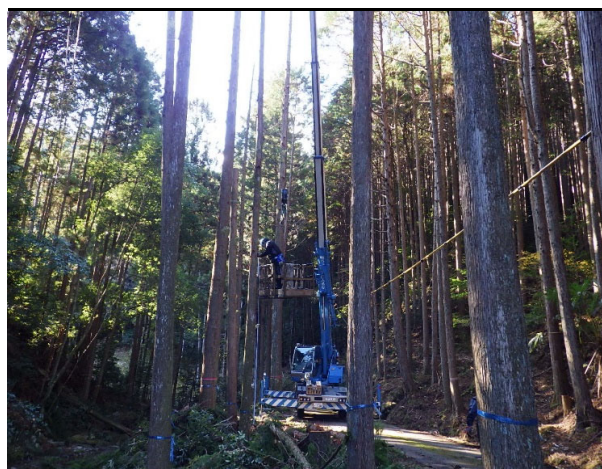


写真2

伐採作業の状況



写真3

伐採作業の状況



写真4

伐採作業の状況



写真5

伐採作業の状況



写真6

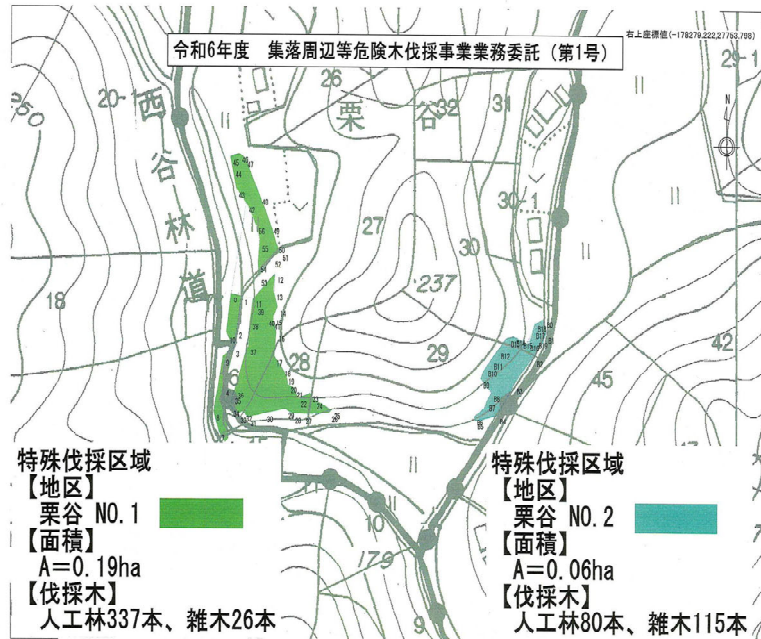
のぼり旗設置状況

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
------	-----------------	-----	-----	---------	--------

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

7の(2). その他資料

1号箇所（栗谷地内1）



1号箇所（大井地内）



2号箇所（栗谷地内2）



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育事業①				
事 業 費	497,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			490,000		7,200

1. 事業の目的

地元高校の学生を対象に、森林環境教育についてのワークショップを実施。森林について学びの機会を提供し林業事業者との交流を通じて、森林が持つ生物多様性と自然の循環について学習し自己啓発を促すことにより森林林業の担い手となるきっかけづくりを推進します。

2. 事業実績概要

【事業内容】

森林の利活用を学ぶ体験学習として、キノコ栽培授業を行い、原木となる樹種を新たに植樹し、森林の循環と利活用について学ぶワークショップを行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大台町

【実施個所及び箇所数】

昂学園 環境技術系列 2年生 12名

【事業量】

森林教育授業（オリエンテーション）、
キノコ栽培体験：（菌種）シイタケ、マイタケ、ナメコ、（原木）コナラ、ヤマザクラ、クリ等、
植樹体験：コナラ、ヤマザクラ、クリ等の地域性苗木

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

昂学園は町外県外から就学している学生が多いため、町の身近な森林で木材を利活用したワークショップを通じて森林が持つ生物多様性等や水源涵養機能・地球温暖化対策等を学び自己啓発を形成する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

植栽から樹木の林産物を栽培し森林利活用を学び、森の循環による水源涵養機能や地球温暖化対策に重要な役割を果たす森について学習する機会を創設した。

【新たな対策・視点及び改善点】

卒業生が林業の現場で働いていることを直接本人から聞くことでより親しみやすくした。
高校の職場体験でライフライン事業の現場の見学を実施した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育事業①				
事 業 費	497,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			490,000		7,200

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
森林林業に精通し森林環境学習の経験のある宮川森林組合を選定し委託した。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	昂学園 環境技術系列 2年生			
期待する波及効果				
【公的関与の必要性】				
町内の高校と連携し身近な森林から森の循環（公益機能）や林産物に対する理解を深め、森林と林業を学ぶため				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等でなく転用や目的外使用は想定されていない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
標識・標柱等設置	実施前・中・後	原木キノコ栽培箇所にも木製の看板を設置		
のぼり設置	実施中	施行中にのぼり旗を設置		
HP掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容をHPに掲載		
広報誌掲載	実施中・後	県民税の活用及び事業内容を広報誌に掲載		
TV（行政チャンネル等）	実施後	夕刊三重の記事掲載。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
教師：生徒の職場体験や就職相談と連携して林業の仕事を知る良い機会になりました。今後も継続していきたい。				
生徒：先輩（卒業生）の話を直接聞け林業を知ることができました。				

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育事業①
-----	-----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
キノコ・植樹体験	種菌、苗木	式	1	19,650	19,650	
	原木準備	式	1	79,200	79,200	
	現地作業・授業	式	1	249,700	249,700	
	諸経費及び入札差金	式	1	103,450	103,450	
	消費税	式	1	45,200	45,200	
		合計			497,200	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------	-----	-----	---------	--------

事業名	森林環境教育事業①
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1

オリエンテーション



写真2

ドリルによる穿孔作業



写真3

駒菌の接種作業



写真4

授業の様子



写真5

植樹作業



写真6

集合写真

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------	-----	-----	---------	--------

事業名	森林環境教育事業①
-----	-----------

7の(2). その他資料

新聞記事

大台町 学校・子育て

2025年02月07日（金） 15:55 7画

「来年の収穫、楽しみ」 昂学園高2年 三重・大台 シイタケ菌打ちと植栽体験



1個ずつ丁寧に種駒を打ち込む昂学園高校の2年生たち＝大台町菌の奥伊勢フォレストピア横の山林で

高校のインスタ（SNS）



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	森林環境教育事業②				
事 業 費	234,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			230,000		4,300

1. 事業の目的

地元小学校の体験学習プログラムに地元木材を活用した木工体験を組み込み実施する。ワークショップを通じて木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切にする心を育む人づくりを推進する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

箸づくり体験（地元木材樹種：スギ、ヒノキ、ヤマザクラ、トチ、カツラ、クリ等）

草木染体験（アロマ抽出時に発生する廃液を再利用し草木染のタペストリーを製作）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大台町

【実施個所及び箇所数】

宮川小学校・三瀬谷小学校

【事業量】

宮川小学校 箸づくり体験2回、三瀬谷小学校 染色体験（草木染）2回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

地元の身近かな森林から生まれる木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切にする心を形成する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

箸づくりは1回目に作りやすい杉・桧で実施し、2回目に硬度の高い広葉樹など多様な樹種から箸づくりを経験し木の違いや特徴を体験させた。児童が自分の名前などの漢字の生い立ちとなった象形文字を調べ、アロマオイルの廃液を再利用した染色（草木染）を体験しタペストリーを制作した。

【新たな対策・視点及び改善点】

体験学習プログラムを実施している学校が少ないため、校長会で事業説明を行った結果開催校が増加しました。

染める文字を象形文字にすることで漢字への理解を深めることができより包括的な体験にすることができた。草木染のタペストリーは卒業式に展示されました。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	森林環境教育事業②				
事 業 費	234,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			230,000		4,300

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林林業に精通し森林環境学習の経験のある宮川森林組合を選定し委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	宮川小学校（4・5・6年生）10名、三瀬谷小学校（5・6年生）42名
期待する波及効果	児童の森林や木材への親しみと愛着を深める。

【公的関与の必要性】

町内の小学校と連携し身近な森林と環境の保全を学ぶ必要があるため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等でなく転用や目的外使用は想定されていない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行中にのぼり旗を設置
HP掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容をHPに掲載
TV（行政チャンネル等）	実施後	MCTVによる放送。夕刊三重・読売新聞による記事掲載。
広報誌掲載	実施後	県民税の活用及び事業内容を広報誌に掲載
その他	実施後	町長・副町長が参加し町長ブログに掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

教師：森林教育に付随して漢字のルーツや成り立ちを同時に学ぶことができとても有意義な授業でした。

児童：町の森林が三重県で一番多いと知らなかった。熊に会った時どうしたらいいか勉強になった。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育事業②
-----	-----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
箸づくり体験	現地授業	回	2	18,160	36,320	
	準備工	回	2	6,810	13,620	
	材料費	式	1	9,000	9,000	
染色体験	現地授業	回	2	27,240	54,480	
	準備工	回	2	12,500	25,000	
	材料費	式	1	38,400	38,400	
	諸経費及び入札差金	式	1	153,820	36,180	
	消費税	式	1	21,300	21,300	
		合計			234,300	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業②
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1

カンナ作業



写真2

1次処理した布へ象形文字を転写



写真3

カンナ作業



写真4

媒染作業



写真5

集合写真



写真6

集合写真

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	新規
事業名	森林環境教育事業②				

7の(2). その他資料

新聞記事2社とケーブルテレビの放送

町長が参加し町長ブログに掲載しました。

宮川小学校の箸づくり学習に参加しました【森林環境教育事業】



12月2日に開催された宮川小学校の6年生の児童が参加する森林環境教育「宮っ子体験 箸づくり学習」に参加しました。

今回は2回目の開催となり、みえ森と緑の県民税を活用し「森を育む人づくり」として、今年度から小学校の児童を対象に森林環境教育事業を開始しております。

授業の内容は地元の木材からカンナなどの道具を使って「箸づくり」を行います。

箸はヤマザクラやタムシバ、栗といった10種類の広葉樹から児童が好きな木材を選んで作ります。

前回作った杉やヒノキといった針葉樹よりも広葉樹は硬い物が多く、カンナ作業が難しいので児童は一生懸命作業を行っていました。

私も作業を行いました1本の箸を削りだすのがとても大変で児童のパワフルさがとても頼もしく感じました。

この体験学習を通じて身近な木材とふれあい、森林や自然の大切さを学んでくれたかと思います。

自分で作った箸で食べるご飯は格別に美味しいと思いますので、今後もより多くの児童へ森林環境教育授業を体験できるように進めていきたいと考えております。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	新規
事業名	森林環境教育事業②				

7の(2). その他資料

新聞記事への掲載

大台町 学校・子育て

2024年12月14日（土） 15:52 2画

ヒノキ廃液生かし染色 三瀬谷小5、6年が体験 三重・大台 県の森林教育



自然の素材を使って染色体験をする子供たち＝大台町佐原の三瀬谷小で

三重県多気郡大台町佐原の町立三瀬谷小学校（池村一平校長、133人）の5、6年生約40人が13日午前8時45分から、文字を書き写した布を染色する「タペストリー染色体験学習」に臨み、木材など自然の素材を使った染色で、自然の大切さを学んだ。

この取り組みは、県が2014（平成26）年に導入した「みえ森と緑の県民税」事業を活用し、森林の役割や循環について学ぶ森林環境教育事業の一環で行われた。

この日は宮川森林組合と町役場森林課の職員5人が子供たちに授業を行い、学年ごとに2部に分かれて染色に取り掛かった。

このうち5年生では、同組合の森正裕さん（65）＝北牟婁郡紀北町＝の指揮の下、授業を開始した。

子供たちはまず、木綿製の布に、事前に用意してきた象形文字を豆乳に浸した筆で書いた。その後、同組合がヒノキのアロマオイルを抽出する際に出た廃液（煮汁）に布を浸し染色。こうすることで豆乳に含まれるタンパク質と染色液が反応し、文字の部分だけ色が濃くなるという。森さんは「全体がきれいに染まるように、菜箸でつつくなどして液にしっかり浸して。そうしないと色むらができてしまうよ」とアドバイス。

その後、色止めの媒染（ばいせん）作業へ。子供たちがアルミ媒染と鉄媒染に分かれてそれぞれ布を浸すと、アルミは染色液に近い淡い薄茶の色合い、鉄は濃い黒系の色合いに染まった。

その作業をもう1回繰り返して乾かし、作品が完成すると、子供たちはうれしそうに見せ合った。森さんは「木材からオイルを抽出して、その廃液もこうして染め物に使える。使いようによってはすごくいい物ができるし、捨てるところがありません」と自然の素材を使う魅力を語った。

名字の象形文字を書いたという中村玲音君は「『村』の文字がつながっちゃったけど、うまくできた。染料に木を使ったのが意外で、楽しかった」、名前の「陽」の象形文字を書いた宮川陽葵さんは「豆乳で文字を書くのと、色むらができないようにするのが難しかった。家に持って帰ったら玄関に飾りたいな」とそれぞれ話した。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	イベント等での普及啓発活動
-----	---------------

7の(2). その他資料

どんとこい大台祭りで森林課ブースを設置しみえ森と緑の県民税のパネル展示と緑の募金活動を実施



森林課ブースでの緑の募金活動に高校生のボランティアが参加



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	新規
事業名	イベント等での普及啓発活動				

7の(2). その他資料

地元の高校生が職場見学で県民税事業の現場を見学し事業の説明をしました



林業機械の説明を受ける学生



伊 勢 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

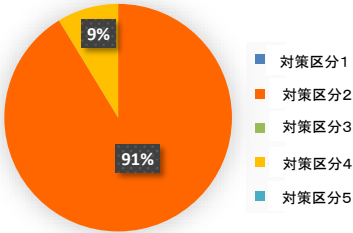
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	117,928	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.1％	11.4％
森林面積(ha)	10,959.16	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	10,959.16	348,212.01
森林率(%)	53％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	13,505,200	13,489,200		13,489,200				
2	4	絆の森整備事業	1,284,800	1,284,800				1,284,800		
計			14,790,000	14,774,000	0	13,489,200	0	1,284,800	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	①森林整備事業 伊勢市の沿岸部には防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。 ②絆の森整備事業 朝熊町にある絆の森において、木育体験や森林とのふれあいを目的に様々なイベントを行っているが、当施設内に設置されているウッドデッキは腐食が著しく、一部破損している箇所もあり、施設利用者に危険を及ぼしている。このことを踏まえ早期に「森と人をつなぐ学びの場」として再整備し、森林教育等のフィールドとしてさらなる活用を図る。
事業実施により期待される効果	①病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。 ②絆の森内にあるウッドデッキを再整備することにより施設利用者、地域住民が安全・快適に利用することができるとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進することが出来た。
情報発信への取組	①施工期間中は現地へののぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。 ②訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	② 意向調査	30,032	30,032
2	① 意向調査の準備作業	2,285	2,285
3	⑬ 木造公共建築物の整備等	1,733	1,733
4	⑬ 木造公共建築物の整備等	1,265	1,265
5	⑬ 木造公共建築物の整備等	16,212	16,212
	合計	51,527	51,527

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	森林整備事業				
事業費	13,505,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			13,489,200		16,000

1. 事業の目的
伊勢市の沿岸部にある防風林は、近年の病虫害被害により枯松が激増し、保安林としての機能が低下している。また、一部保安林は剪定等施されていないことからそのまま放置すると倒木被害等の心配もあることから、当該交付金を活用して病虫害被害を未然に防止するとともに地域住民や観光客の安全を図る。 また、以前新たに植樹した松の苗木が育ち、密集状態となっている二見町今一色の防風林の間伐、及び下刈を行うことで、森林機能の公益的な向上を図る。
2. 事業実績概要
【事業内容】 沿岸部に植生した松の病虫害被害を防止するため、地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を行うとともに、剪定等の整備が施されていない松の整備を行う。 また、密集している防風林の間伐、及び下刈を行う。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 伊勢市 【実施個所及び箇所数】 6箇所（二見町茶屋、二見町荘、二見町西、二見町今一色、村松町、東大淀町）市有林 ※一部自治会管理の私有林あり 【事業量】 地上散布 6.40ha、 樹幹注入 251本、 伐倒破碎 46m³、 間伐 185本、下刈 3.96ha、高中木剪定 13本
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
【事業実施により期待される効果】 病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を一連で施工することにより、病虫害被害を最小限に留めるよう工夫した。 【新たな対策・視点及び改善点】 密集状態となっている部分の間伐、及び松の下刈を実施し、防風林の積極的な機能維持を図った。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	森林整備事業				
事 業 費	13,505,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			13,489,200		16,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識と資格が必要なため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	付近住民：3,444世帯 7,402人 (R7.3) 観光客：2,604,490人(R6年度)
期待する波及効果	観光客数の低下防止、倒木被害の防止

【公的関与の必要性】

地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

無断伐採や不法投棄がないよう、地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。

なお、転用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	施工前、施工中は県民税のPR看板を設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施工前、施工中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

伐倒破碎、地上散布等を行うことで、倒木被害の防止、害虫の駆除を行うことができ、観光客等の安全を守ることが出来た。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市
------	-----------------	-----	-----

事業名	森林整備事業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
地上散布	薬剤散布（2回）	ha	6.40	116,875	748,000	
樹幹注入	アンプル数 660本	本	660	3,258	2,150,500	対象木251本
伐倒破碎	伐倒、搬出、運搬含む	m ³	46	42,302	1,945,900	
間伐	185本	本	185	9,769	1,807,300	
下刈り	(1回刈、2回刈合算)	ha	3.96	884,015	3,500,700	
高中木剪定		本	13	257,907	3,352,800	
		合計			13,505,200	

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(地上散布)
-----	--------------

7の(1).写真



写真1

材料確認



写真2

薬剤調合



写真3

散布状況(東大淀)



写真4

散布状況(村松)



写真5

散布状況(二見町西)



写真6

散布状況(二見町今一色)



写真7

PR状況



写真8

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(下刈)
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

施工前



写真2

施工前



写真3

施工中



写真4

施工後



写真5

施工後



写真6

PR状況

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(伐倒破碎)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

施工前



写真2

施工中



写真3

施工後



写真4

施工前



写真5

施工中



写真6

施工後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(樹幹注入)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

材料検収



写真2

材料検収



写真3

施工前



写真4

施工中



写真5

施工中



写真6

施工後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(間伐)
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

施工前



写真2

施工中



写真3

施工後



写真4

PR状況

写真5

写真6

写真5

写真6

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(高中木剪定)
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1

施工前



写真2

施工中



写真3

施工後



写真4

施工中



写真5

施工中



写真6

施工後

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	絆の森整備事業				
事業費	1,284,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,284,800		

1. 事業の目的
朝熊町にある絆の森において、木育体験や森林とのふれあいを目的に様々なイベントを行っている。また、ウォーキングや散策に訪れる方も多くいるが、当施設内に設置されているウッドデッキは腐食が著しく、一部破損している箇所もあり、施設利用者に危険を及ぼしている。このことを踏まえ早期に「森と人をつなぐ学びの場」として再整備し、森林教育等のフィールドとしてさらなる活用を図る。
2. 事業実績概要
【事業内容】 腐食、破損しているウッドデッキの再整備を行い、地域住民に安全・安心な環境の提供を図る。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 伊勢市 【実施個所及び箇所数】 絆の森（伊勢市朝熊町） 【事業量】 ウッドデッキ再整備一式 ※令和5年度からの継続事業
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
【事業実施により期待される効果】 絆の森内にあるウッドデッキを再整備することにより、施設利用者、地域住民が安全・快適に利用することができたとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進させることが出来た。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 毎年3月頃、地元の小学生及びその保護者を絆の森に招き、木育体験や森林とのふれあいを目的にさまざまなイベントを行っている。（スタンプラリー、木でペンダントづくりなど）そのため、イベントで活用していただけるよう開催までに整備を行った。 今後も、絆の森を木育体験や森林とのふれあいを目的とした場として活用していくとともに、地元の方のみならずたくさんの方に施設を利用していただけるよう情報発信を行っていく予定。 【新たな対策・視点及び改善点】 ウッドデッキを再整備し安全・快適な利用環境を整えることで、施設利用者の増加を図るとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進することにより、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	絆の森整備事業				
事 業 費	1,284,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,284,800		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識が必要なため伊勢市契約規則に基づき建設業者2社を選定のうえ2社見積による随意契約

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	絆の森利用者
期待する波及効果	絆の森の安全な利用、森林教育としてのフィールドの活用

【公的関与の必要性】

施設利用者、地域住民が安全・快適に利用するために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

不法投棄等がないよう地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。
なお、転用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	施工前、施工中は県民税のPR看板を設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施工前、施工中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

ウッドデッキの再整備を行ったことで施設利用者、地域住民から御礼の言葉をいただいている。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市
------	-------------------	-----	-----

事業名	絆の森整備事業
-----	---------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
材料費①（県産材）	防腐剤塗布	本	30	15,040	451,200	
材料費②（県産材）	防腐剤塗布	本	5	2,480	12,400	
材料費③（県産材）	防腐剤塗布	本	10	8,080	80,800	
諸材料費		式	1	1,600	1,600	
施工費		式	1	45,300	45,300	
諸経費					576,700	
消費税相当額					116,800	
				合計	1,284,800	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	絆の森整備事業
-----	---------

7の（1）. 写真



写真1
施工前



写真2
施工後

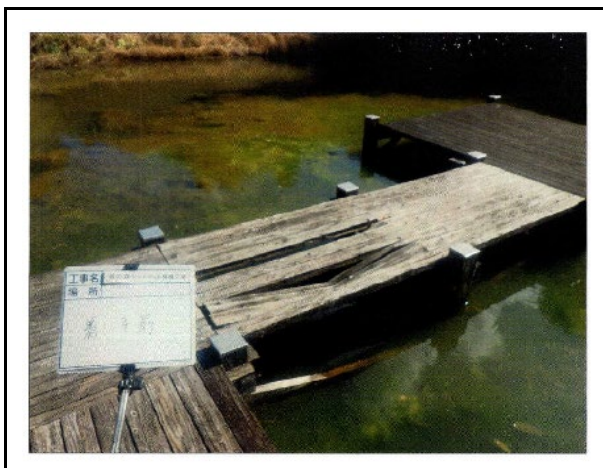


写真3
施工前



写真4
施工後



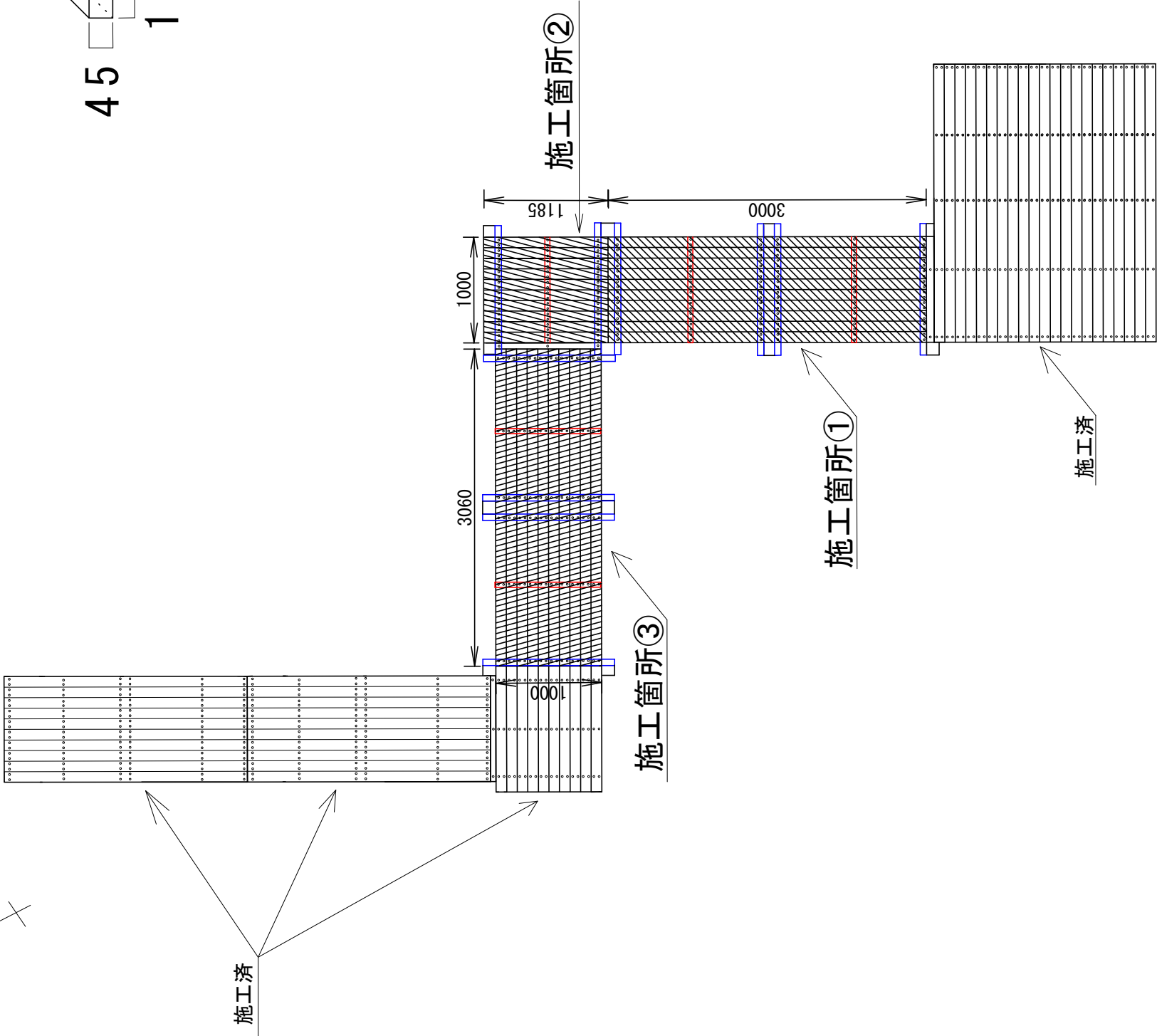
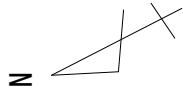
写真5
PR看板設置



写真6

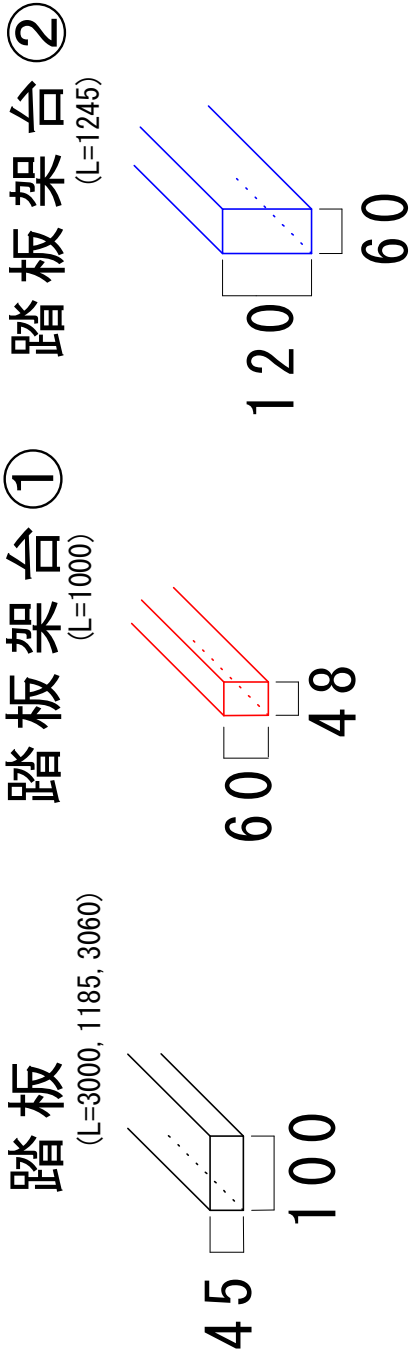
平面図

S=1:50



(材料) 寸法図

S=1:10



使用材料表

①	踏板 (L=3000) 踏板架台① 踏板架台②	N=10枚 N=2本 N=4本
②	踏板 (L=1185) 踏板架台① 踏板架台②	N=10枚 N=1本 N=2本
③	踏板 (L=3060) 踏板架台① 踏板架台②	N=10枚 N=2本 N=4本

材料には防腐処理を施すこと。
踏板架台①、②の撤去及び設置については既設位置を参考に行うこと。

工事名	緑の森ウッドデッキ修繕工事		
施行箇所	伊勢市 朝熊町 地内		
図面の種類	平面図・寸法図		
縮尺	図示	図面番号	1
発注機関名	伊勢市	産業観光部	農林水産課

鳥 羽 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

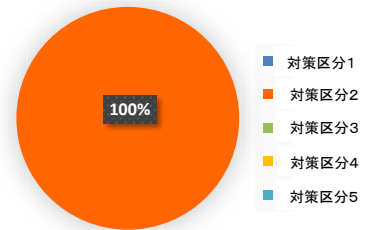
市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	16,145	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	8.2%	11.4%
森林面積(ha)	7,452.55	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	7,452.55	348,212.01
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.4	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採業務	1,585,000	1,585,000		1,585,000			
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	5,994,000	5,994,000		5,994,000			
		基金積立	750,000	750,000					750,000
計			8,329,000	8,329,000	0	7,579,000	0	0	750,000

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	25本	3,234,000	1,617,000	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市では、人工林率が25％となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼け防止や藻場再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。 しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。
事業実施により期待される効果	危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採（補助金）では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。 また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木が持つ温もりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組	危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。 また、広報誌（R7.5月号予定）および市ホームページにて、県民税に関するページを作成し、紙ベースだけでなくインターネットでも実績の周知を図った。

令和6年度年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	① 意向調査の準備作業	770	770
2	③ 私有林整備	4,945	4,945
3	⑦ その他（森林整備）	134	134
4	⑩ 専門員の雇用	3,383	3,383
	合計	9,232	9,232

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	危険木伐採業務				
事 業 費	1,585,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,585,000		

1. 事業の目的

町内会から提出された危険木伐採要望箇所の現地確認を行い、危険性が高く、市民の生活に支障をきたす恐れのある樹木から伐採を行い、生活環境の保全や暮らしの安全性の向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

千賀町、安久志地区、国崎町の3箇所での業務委託を行い、伐採を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

市内造園業者

【実施箇所及び箇所数】

千賀町、安久志地区、国崎町 3箇所

【事業量】

6本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から出される要望の中で規模の大きな案件については、市の事業として実施することで地元の負担軽減につながっている。また、町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できることから、各地区においての危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

町内会長・自治会長から申請があり、優先度の高い箇所から選定した。

【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による表層崩壊防止機能を維持できるように配慮した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	危険木伐採業務				
事 業 費	1,585,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,585,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	鳥羽市	補助事業ではない	補助額無	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

随意契約・指名競争入札では、鳥羽市内において、危険木等樹木を伐採した実績がある業者を、入札参加資格名簿の中で屋外清掃（剪定・伐採）に登録されている事業者を選定した。

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	千賀町、安久志地区、国崎町に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

【公的関与の必要性】

危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに事業量を掲載。
回覧板・掲示板	実施前	町内掲示板や回覧文書で、県民税活用事業であることの周知を図る。
広報誌掲載	実施後	広報誌にて県民税の使途について記事を掲載（R7.5月号）。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

大雨や台風時の停電や、土砂崩れの恐れが軽減された。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

事業名	危険木伐採業務
-----	---------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
千賀町						
危険木伐採	1号箇所	本	2	54,000	108,000	道路沿い 斜面 高所作業車含む
危険木伐採	2号箇所	本	1	183,000	183,000	道路沿い 斜面 高所作業車含む
	誘導員	日・人	2	15,500	31,000	
	諸経費	式	1	278,000	278,000	
		小計			600,000	
		消費税及び地方税相当額			60,000	10%
		合計			660,000	

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
安久志地区						
危険木伐採	伐採作業員	人	2	25,000	50,000	道路沿い 斜面
危険木伐採	普通作業員	人	6	20,000	120,000	
危険木伐採	高所作業車使用	台	2	58,000	116,000	
危険木伐採	交通誘導員	人	2	40,000	80,000	
	諸経費	式	1	73,000	73,000	
		小計			439,000	
		消費税及び地方税相当額			43,900	10%
		合計			482,900	

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
国崎町						
危険木伐採	伐採および小切り整理	本	1.00	150,000	150,000	斜面
危険木伐採	高所作業車使用	日	1.00	50,000	50,000	
	諸経費	式	1.00	45,000	45,000	
		小計			245,000	
		消費税及び地方税相当額			24,500	10%
		合計			269,500	
事務費					172,600	
		合計			1,585,000	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採業務
-----	---------

7の(1). 写真



写真1

千賀町 施工前

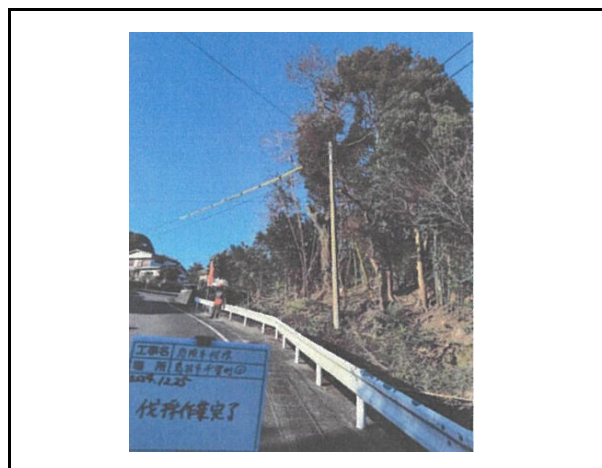


写真2

千賀町 施工後



写真3

安久志 施工前



写真4

安久志 施工後



写真5

国崎町 施工前



写真6

国崎町 施工後

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業費補助金事業				
事 業 費	5,994,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,994,000		

1. 事業の目的

地域において安全な生活環境を保全するため、町内会・自治会が実施する危険木等の伐採作業に対して、事業費の一部を支援する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

赤崎・安楽島・石鏡・答志・畔蛸・若竹・錦町・堅子・小浜・坂手・河内・答志和具・相差の13町内会・自治会が実施する危険木等の伐採作業に対して、事業費の一部を支援。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

町内会・自治会

【実施個所及び箇所数】

赤崎・安楽島・石鏡・答志・畔蛸・若竹・錦町・堅子・小浜・坂手・河内・答志和具・相差 13地区

【事業量】

369本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できるため、各地区における危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

補助金においては、各町内会で優先順位をそれぞれ精査してもらい、各地区で伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による多面的機能を維持できるように配慮した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業費補助金事業				
事 業 費	5,994,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,994,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	10/10以内	50万円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	赤崎・安楽島・石鏡・答志・畔蛸・若竹・錦町・堅子・小浜・坂手・河内・答志和具・相差に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

【公的関与の必要性】

危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに事業量を掲載。
チラシ等配布	実施前	補助事業の周知を図るために、チラシを各町内会・自治会に配布
広報誌掲載	実施後	広報誌にて県民税の用途について記事を掲載（R7.5月号予定）。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

停電や崩落の恐れが軽減された。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
事業名	危険木伐採事業費補助金事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採補助	赤崎町内会	本	3	165,000	495,000	
危険木伐採補助	安楽島町内会	本	7	71,000	500,000	
危険木伐採補助	石鏡町内会	本	10	49,000	499,000	
危険木伐採補助	答志町内会	本	100	4,900	498,000	
危険木伐採補助	畔蛸自治会	本	1	495,000	495,000	
危険木伐採補助	若竹自治会	本	13	38,000	497,000	
危険木伐採補助	錦町町内会	本	1	264,000	264,000	
危険木伐採補助	堅子町内会	本	10	49,500	495,000	
危険木伐採補助	小浜町内会	本	95	5,200	495,000	
危険木伐採補助	坂手町内会	本	2	185,000	371,000	
危険木伐採補助	河内町内会	本	17	29,000	495,000	
危険木伐採補助	答志和具町内会	本	10	45,000	450,000	
危険木伐採補助	相差町内会	本	100	4,000	440,000	
		合計			5,994,000	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1

河内町 施工前



写真2

河内町 施工後



写真3

坂手町 施工前



写真4

坂手町 施工後



写真5

相差町 施工前



写真6

相差町 施工後

志 摩 市

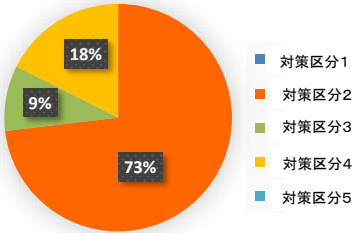
令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	志摩市	三重県
人口（人）	42,242	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	7.9%	11.4%
森林面積(ha)	9,090.91	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	9,088.66	348,212.01
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	樹木伐採事業	4,045,609	4,000,000		4,000,000				
2	2	松くい虫防除事業	3,581,600	3,482,702		3,482,702				
3	3	森と緑ふれあい事業	949,298	949,298			949,298			
4	4	磯部ふれあい公園東屋設置工事	2,893,000	1,800,000				1,800,000		
計			11,469,507	10,232,000	0	7,482,702	949,298	1,800,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.12ha	4,261,600	4,000,000	環境林・特定水源地域
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業	1回	500,000	500,000	10/5(土) 志摩市国府地内

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病虫害の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。 この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。 併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。
事業実施により期待される効果	・体験型の講習会等を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ・古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。
情報発信への取組	事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。 また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	④ 公有林整備（財産区有林含む）	3,795	3,795
2	⑧ 担い手確保	757	757
3	⑦ その他（森林整備）	1,646	395
4	④ 公有林整備（財産区有林含む）	5,141	5,139
5	⑩ その他（木材・普及啓発関係）	1,958	1,958
	合計	13,297	12,044

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
1	樹木伐採事業				
事 業 費	4,045,609 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		45,609

1. 事業の目的

道路沿いの民有林の危険木を除去することで、安全・安心な暮らしの確保につなげることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

支障木の除去が必要と考えられる箇所を選定し、計画に基づき伐採を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施箇所及び箇所数】

志摩市大王町地内 1 箇所

【事業量】

志摩市大王町地内 L=1,470m

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

道路へ侵入する民有地の危険木の除去を実施することで安全・安心な市民生活を保つことができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

道路へ侵入する民有地の危険木については、市内でも数多くあり、その中においても交通量が多く、多数のカーブにより、見通しが悪い箇所を伐採することにより、交通事故の発生の抑止ができる。

【新たな対策・視点及び改善点】

支障木の伐採事業を進めることと並行して、民地から伸びている支障木の適切な管理等について、市広報誌に喚起文の掲載を行った。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	樹木伐採事業				
事 業 費	4,045,609 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		45,609

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

市道沿線上であるため、入札を行い業者を決定し、委託業務とし実施した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地区住民及び道路利用者
期待する波及効果	危険木を避ける車両が減る事により、事故の発生を防ぐことができる。

【公的関与の必要性】

個人地からの立木の場合は本来であれば個人の管理ではあるが、交通量が多く個人での作業中の危険性が高いため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

土地所有者で管理を行う。また、転用の予定はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	「みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業」と記載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	志摩市
------	-------------------------	-----	-----

事業名	樹木伐採事業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹木伐採	伐採工	m	1470	540	793,800	L=1470m、H=6m
	処分工（運搬）	空m3	154	909	139,986	
	処分工（処分費）	空m3	154	8,000	1,232,000	
	安全費	式	1	212,040	212,040	交通誘導警備員
	諸経費	式			1,300,000	
	消費税				367,783	
		合計			4,045,609	

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	樹木伐採事業
-----	--------

7の(1). 写真



写真1
伐採箇所始点付近（作業前）



写真2
伐採箇所始点付近（作業後）



写真3
伐採箇所中間付近（作業前）



写真4
伐採箇所終点付近（作業後）



写真5
伐採箇所終点付近（作業前）



写真6
伐採箇所終点付近（作業後）

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	松くい虫防除事業				
事 業 費	3,581,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,482,702	0	98,898

1. 事業の目的

志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園等の景勝地があり、多くの人を訪れるとともに、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守る役割も担っている。市内の松林の公園内の松に対し森林病虫害の被害拡大を防ぐ対策を実施し、景観形成の保全を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

- ・阿児町安乗地区（安乗岬園地） 松くい虫防除薬剤樹幹注入
- ・阿児町国府地区（エレコムフォレスト志摩） 防除薬剤地上散布
- ・阿児町甲賀地区（阿児の松原） 防除薬剤地上散布、枯松伐採
- ・阿児町鵜方地区（横山園地） 枯松伐採

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施箇所及び箇所数】

- 4箇所
- ・阿児町甲賀地区（阿児の松原）
 - ・阿児町国府地区（エレコムフォレスト志摩）
 - ・阿児町安乗地区（安乗岬園地）
 - ・阿児町鵜方地区（横山園地）

【事業量】

防除薬剤地上散布 2.68ha、薬剤樹幹注入松 121本、枯松処理 35本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

松くい虫の被害が食い止められたことにより、住民が広く活用する公園内の安全性が保たれた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

松くい虫被害のまん延防止のため、薬剤の地上散布や樹幹注入、伐倒処理等の防除方法を組み合わせて実施。

【新たな対策・視点及び改善点】

松くい虫被害のまん延防止のため継続的に実施していく。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	松くい虫防除事業				
事 業 費	3,581,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,482,702	0	98,898

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

阿児町国府地区（エレコムフォレスト志摩）については、管理業務を委託している業者を選定。
他の地区については、松くい虫防除業務登録業者の中から選定。

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	公園利用者
期待する波及効果	市内の観光地において、松くい虫等の病害虫のまん延防止に寄与

【公的関与の必要性】

松くい虫等の病害虫のまん延防止のため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市等で適切に管理をしていく。また、転用の予定もない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	志摩市ホームページ内にみえ森と緑の県民税を活用した取組内容を掲載。
広報誌掲載	実施後	志摩市広報にて事業概要及び県民税活用事業である旨を周知
施工看板に掲示	実施中	施工中の工事看板に「みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業」の文言を表記

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

松くい虫被害の枯松を伐倒した事で、景観の向上や倒木等の危険性が減少したとの意見をいただいた。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

薬剤樹幹注入（施工状況）



写真2

薬剤樹幹注入（施工中看板）



写真3

枯れ松伐倒処理



写真4

粉碎処理



写真5

燻蒸処理



写真6

地上散布

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	森と緑ふれあい事業				
事 業 費	949,298 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			949,298	0	0

1. 事業の目的

市民を対象とした木工教室の開催や、市内の環境林や公園をフィールドとして、一般の方を対象にしたシイタケの菌打ち体験を開催し、各種の体験を通して森林を大切に作る人づくりの創出を目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

- ・三重県主催のみえ森林フェスタ内にてブースを出展し、志摩市の林業に関するパネル展示及び木工教室（スプーン、箸、皿づくり体験）を開催。
- ・志摩市観光農園において、シイタケの菌打ち体験を開催。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施個所及び箇所数】

2箇所【志摩市観光農園内（志摩市磯部町穴川地内）】【阿児アリーナ内 志摩市阿児町神明地内】

【事業量】

- ・みえ森林フェスタ内 パネル展示 1回実施、講習会 2回実施、木工教室 参加者 159名
- ・シイタケ菌打ち体験 参加者 60名

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

各種イベントへの参加を通し、里山(森林)について学び体験することにより、森林を守り・育てることの大切さを理解することになる。また、今後、市民による自主的な里山活動が期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

イベント内で木製品に触れる機会を設け、森林の多面的機能や森林保全の必要性について関心を持ってもらうよう努めた。

【新たな対策・視点及び改善点】

三重県の主催の森林フェスタで志摩市のコーナー（ブース）も設け、志摩市の取組を紹介した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森と緑ふれあい事業				
事 業 費	949,298 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			949,298	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

事業実施に際し、専門的知識を有する森林組合に委託

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	イベント参加者
期待する波及効果	森林保全意識の醸成

【公的関与の必要性】

森林の持つ公益的な機能を広く市民に伝える必要があるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備ではないため該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	会場
ポスター掲示	実施中	会場
パネル展示	実施中	会場（森林フェスタ志摩2024）
広報誌掲載	実施後	市広報紙

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
事業名	森と緑ふれあい事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
啓発グッズ	スマホスタンド	個	40	1,870	74,800	税込
	木製表彰状	架	2	19,250	38,500	税込
	式典用ヒノキリボン	個	3	1,200	3,600	税込
展示用	ポスターパネル	枚	7	1,999.8	13,998	税込
	ポスター制作	式	1	53,900	53,900	税込
木工教室						
作業補助		人工	2	24,200	48,400	
材料費		式	1	199,000	199,000	
諸雑費		式	1	7,000	7,000	
小計					254,400	
諸経費		式	1	45,600	45,600	
計					300,000	
消費税		%	10		30,000	
合計					330,000	
しいたけ菌打ち体験						
講習会準備工		人工	6	24,000	144,000	
講習費（補助員）		人工	4	24,000	96,000	
材料費		式	1	36,700	36,700	
諸雑費		式	1		27,420	
小計					304,120	
諸経費		式	1		91,236	
計					395,000	
消費税		%	10		39,500	
合計					434,500	
		合計			949,298	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1
市内の森林管理、みえ森と緑の県民税の取組についてのパネル展示



写真2
市内の森林管理、みえ森と緑の県民税の取組についてのパネル展示

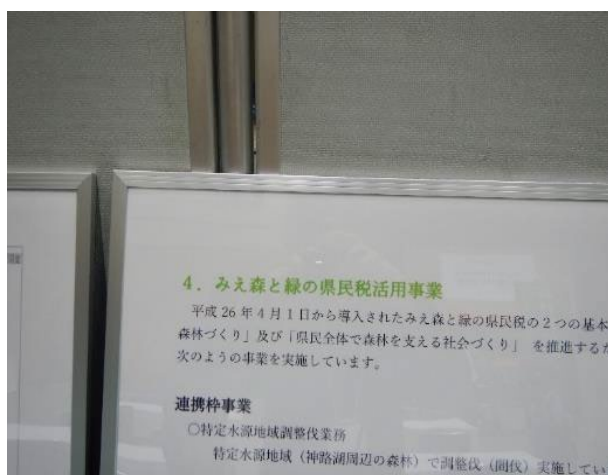


写真3
過去のみえ森と緑の県民税を活用して事業の紹介



写真4
過去のみえ森と緑の県民税を活用して事業の紹介



写真5
木育パネル展示



写真6
木育パネル展示

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1

木工教室の様子



写真2

木工教室の様子



写真3

ロゴマーク、県民税を活用している旨を記載した看板

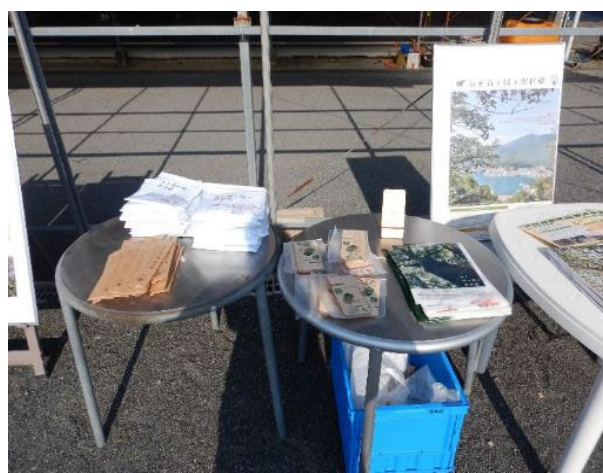


写真4

啓発グッズ みえ森と緑の県民税ポスター掲示



写真5



写真6



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	磯部ふれあい公園東屋設置工事				
事 業 費	2,893,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,800,000		1,093,000

1. 事業の目的

日頃から世代間問わず利用者の交流の場である磯部ふれあい公園内に、県産木材を利用した東屋を設置し、森林教育を通じて、森林整備や森林を守る大切さの意識向上に繋げる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

県産の木材を活用し、公園内に東屋を設置して、幅広い年齢層に森と人をつなぐ学ぶ場を提供する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施個所及び箇所数】

志摩市磯部町地内 磯部ふれあい公園 1箇所

【事業量】

木製東屋 1 基

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

公園の利便性の向上を図ることで、森林や木材について学ぶ機会が増加する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

今後、三重県産木材を利用し建築した東屋で休憩や昼食をとってもらうことで、木材に触れてもらう機会を増やす。

【新たな対策・視点及び改善点】

利用者の多い公園であることから、より多くの人に対し、森林の大切さ、県産木材の良さ、利活用、産業の必要性の意識向上に繋がられる。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	磯部ふれあい公園東屋設置工事				
事 業 費	2,893,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,800,000		1,093,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	既存利用者及び高齢者から子育て世代まで広い層の新規公園利用者
期待する波及効果	木製東屋で休憩や昼食をとることで、木材に触れてもらう機会を提供する。

【公的関与の必要性】

志摩市が協定を結び指定管理させているNPO法人が管理する公園内にある施設（東屋）であるため、志摩市においても間接的に管理が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

交付金を利用して新築した東屋をはじめ、周辺は草木が多いため、公園内では火気使用を禁止している。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	志摩市HPに文字及び写真により概要を紹介し、県民税を活用している旨を記載。
広報誌掲載	実施後	広報誌（広報しま）へ「みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業」の文言を表記。
パネル展示	実施後	磯部ふれあい公園内にある体育館ロビーにパネルを展示する。（常設）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	工事看板にみえ森と緑の県民税のPRロゴを添付して周知。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

志摩市都市計画マスタープラン（第6章：磯部地域の地域構想）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市
------	-------------------	-----	-----

事業名	磯部ふれあい公園東屋設置工事
-----	----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
東屋設置	直接工事費	式	1	1,650,000	1,650,000	三重県材、防腐防蟻
	共通仮設費	式	1	300,000	300,000	
	現場管理費	式	1	300,000	300,000	
	一般管理費等	式	1	380,000	380,000	
		小計			2,630,000	
		消費税及び地方税相当額			263,000	10%
		合計			2,893,000	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	磯部ふれあい公園東屋設置工事
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1

東屋遠景



写真2

東屋近景①



写真3

東屋近景②



写真4

交付金事業プレート近景



写真5

ロビーパネル展示遠景



写真6

ロビーパネル展示近景

玉 城 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

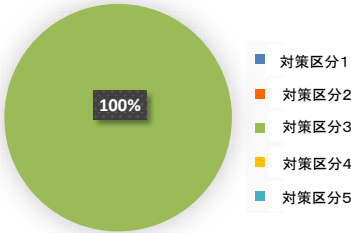
市町名	玉城町	三重県
人口（人）	14,717	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	13.4%	11.4%
森林面積(ha)	1,255.54	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	1,255.29	348,212.01
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	26.4	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育・木育事業	528,179	528,179			528,179			
2	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	2,970,000	2,970,000			2,970,000			
計			3,498,179	3,498,179	0	0	3,498,179	0	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km ² でそのうち、森林面積は1,259.02haで森林率は31%と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90%を占めている。森林率が低いゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。 このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施した森をはぐくむ人づくりを行ったり、森林をテーマにしたイベントを開催することで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。
事業実施により期待される効果	森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。 また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。
情報発信への取組	町の広報誌（広報たまき）へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供（PR）した。 対象者はもとより、町民の方からも事業に対する理解の声をいただいた。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	⑦ その他（森林整備）	2,626	2,626
2	⑪ 基金積立（森林整備等）	4,069	4,069
3			
4			
5			
	合計	6,695	6,695

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	森林環境教育・木育事業				
事 業 費	528,179 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			528,179		

1. 事業の目的

教育現場において森林環境教育・木育を実施して、森林に対する深い理解のある人づくりを進めていく。

2. 事業実績概要

【事業内容】

玉城町内の保育所及び小学校において森林環境教育・木育を実施した。
 小学校では、森に関する授業、木のキーホルダー作りやマイ箸作りを行った。
 保育所では、木のお話、丸太切体験、ヒノキのポンポン作りを行った。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

玉城町

【実施個所及び箇所数】

町内の小学校及び保育所

【事業量】

・田丸保育所 58人、外城田保育所 21名、有田保育所 22人、下外城田保育所 12人
 ・田丸小学校 66人、外城田小学校 36名、有田小学校 34人、下外城田小学校 15人 合計 264人

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林環境教育・木育事業を通じて森林の大切さを学ぶことにより、その理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

活用事例集を参考に各保育所、各小学校の先生と打合せを行い事業に取り組んだ。

【新たな対策・視点及び改善点】

これまで小学校で森林環境教育・木育事業を実施した結果、好評であったため、継続的に令和6年度も実施した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	森林環境教育・木育事業				
事 業 費	528,179 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			528,179		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		小学校
その他	個人	補助事業ではない		保育所

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

- ・ いせしま森林組合（小学校）…伊勢地域の認定林業事業体で玉城町内の森林の特性に精通しているため。
- ・ 藤川和彦氏、岡田みつよ氏（保育所）…みえ森づくりサポートセンターの森のせんせいに登録されており、森林教育に精通しているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	児童264人（小学校151人、保育所113人）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

教育現場と連携して実施する内容であるため、公的に取り組む必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	木育活動中、教室に設置。
啓発物品配布	実施中	児童に対し、啓発を目的に物品を提供した。
広報誌掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。
アンケート実施	実施後	児童に対してアンケートを実施した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

アンケート結果参照

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町
事業名	森林環境教育・木育事業		

4. 効率性：主な経費内訳

木育事業（保育所4か所）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	保育所講師	人	2	55,500	111,000	
費用弁償	旅費	式	1	4,019	4,019	2名分（3,017円、1,002円）
原材料費	木工材料（ひのきのポンポン）	式	1	51,600	51,600	4 0 0 円× 1 2 9 人
		小計			166,619	
		消費税及び地方税相当額			5,160	10%（原材料費のみ）
		合計			171,779	
木育事業（小学校 4 か所）						
区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	講師料	人	2	45,000	90,000	
準備費	企画・打合せ、講習資料、 葉っぱ採取、丸太伐採等	人	2	60,000	120,000	
原材料費	木工材料、サンドペーパー、 油脂等	式	4	15,000	60,000	
管理費	直接工事費の20%	式	1	54,000	54,000	
		小計			324,000	
		消費税及び地方税相当額			32,400	10%
		合計			356,400	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育事業
-----	-------------

7の（1）. 写真



写真1
森の授業（各小学校）



写真2
森の授業（各小学校）



写真3
各保育所



写真4
各保育所



写真5

写真5



写真6

写真6

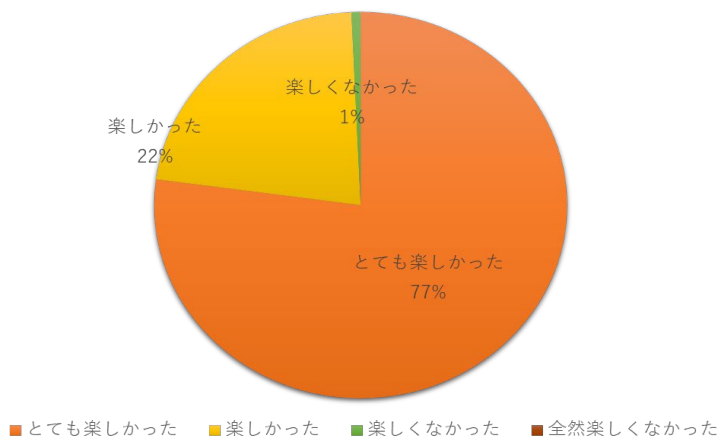
対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育事業
-----	-------------

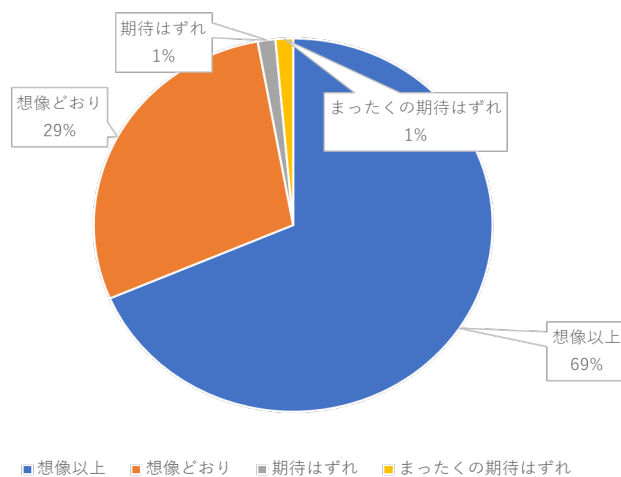
7の(2). その他資料

木育授業（小学校）アンケート結果

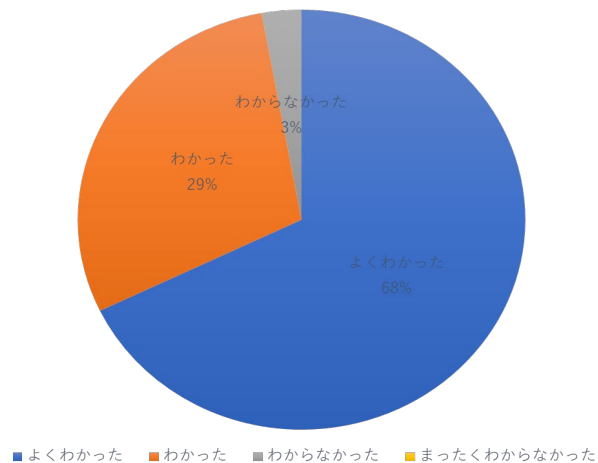
出前授業は楽しかったですか？



出前授業は想像していたとおりでしたか？



出前授業の先生の話はわかりやすかったですか？



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育事業（森林教育イベント）				
事 業 費	2,970,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,970,000		

1. 事業の目的

森林環境教育事業（森林教育イベント）実施して、森林に対する深い理解のある人づくりを進めていく。

2. 事業実績概要

【事業内容】

森林・林業の魅力を知ってもらうため、上映会とゲストトークショーを開催した。
WOOD JOB! を上映した。また、田中要次氏、速水亨氏、安藤さかり氏をお招きしトークショーを実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

玉城町

【実施個所及び箇所数】

玉城町保健福祉会館ふれあいホール

【事業量】

来場者数207名（事前申込数199名、申込期間終了後チケット配布数71枚）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林環境教育事業（森林教育イベント）を通じて森林の大切さを学ぶことにより、その理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

上映会とトークショーを実施し、多くの方に関心を持ってもらう。

【新たな対策・視点及び改善点】

周知活動をより積極的に行い、多くの方に参加を促す。（報告書参照）

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	玉城町	新規・継続の別	新規
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林環境教育事業（森林教育イベント）				
事 業 費	2,970,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,970,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	株式会社アドライブ	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

入札による選定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	来場者数207名
期待する波及効果	森林・林業に関する知識向上

【公的関与の必要性】

林業の啓発、発展を促す内容であるため、公的に取り組む必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。
アンケート実施	実施後	来場者に対してアンケートを実施した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

報告書参照

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育事業（森林教育イベント）
-----	--------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託料	事務・業務委託料	式	1	2,970,000	2,970,000	
		合計			2,970,000	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業（森林教育イベント）
-----	--------------------

7の（1）. 写真



写真1

森林教育イベント全体写真



写真2

トークショー



写真3

出演者挨拶



写真4



写真5



写真6

林業の魅力を発掘

上映会/ゲストトークショー
「Wood job!～神去なあなあ日常～」

実施報告書

実施概要

林業の魅力を発掘 上映会/ゲストトークショー

「みえ森と緑の県民税」を活用し、玉城町として林業の訴求を図る

2024年6月29日(土)

13:55~17:00 (13:00開場)

玉城町保健福祉会館ふれあいホール
(〒519-0433 三重県度会郡玉城町勝田4876-1)

207名
(事前申込数…199名 申込期間終了後チケット配布数…71枚)

玉城町在住
お子様連れのファミリー層・10～20代の若者層・シルバー層など

専用申込URL・FAX 観覧無料

玉城町

株式会社アドライブ

林業の魅力を発掘↓

上映会 観覧無料

ゲストトークショー



6月29日 土

14:00-17:00 (開演13:00)



スケジュール

上映会(116分) トークショー(40分)

Googleフォーム(QRコード)

またはFAX(052-219-4553 運営事務局:アドライブ)

玉城町保健福祉会館
ふれあいホール

〒519-0433 喜多郡玉城町新田4870-1

※代表者も申込人数(最大4名)・住所・電話番号を記録しお申込みください。

申込締切時: 6月13日 木

※チケット発送をもって当選とさせていただきます。
応募多数の場合は、抽選を行います。(県内住所の希望)

田村 真喜子
ZTV 伊勢支店 アウンサー

※抽選開始: 6月13日 木

※チケット発送をもって当選とさせていただきます。
応募多数の場合は、抽選を行います。(県内住所の希望)

【金銭指定】座席はチケット購入時に自動的に割り振られるが、ご希望の座席を指定することができます。

【駐車場について】駐車場は無料ですがございます。当日は前着の早い方より公共料金駐車場の利用にご協力をお願いいたします。



Googleフォーム

トークショーゲスト



田中 登次

俳優
TBS/BS 25
「関八州の虎」
「関八州の虎」
主演/監督
主演/監督
主演/監督



遠水 享

演劇機構代表
二重橋の虎
主演/監督
主演/監督



安藤 さくら

2024ミス日本
みずのび大賞
「関八州の虎」
主演/監督
主演/監督



佐々木 真子

女優
TBS/BS 25
「関八州の虎」
主演/監督
主演/監督



佐々木 真子

女優
TBS/BS 25
「関八州の虎」
主演/監督
主演/監督



佐々木 真子

女優
TBS/BS 25
「関八州の虎」
主演/監督
主演/監督

主催: 玉城町 運営事務局: 株式会社アドライブ お問い合わせ先: 080-3865-5752 (受付時間: 10:00~19:00(平日))



広報・宣伝 ポスター/チラシ

■B2ポスター/A4チラシ(表)

林業の魅力を発掘
上映会 ゲストトークショー
 6月29日 14:00-17:00 (開場13:00)
 上城山(1140円) スターホール(1400円) トーグスター(1400円)
 玉城町保健福祉会館 ふれあいホール
 Googleフォーム(QRコード) または FAX(052-219-4553) 遠くまで届く
 申込締切 6月13日
 ※チケット印刷も合わせて商品として販売いたします。
 ※チケット印刷も合わせて商品として販売いたします。
 トークショーゲスト
 田中 康治 清水 孝 石橋 幸希
 主催：玉城町 運営：玉城町 株式会社アライブ

■A4チラシ(裏)

林業の魅力を発掘
上映会 × ゲストトークショー
 Googleフォーム(右QRコードより)、または
 下記申込書にご記入の上FAXにて受付中
 ※チケット発送をもってご返送させていただきます。

FAX.052-219-4553 (遠くまで届くアライブ)

代表者名	
申込人数 (名)	
ご住所	
お電話	

申込締切6月13日迄

■制作部数・・・チラシ14,500部
 町内・町内周辺折込:14,000部
 町内設置:500部

■設置場所

アスパア玉城



社会福祉協議会



玉城町生涯現役促進協議会



[その他掲載場所]

- ・玉城町役場
- ・玉城町商工会
- ・中央公民館
- ・田丸駅交流施設
- ・玉城町保健福祉会館

[チラシ配布]

- 田丸小学校
- 有田小学校
- 外城田小学校
- 下外城田小学校
- 玉城中学校

[チラシ折込2回実施]

- (中日新聞/朝日新聞/
毎日新聞/読売新聞)
- 5月26日 玉城町内 7,000部
- 6月9日 玉城町周辺地域 7,000部

広報・宣伝 ウェブサイト

■玉城町HP



■ウォーカープラス(イベントバンク)



■eventnews(イベントバンク)



■BIGLOBE旅行(イベントバンク)



■日本旅行(イベントバンク)



■ジモティー三重



広報・宣伝 SNS広告(Instagram)

■広告配信ターゲット

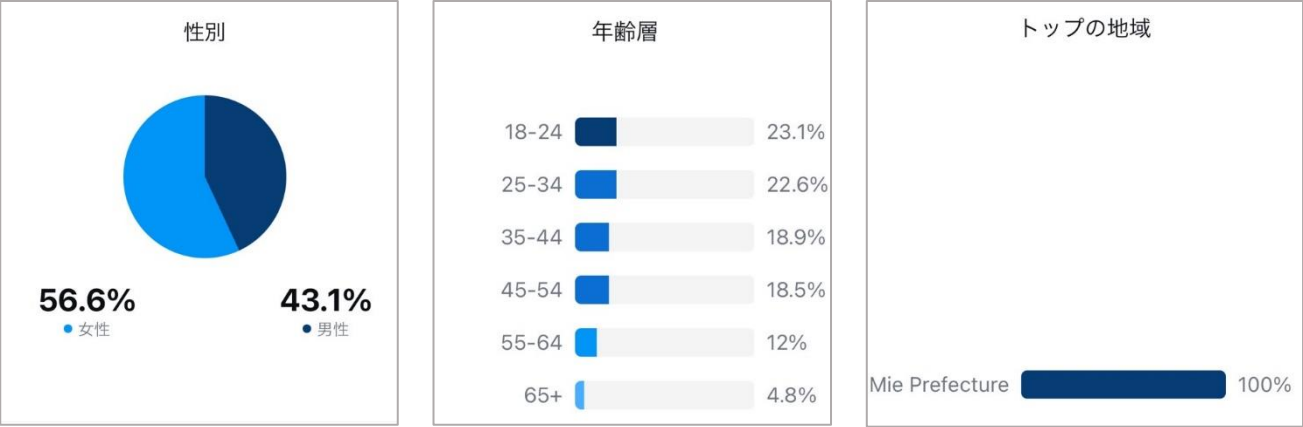
- ・期間：2024年6月5日(水)～6月11日(火) 6日間
- ・エリア：三重県度会郡
- ・年齢：18歳以上
- ・興味・関心：林業、アウトドア、映画

■実績レポート

インプレッション	24,308
リーチ	6,358
ウェブサイトへのアクセス	183

インプレッション…広告表示回数
リーチ…投稿が表示された人数
ウェブサイトへのアクセス…広告から申込フォームを閲覧した人数

■広告オーディエンス



■広告画像



フィード投稿



リール投稿

実施写真

■入場受付



■会場設置物



実施写真

■ふれあいホール(上映前)



■町長挨拶



■上映



■トークショー



実施写真

■出演者控室



■来場者駐車場



■終了後



■記念撮影



来場者アンケート

■運営方法

受付時にアンケート用紙を配布。
アンケートを記入していただくよう休憩中、イベント終了後にアナウンスにて呼びかけ。
イベント終了後、ホール外で回収。

■アンケート用紙

■収集枚数

196枚 / 207名

玉城町における森林に対するアンケート

今後、県民税及び森林譲与税を活用して事業を行っていくうえで、住民ニーズを把握し、森林施策に反映するためにアンケートを実施いたします。
また県民税の事業の効果検証の位置づけとしてアンケートを行います。

Q1.差し支えない範囲で以下情報にお答えください

性別	☐ 男性 ☐ 女性
年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ その他
お住まい	☐ 玉城町内 ☐ 玉城町外

Q2.本イベントの満足度をお答えください。(単一選択)

☐大変満足 ☐満足 ☐普通 ☐不満 ☐大変不満

Q3.今後同様のイベントが開催された場合、参加したいと思いますか。(単一選択)

☐とても参加したい ☐参加したい ☐どちらでもない ☐参加したくない ☐全く参加したくない

Q4.次回のイベント等の開催に向けて、改善した方が良い点をお聞かせください。(自由記述)

Q5.玉城町の森林を身近に感じますか。(単一選択)

☐とてもそう思う ☐そう思う ☐どちらでもない ☐そう思わない ☐全く思わない

Q6.どのようなものであれば、玉城町で森林を身近に感じられますか。(複数選択可)

☐公共施設の木質化 ☐森林を身近に感じれるイベント
☐木工工作といった体験イベント ☐木材を利用した遊具等の設置

Q7.玉城町の森林のイメージ(自由記述)

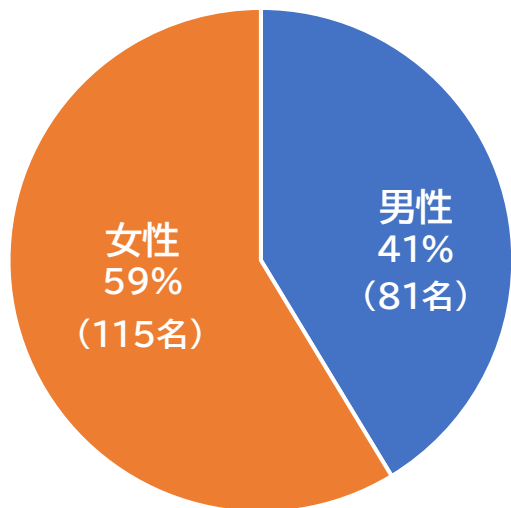
Q8.「災害に強い森林づくり」は必要だと思いますか。(単一選択)

☐とても必要 ☐必要 ☐どちらでもない ☐不要 ☐全く不要

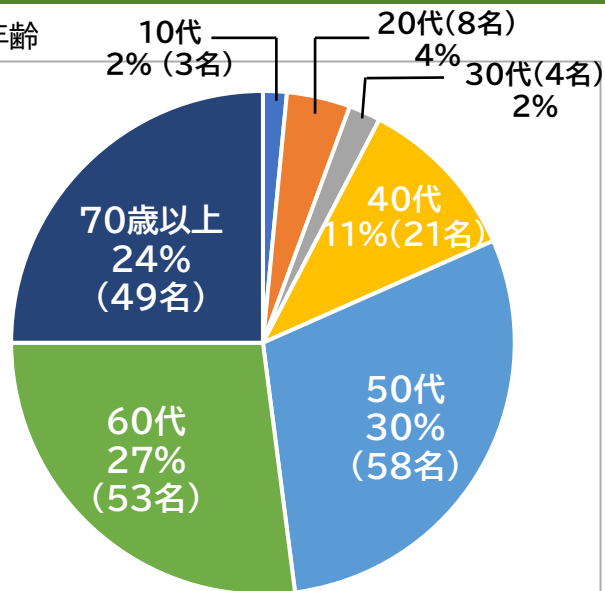
ご協力ありがとうございました。

アンケート結果

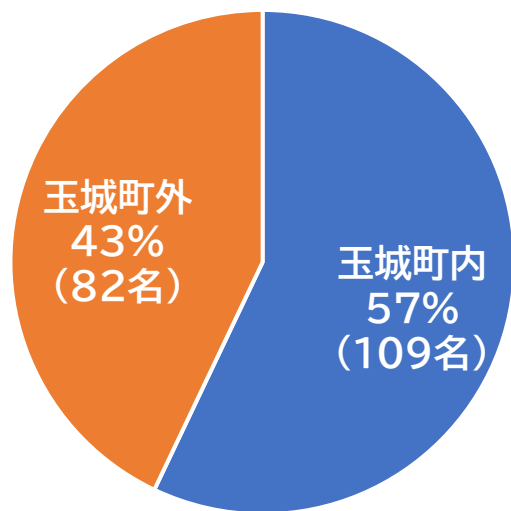
Q.性別



Q.年齢

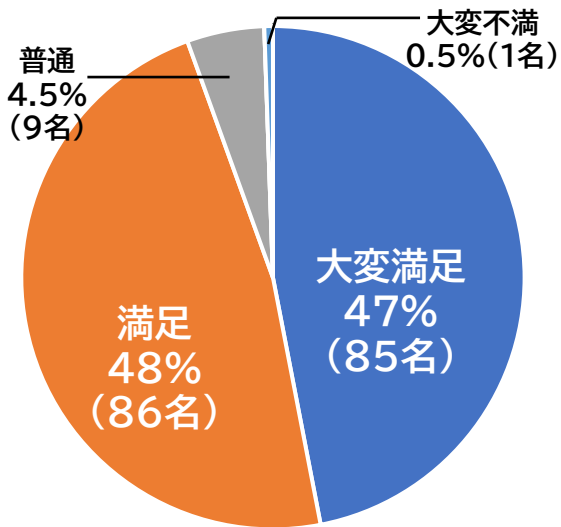


Q.お住まい



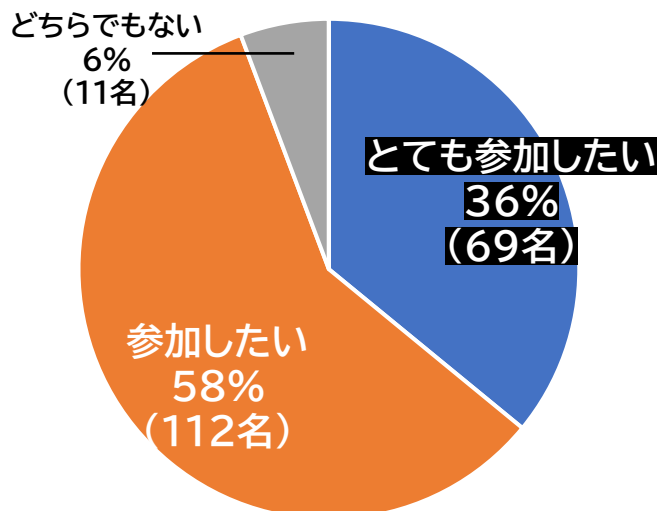
未回答:5

Q.本イベントの満足度をお答えください



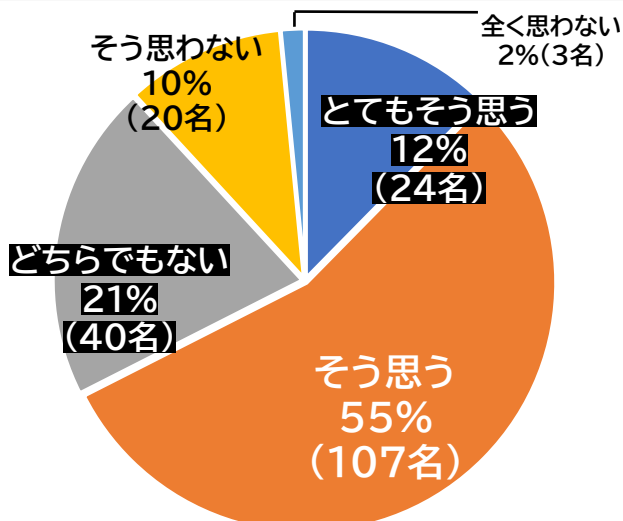
未回答:15

Q.今後同様のイベントが開催された場合、参加したいと思いますか。



未回答:4

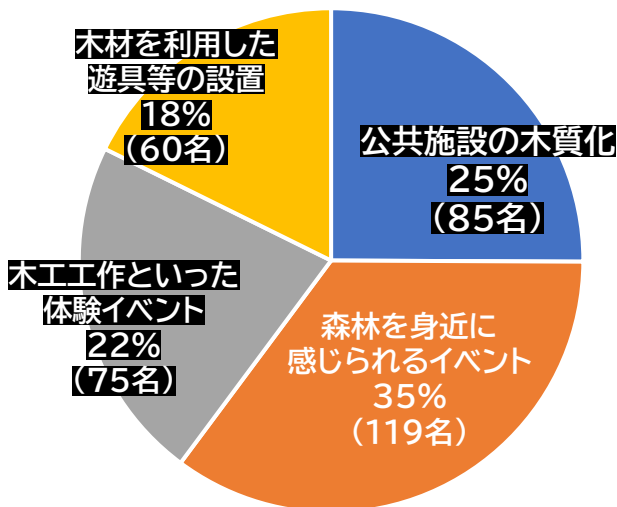
Q.玉城町の森林を身近に感じますか



未回答:2

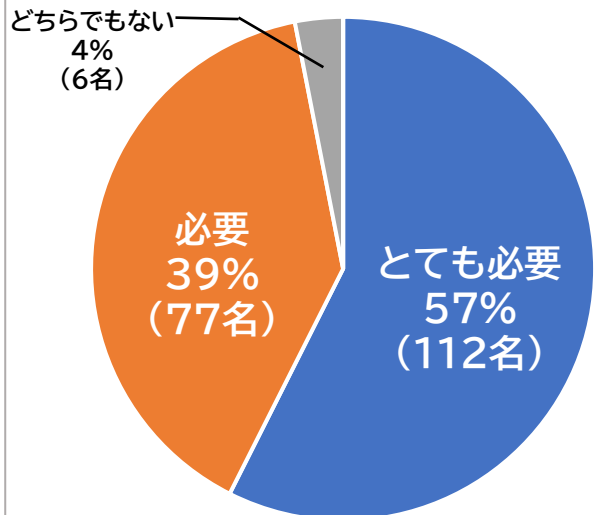
アンケート結果

Q.どのようなものであれば、玉城町で森林を身近に感じられますか(複数選択可)



未回答:8

Q.「災害に強い森林づくり」は必要だと思いますか



未回答:1

Q.次回のイベント等の開催に向けて、改善した方が良い点をお聞かせください(自由記述)

- ・会場の席次が決まっているのが良い。次回もお願いしたい
- ・現在どのような対策(森林を守る、育てる)を考えているか、次回は対策の具体例について知りたい。
- ・考えることが沢山あり気づかされた良い映画
- ・スクリーンが大きかったら良かった
- ・空調が場所によって効きすぎの所があった
- ・周知のチラシが、映画の内容がわかりづらいものだった為、うまくPR出来てなくて若い人が参加できてないのがもったいないと思いました。
- ・スムーズに入場できる方法を考えてほしい
- ・トークショーが面白かった
- ・上の方なので画面が小さくて見えなかった
- ・とても心に残る良い映画でした、いい企画でした
- ・何か一つでも体験コーナーみたなものがあればもっと林業を身近に感じれた
- ・SNSでイベントを知りました。申込もスムーズにでき、チケットが当たったのでうれしかった。
- ・この映画を若い世代の子供達に観てもらい教材として活用してもらおうといいなと思いました。

Q.玉城町の森林を身近に感じますか(自由記述)

- ・水田がメインで森林イメージがない
- ・里山のイメージが強い
- ・大変荒れているイメージがあります。手入れするのに費用がかかる感じがする
- ・今回のイベントで森林を感じたいと思った。
- ・森林をアピールするならもっとイベント回数を増やしたり、木に関係のある木工教室や実際に木を切ったりする体験などがあればよいのではないかと
- ・一次産業離れが大きく、荒れているところも多いと思います
- ・緑豊かで、いい感じの町だと思います。玉城町は子供や福祉が整っていると思いますので、もっと森林とのかかわりを子供達に伝え、活かせば良いと思います。
- ・道路沿いの樹木を整理してほしい
- ・的山公園でのイベントや広告をしてみてもいい
- ・玉城町に森林のイメージが今日までありませんでした。各種PRやイベントなど、お願いします。また参加させていただきます。

度 会 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

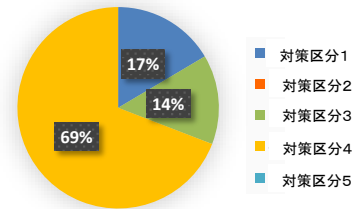
市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,464	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	10.7%	11.4%
森林面積(ha)	11,259.09	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	11,259.09	348,212.01
森林率(%)	84%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	1	流倒木撤去事業	1,100,000	990,000	990,000					
2	3	森林環境教育推進事業	999,900	863,000			863,000			
3	4	木材とふれあう場づくり推進事業	4,198,700	4,151,000				4,151,000		
計			6,298,600	6,004,000	990,000	0	863,000	4,151,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当 額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.57ha	7,370,000	7,270,000	間伐等（環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	596本	5,164,777	2,582,000	伐採施工、立木補償
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち、山林が83.7%を占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。 本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりを進める。
事業実施により期待される効果	下流へ流出する恐れのある木を伐採・撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制され、安全性の向上が期待できる。 町内の約8割が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験を行うことで、森林の魅力に触れることをきっかけに、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。
情報発信への取組	○のぼり設置 ・作業中や授業中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。 ○HP掲載 ・事業実施前に実施する事業を町HPに掲載した。 ・年度末に、実施した事業の写真や概要を町HPに掲載した。 ○回覧板・掲示板 ・地元地区へ作業前のお知らせと併せて、事業概要を記載したチラシと県民税のパンフレットを渡し、回覧板や掲示板で県民税を活用した取り組みであることを周知した。 ○広報紙掲載 ・事業実施後に事業の内容を町広報紙に掲載した。 ・広報11月号では、林業特集を掲載し、その中でみえ森と緑の県民税事業の紹介をした。 ○ポスター掲示 ・保育所の掲示板に県民税事業のポスターと自作ポスターを掲示して県民税を活用していることをアピールした。 ○学校だより等掲載 ・学校だよりで授業の内容や写真を掲載した。 ○アンケート実施 ・授業実施後に受講者に対してアンケートを実施した。 ○記者提供 ・中日新聞（R7.1.25）に授業の様子を掲載してもらった。 ○SNS ・町SNSに授業の様子や、遊具で遊ぶ園児の写真を投稿し、県民税を活用して実施したことをアピールした。

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	② 意向調査	7,819,900	7,819,000
2	③ 私有林整備	8,572,300	8,572,300
3	⑦ その他（森林整備）	5,238,200	5,238,200
4	① 意向調査の準備作業	1,435,500	1,435,500
5	⑦ その他（森林整備）	641,000	641,000
6	⑰ 基金積立（森林整備等）	21,601,000	21,601,000
	合計	45,307,900	45,307,000

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	流倒木撤去事業				
事 業 費	1,100,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			990,000	0	110,000

1. 事業の目的

度重なる大雨により、河川上流の護岸が侵食され、多くの木が倒れかかるなど、豪雨時に下流域において災害を拡大させる恐れがある。溪流沿いに堆積した倒木や流木、倒木の恐れのある木を伐採・撤去し、道路や下流域への災害の拡大を抑制する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

下流域へ流出の恐れのある溪流沿いの木の伐採・撤去する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施箇所及び箇所数】

1箇所（準用河川小山谷川）

【事業量】

撤去本数25本（内訳 倒木14本、立木11本）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

下流へ流出する恐れのある木を伐採・撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制され、安全性の向上が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地域住民からの要望により実施しているが、緊急を要する箇所のうち、公共性が高く、波及効果の高い場所を優先しながら計画的に実施している。

【新たな対策・視点及び改善点】

過去の災害状況を鑑み、他事業では取り組めない下流へ流出する恐れのある流域沿いの不安定な木を町独自で伐採・撤去する。県民税での実施が浸透するよう情報発信の方法を工夫する。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	流倒木撤去事業				
事 業 費	1,100,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			990,000	0	110,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

河川内の流倒木の撤去作業は、傾いた木やかかり木となっている状態の伐採を伴うものであり、高度な伐採技術を要する業者から選定する必要がある。委託先は町近隣業者で、かつ入札指名業者の登録において、委託業務の「施設運営・管理-森林」の項目に登録されている業者であるため選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	長原（立花）地区 人口94人（R7.2月末時点）
期待する波及効果	森林および河川の適切な整備

【公的関与の必要性】

河川沿い等の流倒木の撤去作業は、高度な伐採技術を要することから、森林所有者による整備が困難なため、町が実施することで災害拡大を抑制する。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

流倒木の撤去であり、実施箇所の転用、目的外使用の規制は設けない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	作業中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
HP掲載	実施前・後	年度当初に実施する事業を町HPに掲載した。年度末に実施した事業の写真を町HPに掲載した。
回覧板・掲示板	実施前	地元地区へ作業前のお知らせと併せて、事業概要を記載したチラシと県民税のパンフレットを渡し、回覧板や掲示板で県民税を活用した取り組みであることを周知した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報紙に掲載した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

下流域の地域住民「災害時の不安が解消された」

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町
事業名	流倒木撤去事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採撤去工		本	25	18,792	469,800	
グラップル	0.25クラス	日	2	35,000	70,000	
諸経費	現場管理費・一般管理費等	式	1		460,200	
		小計			1,000,000	
		消費税			100,000	10%
		合計			1,100,000	

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	流倒木撤去事業
-----	---------

7の(1). 写真



写真1

撤去前①



写真2

撤去後①



写真3

撤去前②



写真4

撤去後②

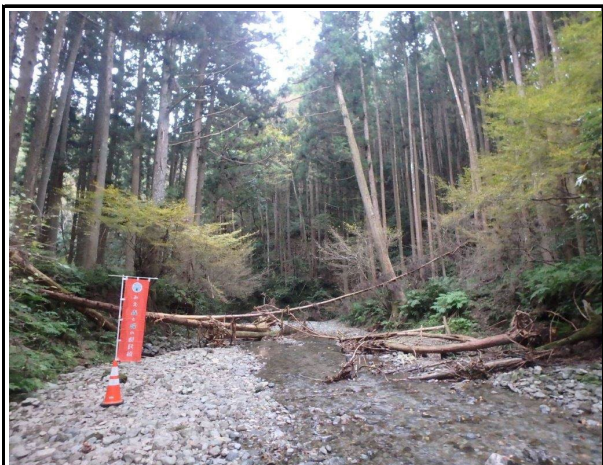


写真5

撤去前③



写真6

撤去後③

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	流倒木撤去事業
-----	---------

7の（1）. 写真



写真1
撤去作業中①



写真2
撤去作業中②



写真3
回覧版による事業周知

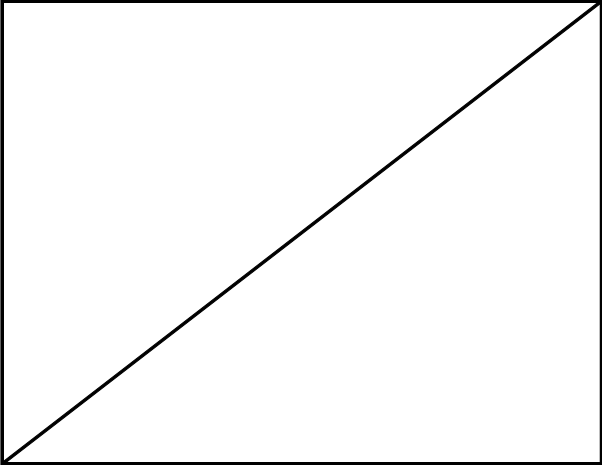


写真4

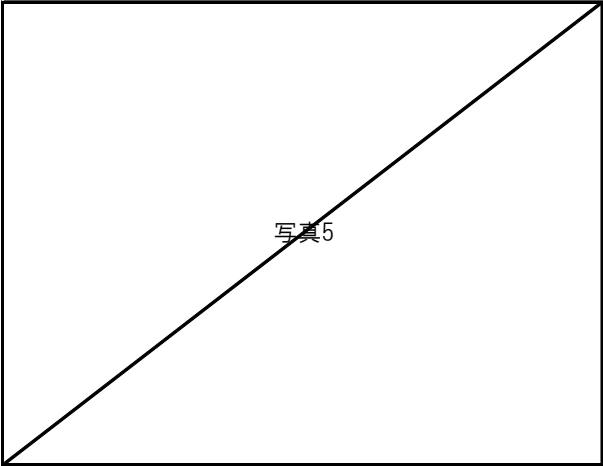


写真5

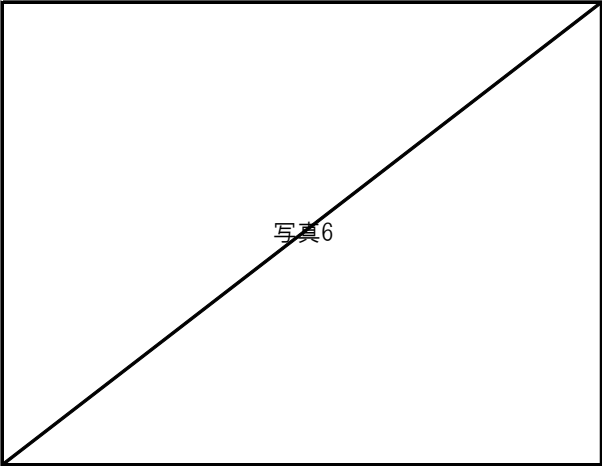


写真6

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	流倒木撤去事業				

7の(2). その他資料

PickUp! わたらいニュース

町広報紙に取り組み事業を掲載『広報わたらい 3月号』

1日には、「ト久貝お頭神事」が、無病息災や家内安全などを願い、獅子頭が奉納されている数地内や海蔵寺の境内で、獅子と天狗による舞が行われました。

8日には棚橋コミュニティセンターで、「棚橋お頭神事」が行われ、昼は獅子頭の迫力ある座敷舞、夜には天狗と獅子の打ち舞が披露されました。

9日には一之瀬神社で「一之瀬獅子神楽」が行われました。昨年に引き続き境内では、南中村区の舞が披露され、氏子の健康や五穀豊稔、繁栄を祈願しました。また、脇出区においても、区内で舞が行われました。



ト久貝お頭神事



棚橋お頭神事



一之瀬獅子神楽



1/ 23-24 2/ 13

木に触れ合おう

小・中学校で森林環境教育

1月23日、24日に度会中学校2年生、2月13日に度会小学校3年生を対象に、森林環境教育の出前授業を行いました。

この取り組みは、町の自然や林業に関心を深めてもらうことを目的に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業です。

講義では、森林を適切に管理する大切さや、枝木の違いを比べたり年輪を数えたりして楽しみながら正しい知識を身に付けました。

この後、小学生は、やすりで磨いた木片に自分の好きな絵を描くオリジナルのキーホルダー作りを実施。中学生は、自分に合った箸になるようカッターややすりで形を整えてマイ箸を作りました。完成すると嬉しそうにお互いに見せ合っていました。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業一覧

- ・流倒木撤去事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

1/ 30 人権について学ぶ 棚橋保育所人権教室

1月30日、度会町と鳥羽市の人権推進委員会による人権教室が棚橋保育所で開催されました。

この日は歌や踊りのショー、人形劇などが披露されたほか、園児たちは、動物に扮した委員と交流しながら、人権について学びました。

人形劇「まほうのたまご」では、話したり、色が変わったりする不思議なたまごが、命の尊さや思いやりの大切さを伝えるお話です。「ちくちく言葉など相手が嫌がることはやめて、お友達や先生、家族に優しくしましょう」と呼びかけると、園児たちは元気よく返事をしていました。



対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	流倒木撤去事業
-----	---------

7の(2). その他資料

町HPに事業紹介を掲載

Watarai Town 度会町

ホーム 町の概要 町政情報 暮らしのガイド 防災情報 各課の窓口

ホーム ▶ 各課の窓口 ▶ 農林係 ▶ 林業振興 ▶

みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2025年4月1日] ID:1696

みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

【基本方針1】 災害に強い森林づくり

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

○令和7年度実施予定事業（令和7年4月1日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

※予定事業は変更する場合があります。

○令和6年度実施事業

- ・流倒木撤去事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

○令和5年度実施事業

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業

事業紹介

流倒木撤去事業

度重なる大雨により、河川上流の崖が侵食され、多くの木が倒れかかるなど、豪雨時に下流域での災害拡大が懸念されます。道路や下流域への災害拡大を防ぎ、住民の安全・安心な暮らしを守るため、渓流沿いに堆積した倒木や流木、また倒木の恐れのある木々を伐採・撤去しました。

森林環境教育推進事業

森林の機能・緑の大切さについての理解を深めるため、町内の年長児、小学生、中学生を対象に木育授業・木工体験を実施しました。

URL :

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	999,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			863,000	0	136,900

1. 事業の目的

町や山林の未来を担う子供たちの森林・林業への関心を高め、森林の機能・緑の大切さについての理解を深め、将来の森林の担い手を育成する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

- （1）小学3年生を対象に木育授業・木工体験（キーホルダー作り）を実施。（度会小学校）
- （2）中学2年生を対象に木育授業・木工体験（箸作り）を実施。（度会中学校）
- （3）保育所の年長児を対象に木育授業・木工体験（キーホルダー・箸作り）を実施。（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施箇所及び箇所数】

- （1）度会小学校 1箇所
- （2）度会中学校 1箇所
- （3）保育所 3箇所（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）

【事業量】

- （1）度会小学校 木育授業2回(2クラス2限ずつ)
- （2）度会中学校 木育授業2回(2クラス2限ずつ)
- （3）保育所 木育授業3回(3クラス2限ずつ)
- 箸づくり4回(4クラス1限ずつ)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

町内の約8割が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験を行うことで、森林の魅力に触れることをきっかけに、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地域の森林に精通しているいせしま森林組合が木育授業を実施することで、専門的な知見から子ども達の年齢に合った教育ができた。また、箸づくり体験については、子ども達が自ら作成した箸を用いて、箸の持ち方の練習をしてもらうことで、日頃から木製品に触れてもらう機会を作ることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

昨年度から事業対象を保育所から中学生までとしたことで、幼児期から青年前期まで断続的に森や緑について、学びふれあう機会を作ることができた。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	999,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			863,000	0	136,900

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】 専門的な知見から適切な教育を実施できるためいせしま森林組合を選定。 【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	(1) 度会小学校 受講者 65名 (R6小学3年生) (2) 度会中学校 受講者 64名 (R6中学2年生) (3) 棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所 年長児 55人 (R6保育所年長児)			
期待する波及効果	児童、生徒が授業内容を家族に伝えることで、家族にも森林の大切さを知ってもらえる。			
【公的関与の必要性】 町が実施することで、住民・関係団体・事業者との架け橋になれる。 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 施設整備ではなく、該当しない。				

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	999,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			863,000	0	136,900

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】		
【情報発信の内容】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	授業実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税を活用して実施していることをアピールした。
HP掲載	実施前・後	年度当初に、実施する事業を町HPに掲載した。年度末に、実施した授業の写真を町HPに掲載した。
広報誌掲載	実施後	授業の内容を写真とともに町広報紙に掲載した。 また広報11月号では、林業特集を掲載し、その中でみえ森と緑の県民税事業の紹介をした。
ポスター掲示	実施後	保育所の掲示板に県民税事業のポスターと自作ポスターを掲示して県民税を活用していることをアピールした。
学校だより等掲載	実施後	学校だよりで授業の内容や写真を掲載した。
アンケート実施	実施後	授業実施後に受講者に対してアンケートを実施した。
その他	実施後	記者提供を行い、中日新聞（R7.1.25）に掲載してもらった。
その他	実施後	町公式Instagramに事業概要と写真を掲載した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森林環境教育推進事業				
事 業 費	999,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			863,000	0	136,900

7. 写真及びその他資料
別紙のとおり
8. その他特記事項（受益者の反応等）
授業後、アンケートや聞き取りを実施した （1）度会小学校 ・木の丸太にある年輪の線を数えると木が何歳かわかる。自分が数えた木は50歳だった。 ・木の板によって値段が違う。ふしの模様がない板は値段が高い。 ・山に木が生えていることで土砂崩れから守ってくれる。 ・木の葉っぱは、木の丸太と同じにおいだった。 ・ヒノキはとても良いにおいだった。 ・木を切る重機がロボットみたいでカッコよかった。すごいスピードで丸太になった。 ・木を倒すときにすごい音がした。 ・木のキーホルダー作りが楽しかった。紙やすりでこするのが大変だった。 ・iPadで描きたいものを調べて、見ながらキーホルダーに絵を描いた。 ・キーホルダーにおじいちゃんの顔を描いた。上手に描けたのでプレゼントしたい。 （2）度会中学校 ・授業を通して木の役割を知った。森林には雨水を浸透させる力があり、土砂災害を防ぐことができる。 ・森林や林業はいろんなSDGsに関わっている。 ・森林は手入れをしないと細い木しか育たず、利用価値がなくなってしまう。枝払いや草刈りなどを行って光を入れることで木が太く育つ。 ・マイ箸づくりは、先端を細くするのが難しかった。 ・掴みやすくするために、角を丸くして先端を細くしたので、木くずもつかめる箸になった。 ・カッターで箸を削るのが、最初は難しかったけどだんだん慣れて上手にできるようになった。 （3）保育所 ・『木の切り方がこんなかんじ（林業用機械を使用した伐採）だと知らなかったの（知れて）よかったです。』

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

4. 効率性：主な経費内訳

（1）度会小学校

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料		人	2	20,000	40,000	
準備費		式	1	56,000	56,000	資料作成・木材葉っぱ採取
資材費		式	1	94,500	94,500	サンドペーパー等
管理費		式	1	36,500	36,500	
		小計			227,000	
		消費税及び地方税相当額			22,700	10%
		合計			249,700	

（2）度会中学校

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料		人	2	20,000	40,000	
準備費		式	1	56,000	56,000	資料作成・木材葉っぱ採取
資材費		式	1	94,500	94,500	サンドペーパー等
管理費		式	1	36,500	36,500	
		小計			227,000	
		消費税及び地方税相当額			22,700	10%
		合計			249,700	

（3）保育所

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料	木育授業分	人	4	10,000	40,000	
準備費	〃	式	1	161,000	161,000	資料作成・木材葉っぱ採取
資材費	〃	式	1	56,300	56,300	サンドペーパー、キーホルダー、湯玉等
管理費	〃	式	1	50,700	50,700	
箸材料費	箸づくり分	膳	70	1,600	112,000	
諸経費	〃	式	1	35,000	35,000	木製オイル・紙ヤスリ等
		小計			455,000	
		消費税及び地方税相当額			45,500	10%（報償費を除く）
		合計			500,500	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

7の(1). 写真



写真1

度会小学校授業風景①



写真2

度会小学校授業風景②



写真3

度会小学校授業風景③



写真4

度会小学校授業風景④



写真5

度会小学校 キーホルダー①



写真6

度会小学校 キーホルダー②

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

度会中学校授業風景①



写真2

度会中学校授業風景②



写真3

度会中学校授業風景④



写真4

度会中学校授業風景③



写真5

度会中学校授業風景⑤

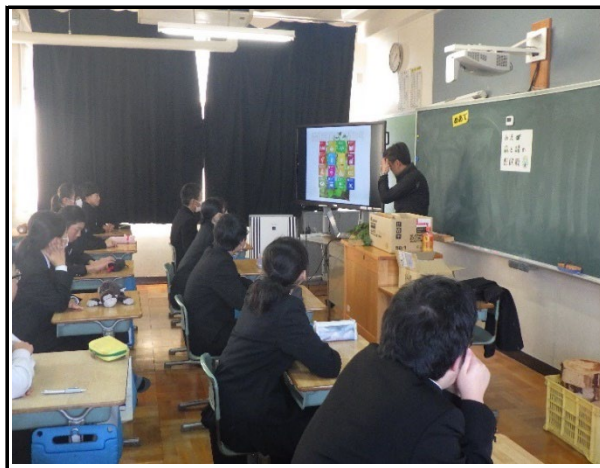


写真6

度会中学校授業風景⑥

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

保育所授業風景①



写真2

保育所授業風景②



写真3

保育所授業風景③



写真4

保育所キーホルダーづくり



写真5

保育所箸づくり①



写真6

保育所箸づくり②

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

保育所箸づくり 箸作成の様子①



写真2

保育所箸づくり 箸作成の様子②



写真3

保育所箸づくり 箸作成の様子③



写真4

保育所掲示板に掲示①



写真5

保育所掲示板に掲示②



写真6

保育所掲示板に掲示③

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				
7の(2). その他資料					

記者提供を行い、中日新聞(2025.1.25
(土))に掲載していただいた。(度会中学校)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町HPに事業紹介を掲載

町HPに事業紹介を掲載

ホーム 町の概要 町政情報 暮らしのガイド 防災情報 各課の窓口

ホーム ▶ 各課の窓口 ▶ 農林係 ▶ 林業振興 ▶

▶ みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2025年4月1日] ID:1696 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [f シェア](#) [ツイート](#)

▶ みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

【基本方針1】 災害に強い森林づくり

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

○令和7年度実施予定事業（令和7年4月1日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

※予定事業は変更する場合があります。

○令和6年度実施事業

- ・流倒木撤去事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

○令和5年度実施事業

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業

事業紹介

森林環境教育推進事業

森林の機能・緑の大切さについての理解を深めるため、町内の年長児、小学生、中学生を対象に木育授業・木工体験を実施しました。



URL :

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

7の(2). その他資料

PickUp! わたらいニュース

町広報紙に取り組み事業を掲載 『広報わたらい 3月号』(度会小学校)

1日には、「トク貝お頭神事」が、無病息災や家内安全などを願い、獅子頭が奉納されている数地内や海蔵寺の境内で、獅子と天狗による舞が行われました。

8日には榎橋コミュニティセンターで、「榎橋お頭神事」が行われ、昼は獅子頭の迫力ある座敷舞、夜には天狗と獅子の打ち舞が披露されました。

9日には一之瀬神社で「一之瀬獅子神楽」が行われました。昨年に引き続き境内では、南中村区の舞が披露され、氏子の健康や五穀豊稔、繁栄を祈願しました。また、協出区においても、区内で舞が行われました。





1/23-24 2/13 木に触れ合おう
小・中学校で森林環境教育

1月23日、24日に度会中学校2年生、2月13日に度会小学校3年生を対象に、森林環境教育の出前授業を行いました。

この取り組みは、町の自然や林業に関心を深めてもらうことを目的に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業です。

講義では、森林を適切に管理する大切さや、枝木の違いを比べたり年輪を数えたりして楽しみながら正しい知識を身に付けました。

この後、小学生は、やすりで磨いた木片に自分の好きな絵を描くオリジナルのキーホルダー作りを実施。中学生は、自分に合った箸になるようカッターややすりで形を整えてマイ箸を作成しました。完成すると嬉しそうにお互いに見せ合っていました。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業一覧

- ・流倒木撤去事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

1/30 人権について学ぶ
榎橋保育所人権教室

1月30日、度会町と鳥羽市の人権擁護委員による人権教室が榎橋保育所で開催されました。

この日は歌や踊りのショー、人形劇などが披露されたほか、園児たちは、動物に扮した委員と交流しながら、人権について学びました。

人形劇「まほうのたまご」では、話したり、色が変わったりする不思議なたまごが、命の尊さや思いやりの大切さを伝えるお話です。「ちくちく言葉など相手が嫌がることはやめて、お友達や先生、家族に優しくしましょう」と呼びかけると、園児たちは元気よく返事をしていました。



広報わたらい 2025年3月号 6

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町広報紙に取り組み事業を掲載 『広報わたらい 9月号』(保育所 箸づくり)

8月10日～12日(東京都)・22日～28日(京都府)
第22回全日本女子軟式野球学生選手権大会
第9回全日本中学女子軟式野球大会
三鷹高虎ガールズ 度会中学校1年生 藤田 結由花さん(棚橋)
1回戦 惜敗



8月16日～19日(北海道)
第29回全日本レディースソフトボール大会
KEICHO CULB 杉本 優奈さん(柳)
1回戦 惜敗



大会結果

第76回全日本高等学校
女子ソフトボール選手権大会
津商業高校2年生 中村 嘉那さん(棚橋)
2回戦 惜敗



第24回全日本中学生
女子ソフトボール大会
度会レパーズ
2回戦 惜敗



第38回全日本小学生
女子ソフトボール大会
度会エンペラーズ
悪天候のため大会中止



第55回日本少年野球選手権大会
伊勢志摩ボーイズ
度会中学校3年生 中井 大樹さん(棚橋)
// 2年生 中井 永琉さん(棚橋)
1回戦 惜敗



第102回全国高等学校
相模選手権大会
宇治山田商業高校2年生 中西 鋭さん(棚橋)
個人3回戦(予選) 惜敗
団体2回戦(予選) 惜敗



8/26 保育所でマイ箸づくり 「みえ森と緑の県民税」を活用

8月26日、町内3保育所の年長児が合同で「マイ箸づくり」を行いました。

この取り組みは、「みえ森と緑の県民税」を活用し、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的に実施しています。

園児たちは、日本の箸の歴史や使い方について学んだ後、一人一人の手に合う大きさに印をした木をのこぎりで慎重に切りました。最後にやすりで箸の長さや形を整え、オイルを塗って完成。製作した箸で「おはし検定」を受け、達人を目指します。



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町広報紙に取り組み事業を掲載 『広報わたらい 7月号』(保育所 木育)

伊勢の初夏の風物詩「高柳の夜店」において、4年ぶりの開催となった昨年度に引き続き、6月22日、市町イベント「玉城・度会の日」が行われ、大勢のお客さんにぎわいました。

高柳商店街時計台前の広場では、町商工会がブースを設け、わたらい茶などの特産品やお菓子のじかんRUCIEN(ルシエン)のケーキなどを販売し、町をPRしました。あいにくの雨で伊勢乃國鏡太鼓の演奏は中止となりましたが、多くのお客さんが訪れ、PRのため登場したティーナと写真を撮ったり、試飲したお茶を購入したりと、夏の夜を楽しんでいました。



6/10・14・18
長原保育園 鶴巻保育園 中之郷保育園

木を身近に感じる 森林環境教育

町内3保育所で、年長園児を対象に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、森林環境教育の出前授業が行われました。

この取り組みは、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業で、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的に実施しています。

講義では、丸太の年輪を数えたり、木の葉の香りを確かめたりして、実際の木に触れる園児たち。その後、スギ・ヒノキ・サクラの木片を使ったオリジナルのキーホルダー作りを体験しました。

5/26 カラス・カワウの一斉駆除 町猟友会が実施

5月26日、町猟友会(小岸仁実会長)の会員26人の皆さんが、鳥獣による農作物被害の軽減を目的に、町や県の有害鳥獣捕獲許可のもと、カラスやカワウの一斉駆除を実施しました。

新型コロナウイルスの影響もあり、5年ぶりの開催となりましたが、カラス・カワウ合わせて9羽駆除することができました。

この他、町猟友会の皆さんには、期間を定めてイノシシやシカ、サルなどの駆除にもご協力をいただいています。



令和5年度 有害駆除実績

イノシシ	175頭	アナグマ	8匹
シカ	486頭	アライグマ	1匹
サル	25匹	タヌキ	3匹
カラス	0羽	ハクビシン	8匹
カワウ	28羽		

広報
わたらい

産地町おもしろ体験まつりでお楽しみ♪

2024
11月号
11月号

逢切れることのない歩み

林業を未来へつなぐ

変わりゆく時代に対応する

**いせしま森林組合
五津 憲一 組合長（川上）**

現代は、昭和の時代に比べて単木・単板材などの1㎡までで済んで、林業として売値が上がることは難しくなっています。適切な森林経営によって、山機能を生かして土砂崩れや洪水などの災害を防ぐことも必要です。これは、単年の製材品だけでなく、森林ではないという点で重要です。

また、「森林整備強化法」により、森と緑の環境税に關連する新たな施設が登場し、所管省庁を農水省から林野庁へ変更することによって、林業関係者にも進んでいきます。これらの施策は、持続可能な林業振興を促進するための大きなチャンスです。

さらに、伐採木のバイオマス利用

木材をそのまま使わずに集約材や複合材など、従来とは異なる多くの有効な活用方法があります。資源の活用が求められ、環境にも優しい利用が可能になっています。

私たちの目指すべきは、これら新しい可能性を活かした「森林価値」の山に目を向けることにあります。所有者の皆さんには、「山でふたでお金を得る喜びを感じていただきたい」と思っています。それ山への関心につながると考えています。そのためには「価値を知る」と伝えることが大切です。たとえ喜ばれなくても、家族が育つ有難さが分かってくると、家計も有難さを知って、一度山に対する関心が薄れてしまうと、再び対するものが薄れていくことは懸念することです。今、その取り組みを進めることには必ず価値があるのです。未来にはどのような事業や風の吹き回しが防げるかは分かりませんが、私たちが今から行動を起こせば、その未来を切り開くことができると思っています。

私たち林業組合と一緒に、企業とともに自然を守り、次の世代へとつなげていくために、口取り組んでいます。

寺子屋グループ 西宮小中学校

木に植える 西宮小中学校

森林公園体験 栗原町総合運動場

樹づくり 栗原小中学校

**人と自然
それはいつまでも
共存するもの
途切れてはならない
大切な縁**

**森と触れあう
子どもたち**

町の保育所から通校までの子どもたちは、みえの森との関係性を実生活で活用して学んでいます。

町田山の 開いた山	Q1 山歩きは楽し みませんか？	A1 はい、上野 公園に林檎の 木が植えてあ るんですよ。	Q2 森林の公開は どのよう に実施してい ますか？	A2 上野公園、所 在の森は、森 の公開に協力 してくださる 方々とともに 取り組んでい ます。	Q3 本気でチェン ジを求めている 方々、どうして チェンジを安 全に活用する ことができない のでしょうか？	A3 チェンジは、 市民の意見や 要望を反映し て、また、役 所との連携を 図ることで、 市民の生活に 貢献するもの です。
--------------	------------------------	---	--	---	--	---

「開いた山」記者会見 参加者様

12月16

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

学校だより
事業の内容を掲載
(度会小学校、度会中学校)

学校だより No.22

発行日 令和7年2月13日

新刊版～『^{あゆみ}鮎美』
 未来を創造する、心豊かな生徒の育成

発行所：校長 辻井良孝

給食クイズ ～給食委員会～

週間は「学校給食週間」でした。明治 22 年に学校給食が始まって以来、戦
れましたが、昭和22年2月から学校給食が再開されました。その後、昭和 25
育効果を促進する観点から、「学校給食週間」とすることになりました。子供

たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、**学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割**を果たしています。(文科省学校給食週間より引用要約)

度会中では、1月23日(木)～1月30日(木)の間に、「学校給食週間」に合わせて、生徒会給食委員が考えた、給食放送「給食クイズ」出題(辻村栄教諭監修)の取組が行われました。



森林環境教育 ～2年生～

1月23日(木)2年A組、24日(金)2年B組で、「森林環境教育」の授業が行われました。今回で、2回目となります。対象は、2年生です。「いせしま森林組合」より講師をお招きしました。度会中(町)にとっては、とても身近な森林について、「木材の現状と知識」、「森林と環境との関わり」等について興味深いお話をたくさん聞かせていただきました。

また、丸太の年輪から樹齢を、枝葉から木の種類を推測するなどの講義を受け、後半には、角材からカッターで削り出す「my 箸」づくりに取り組みました。楽しい授業で、集中して取り組みました。



三、説明会(6年)

学校で新入生入学説

明会が行われました。6年生児童と保護者の皆様が参加されました。中学校での生活のこと、学習のこと、部活動のことなどが説明されました。だ



森林教育 木育授業(3年)



2月13日(木)に木育授業を行いました。3年生がA組、B組それぞれ2時間ずつ学習しました。お話をしてくださったのは、いせしま森林組合の方です。森林の大切さや木材の素晴らしさなど、子どもたちが興味をもてるように話してくださいました。その後、キーホルダー作りに取り組みました。

美中国市町對抗張恆

2月16日(日)に行われた
美し国市町対抗駅伝では、度



私にうつの人権宣言(6年)

役場の町民ホール入り口に『私たちの人権宣言』が展示されています。これは、12月に行われた人権フォーラムで小学校6年生と中学校1年生が書いたものです。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町Instagramに事業概要と写真を掲載(保育所)(小学校)(中学校)

 wataraicho_official
度会町



いいね! を見る

wataraicho_official 🌲【令和6年度 みえ森と緑の県民税 活用事業】🌲
今年度、町内の保育所で実施した「みえ森と緑の県民税事業」の取り組みをご紹介します！

👉 1. 森林環境教育推進事業
町内の保育所に通う年長児を対象に、木育授業や木工体験（キーホルダーづくり）を実施しました。

🌱 実施日程

令和6年6月10日 長原保育所
令和6年6月14日 棚橋保育所
令和6年6月18日 中之郷保育所

👉 2. 木材とふれあう場づくり推進事業
棚橋保育所には新たに木製遊具が設置されました！
🌳 完成日

令和7年2月

これらの取り組みは、日常的に木の温もりを感じてもらい、町の自然や林業に関心を持ってもらうことを目的に実施しています。
そして、これらの活動は「みえ森と緑の県民税」を活用して行われています。

❓ Q: みえ森と緑の県民税とは？
A: 近年、林業の低迷や担い手不足により、整備されていない森林が増え、森林が本来持つ防災機能（土砂災害や洪水防止）や水源の確保などが低下しています。異常気象の影響で災害のリスクも高まる中、平成26年度から導入されたこの税金は、森林整備や将来にわたる社会づくりに使われています。
また、国から譲与される「森林環境譲与税」とは、用途を分けて有効に活用しています。

🌱 これからも町の自然環境を守り育てるために、みんなで協力していきましょう！

<投稿:保健こども課>

#度会町 #いいね度会町 #みえ森と緑の県民税 #住民税 #町民税 #三重県 #伊勢志摩 #林業 #山 #自然 #山林 #森林環境教育 #木製遊具

 wataraicho_official



いいね! を見る

wataraicho_official 1月23日、24日に度会中学校2年生、2月13日に度会小学校3年生を対象に、森林環境の出前授業を行いました 🌲👉

この取り組みは、町の自然や林業に関心を深めてもらうことを目的に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業です。

子どもたちは、丸太の年輪から樹齢を考えたり、枝葉の種類を推測したりしながら、楽しそうに授業に取り組んでいました。

また、小学生は、やすりで磨いた木片に自分の好きな絵を描いてオリジナルキーホルダー作りを実施。中学生は、カッターやすりで形を整えてマイ箸を作りました。

《投稿：教育委員会事務局》

#いいね度会町 #三重県 #度会町 #木育 #みえ森と緑の県民税



(保育所)

(小学校)
(中学校)

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	木材とふれあう場づくり推進事業				
事 業 費	4,198,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,151,000	0	47,700

1. 事業の目的

園児が日々使用する遊具を、県産材の木材を活用して整備することで、日ごろから木の温もりを身をもって感じ、森林・林業について理解を深め、木とふれあい、学ぶ場づくりを進める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

森林環境教育推進事業を実施する町内保育所へ、県産材を利用して木製遊具を設置する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施個所及び箇所数】

棚橋保育所（1箇所）

【事業量】

木製遊具 N=1基

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林教育を実施した保育所の園児に、木製の遊具で日ごろから遊んでもらうことで、木への親しみを深めてもらい、木材の良さ・木材利用の意義を知ってもらう学びの場として活用する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

遊具の整備と併せて、保育所で森林環境教育を実施したことで、森林の機能・緑の大切さについて理解を深めてもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

遊具を木質化することで、日々の遊びの中で木材に触れ身近に感じてもらう。保育所の入り口の掲示板上、ポスターと写真を設置し、みえ森と緑の県民税を活用して設置したことを周知した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	木材とふれあう場づくり推進事業				
事 業 費	4,198,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,151,000	0	47,700

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】 委託先は林業の業務に長年携わっている専門業者であり、三重県産の木材製品を調達できる適切な事業者であると考えられるため選定した。 【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	棚橋保育所 園児142人(R6年度末時点) 保育士41人(R6年度末時点)			
期待する波及効果	児童が自宅で木製遊具について話をする事で、家族にも森林の大切さを知ってもらえる。			
【公的関与の必要性】 町が県産材を使用し、木製備品を整備することで、多くの住民に木材の良さを知ってもらい、木材利用の促進につながる。 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 施設で適切に管理してもらう。				

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	木材とふれあう場づくり推進事業				
事 業 費	4,198,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,151,000	0	47,700

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施工中に県民税ののぼり旗をたて、県民税を活用して実施していることをアピールした。
HP掲載	実施前・後	年度当初に、実施する事業を町HPに掲載した。年度末に、事業概要と遊具の写真を町HPに掲載した。
広報誌掲載	実施後	授業の内容を写真とともに町広報紙に掲載した。 また広報11月号では、林業特集を掲載し、その中でみえ森と緑の県民税事業の紹介をした。
ポスター掲示	実施後	保育所の掲示板に県民税事業のポスターと自作ポスターを掲示して県民税を活用していることをアピールした。
その他	実施後	町公式Instagramに事業概要と写真を掲載した。
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施中・後	木材遊具に県民税のロゴプレートを張り、県民税で整備をおこなったことを情報発信した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町
------	-------------------	-----	-----

事業名	木材とふれあう場づくり推進事業
-----	-----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
土工	床掘・埋戻	式	1	70,643	70,643	
基礎工		箇所	12	20,083	240,996	
資材費	支柱等木材	m3	2	194,731.7	399,200	
	ネット、ロープ等	式	1	252,000	252,000	
	金物	式	1	149,120	149,120	
加工費	大工	人	38	31,000	1,178,000	
	普通作業員	人	8	22,000	176,000	
	モルダー加工	m	177	150	26,580	
ユニック	4t	日	1	25,000	25,000	
防虫防腐費	CY注入K4	m3	1.71	110,238	188,507	
塗装費	バトン2回塗り	m2	76.98	2,700	207,846	
板金工事費	支柱脚部等	箇所	12	14,333.3	172,000	
諸経費		式	1	731,108	731,108	
		小計			3,817,000	
		消費税及び地方税相当額			381,700	10%
		合計			4,198,700	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木材とふれあう場づくり推進事業
-----	-----------------

7の(1). 写真



写真1

木製遊具 完成



写真2

木製遊具 完成（のぼり旗）



写真3

木製遊具 園児が遊んでいる様子①



写真4

木製遊具 園児が遊んでいる様子②



写真5

木製遊具 園児が遊んでいる様子③



写真6

木製遊具 県民税事業看板設置

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木材とふれあう場づくり推進事業
-----	-----------------

7の(1). 写真

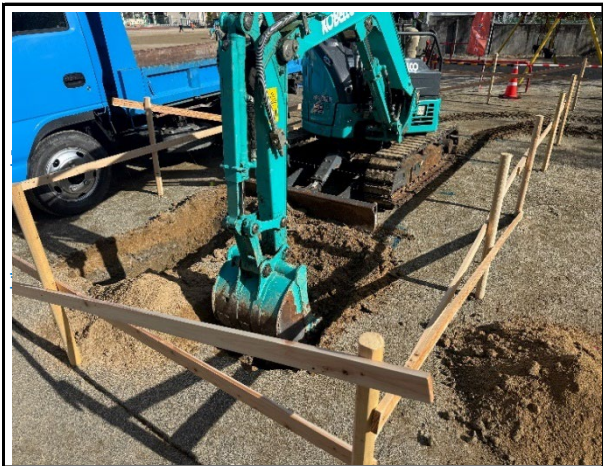


写真1
木製遊具工事中 基礎工（床掘）



写真2
木製遊具工事中 基礎工



写真3
木製遊具 防虫防腐処理



写真4
木製遊具工事中 組立状況

こんなところにも
もり みどり けんみんぜい りよう
みえ森と緑の県民税が利用されています

あたらしいゆうぐ

問い合わせ先：度会町役場 産業振興課
電話番号：0596-62-2416

写真5
保育所掲示板に設置①



写真6
保育所掲示板に設置②

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木材とふれあう場づくり推進事業
-----	-----------------

7の(2). その他資料








「いいね!」を見る
wataraicho_official 🌲【令和6年度 みえ森と緑の県民税 活用事業】🌲
今年度、町内の保育所で実施した「みえ森と緑の県民税事業」の取り組みをご紹介します！

🌱 実施日程

令和6年6月10日 長原保育所

令和6年6月14日 棚橋保育所

令和6年6月18日 中之郷保育所

🪵🌱 2. 木材とふれあう場づくり推進事業
棚橋保育所には新たに木製遊具が設置されました！

🌱 完成日

令和7年2月

これらの取り組みは、日常的に木の温もりを感じてもらい、町の自然や林業に関心を持ってもらうことを目的に実施しています。
そして、これらの活動は「みえ森と緑の県民税」を活用して行われています。

❓ Q: みえ森と緑の県民税とは？
A: 近年、林業の低迷や担い手不足により、整備されていない森林が増え、森林が本来持つ防災機能（土砂災害や洪水防止）や水源の確保などが低下しています。異常気象の影響で災害のリスクも高まる中、平成26年度から導入されたこの税金は、森林整備や将来にわたる社会づくりに使われています。
また、国から譲与される「森林環境譲与税」とは、用途を分けて有効に活用しています。

🌱 これからも町の自然環境を守り育てるために、みんなで協力していきましょう！

<投稿:保健こども課>

#度会町 #いいね度会町 #みえ森と緑の県民税 #住民税 #町県民税 #三重県 #伊勢志摩 #林業 #山 #自然 #山林 #森林環境教育 #木製遊具

町Instagramに事業概要と写真を掲載(保育所)



(保育所)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木材とふれあう場づくり推進事業
-----	-----------------

7の(2). その他資料

町HPに事業紹介を掲載

町HPに事業紹介を掲載

ホーム 町の概要 町政情報 暮らしのガイド 防災情報 各課の窓口

ホーム ▶ 各課の窓口 ▶ 農林係 ▶ 林業振興 ▶

▶ みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2025年4月1日] ID:1696 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [f シェア](#) [ツイート](#)

▶ みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

【基本方針1】 災害に強い森林づくり

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

○令和7年度実施予定事業（令和7年4月1日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

※予定事業は変更する場合があります。

○令和6年度実施事業

- ・流倒木撤去事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流域防災機能強化対策事業

○令和5年度実施事業

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業

事業紹介

木材とふれあう場づくり推進事業

日ごろから木の温もりを身をもって感じ、森林・林業について理解を深めてもらうため、町内保育所に木製遊具を設置しました。



URL :

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木材とふれあう場づくり推進事業
-----	-----------------

7の(2). その他資料

町広報紙に取り組み事業を掲載 『広報わたらい 3月号』

1日には、「ト久貝お頭神事」が、無病息災や家内安全などを願い、獅子頭が奉納されている数地内や海蔵寺の境内で、獅子と天狗による舞が行われました。

8日には棚橋コミュニティセンターで、『棚橋お頭神事』が行われ、昼は獅子頭の迫力ある座敷舞、夜には天狗と獅子の打ち舞が披露されました。

9日には一之瀬神社で『一之瀬獅子神楽』が行われました。昨年に引き続き境内では、南中村区の舞が披露され、氏子の健康や五穀豊稔、繁栄を祈願しました。また、脇出区においても、区内で舞が行われました。

PickUp! わたらいニュース



ト久貝お頭神事



棚橋お頭神事



一之瀬獅子神楽



1/23-24 2/13

木に触れ合おう

小・中学校で森林環境教育

1月23日、24日に度会中学校2年生、2月13日に度会小学校3年生を対象に、森林環境教育の出前授業を行いました。

この取り組みは、町の自然や林業に関心を深めてもらうことを目的に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業です。

講義では、森林を適切に管理する大切さや、枝木の違いを比べたり年輪を数えたりして楽しみながら正しい知識を身に付けました。

この後、小学生は、やすりで磨いた木片に自分の好きな絵を描くオリジナルのキーホルダー作りを実施。中学生は、自分に合った箸になるようカッターややすりで形を整えてマイ箸を作りました。完成すると嬉しそうにお互いに見せ合っていました。



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業一覧

- ・流倒木撤去事業
- ・災害からライフラインを守る
- ・森林環境教育推進事業
- ・事前伐採事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業
- ・流域防災機能強化対策事業

1/30 人権について学ぶ 棚橋保育所人権教室

1月30日、度会町と鳥羽市の人権推進委員会による人権教室が棚橋保育所で開催されました。

この日は歌や踊りのショー、人形劇などが披露されたほか、園児たちは、動物に扮した委員と交流しながら、人権について学びました。

人形劇「まほうのたまご」では、話したり、色が変わったりする不思議なたまごが、命の尊さや思いやりの大切さを伝えるお話です。「ちくちく言葉など相手が嫌がることはやめて、お友達や先生、家族に優しくしましょう」と呼びかけると、園児たちは元気よく返事をしていました。

